

# 大町市統計要覧

## 2020

令和 2 年版

# 厳しい風雪に耐えて、たくましく、心優しく生きる市民です (大町市民憲章第一章)

	<p>市の木／オオヤマザクラ</p> <p>数ある桜の中でも北方に分布し、中部地方では、標高800メートル以上の高地に多く、大町市以南では群落は見られない。ほかの桜が短命で、春を告げた後、早々と散ってしまうのに比べ、オオヤマザクラは、5月半ばを過ぎても、里山で素朴なピンクの花を誇らせている。</p> <p>—麗しさのシンボル—</p>
	<p>市の花／カタクリ</p> <p>ユリ科の植物で、万葉時代から“カタカゴ”の名で知られている。田畑の残雪が消え終わらない3月末ころに、芽を出し美しい紫色の花を咲かせる。この花には、“初恋”という花言葉がつけられていて、山林の中でひそやかに花開く、その初々しい姿には、だれもが、なる程とうなずける。</p> <p>—優しさのシンボル—</p>
	<p>市の獣／カモシカ</p> <p>国の特別天然記念物に指定されている珍獣で、名前に“シカ”とつけられているが、実はウシの仲間である。角は雄にも雌にもあり、抜け替わることはない。ふたつに分かれた爪を利用して上手に険しいところを歩くことができ、岩の上などにじっと立っている習性がある。</p> <p>—たくましさのシンボル—</p>
	<p>市の鳥／ライチョウ</p> <p>日本アルプスの中で、2,000メートル以上の高山にのみ生息し、国の特別天然記念物に指定されている。“ゴロゴロ”と鳴くことから、“雷鳥”と名づけられた。キジやヤマドリと同じ仲間なので、飛翔はあまり得意でなく、天敵から身を守るために、夏の雄は黒褐色、雌は茶褐色、冬は純白とみごとに衣がえする。</p> <p>—愛らしさのシンボル—</p>
	<p>総合(木、花、獣、鳥)</p> <p>四つのシンボルを総合したもの。市の顔ともいえる美しい自然環境に生息する多くの動植物の中から、北アルプス一番街・大町に最もふさわしい、自然の麗しさ、優しさ、たくましさ、愛らしさのシンボルを選んだもので、「心の豊かさを誇れるまち」にしたいとの願いも込められている。</p>

## はじめに

本書は大町市の自然や人口、産業、教育など各分野に関する基本的な統計資料を総合的に収録し、市勢の現況と推移発展を明らかにするものです。

特に本市は普通都市の形態をとりながら、工業、商業そして観光面にも意を注ぐことから、統計の果たす役割はきわめて大なるものがあります。

本書が、各分野で、基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

編集にあたりましては、より使いやすいようにと努めてまいりましたが、内容に不備な点等ございましたら、皆様からご指導いただき、より一層の充実を図って参りたいと存じます。

終わりに本書刊行に当たり、貴重な資料をご提供いただきました関係各位に対し、心から感謝申し上げるとともに、今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。

長野県大町市長 牛越 徹

# くらしのすうじ

人口密度



1 km<sup>2</sup> 47.6 人

出産



1 日に 0.4 人

死亡



1 日に 1.0 人

家族



1 世帯に 2.3 人

結婚



1 日に 0.2 組

離婚



1 日に 0.1 組

小学生



12.1 世帯に 1 人

転入



1 日に 2.2 人

転出



1 日に 2.6 人

決算



市民 1 人 733,799 円

市税



市民 1 人当たり 154,045 円

乗用車  
(軽乗用車含む)



1 世帯に 1.5 台

(令和2年10月1日現在)

総人口 26,899人

世帯数 11,899戸

### 上水道



1人1日平均 430ℓ

### ごみ処理量



1日当たり 21.2 t

### し尿処理量



1日 24.7kℓ

### 緊急出動



1日 8.1件

### 消防職員



市民 538人に1人

### 交通事故



1日 0.4件

### 病院・医院



397世帯に1院

### 耕地面積



1農家当り 206.9a

### 商店



43世帯に1店

### 教員



小学生 10.2に1人  
中学生 10.1に1人

### 市議会議員



市民 1,681人に1人

### 市職員



市民 83.8人に1人

## 利用者のために

- 1 本書は原則として、大町市の全般的な基本資料を掲載しています。
- 2 本書は原則として、最新の資料を含む過去5年間を収録しました。  
ただし、資料の有無、性質、及び編集の都合により、異なるものもあります。
- 3 新大町市誕生(平成18年1月1日)前の数値については、合併前の大町市、旧八坂村、旧美麻村の合算値を表示しています。なお、合算できない統計表については、旧市村単位または、合併前の大町市の数値を表示しています。
- 4 資料は各官公庁・民間事業所及び庁内各部課等からの提供によるものと企画財政課において直接調査収集したもので、その出所は各表脚注に掲げてあります。
- 5 調査の時点、時期については、特に注記しないかぎり次のとおりです。  
「年」「年次」……………暦 年(1月～12月)  
「年 度」……………会計年度(4月～翌年3月)  
「年・月・日」……………調査年月日
- 6 数字の単位未満は、四捨五入してありますので、総数欄の数字と内訳の計は必ずしも一致しません。また、すでに公表されている数値と相違するものは、編集の際に訂正したものです。
- 7 統計中の符号は次のとおりです。  
「－」 事実のないもの  
「…」 不詳または調査を欠くもの  
「0」 掲載単位に満たぬもの  
「△」 マイナスまたは赤字のもの  
「X」 調査対象が少なく秘密保護のため伏字としたもの

# 目 次

	くらしのすうじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	利用者のために・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	目 次・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	沿 革・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	明治以降の合併系図・・・・・・・・	11
	市 史 年 表・・・・・・・・	12
1	土 地・気 象・・・・・・・・	30
	位置と面積・・・・・・・・	30
	地目別土地面積・・・・・・・・	30
	年次別気象概況・・・・・・・・	31
	降雪・積雪量・・・・・・・・	31
2	人 口・・・・・・・・	32
	人口の推移・・・・・・・・	32
	年齢3区分別人口構成比の推移・・・・・・・・	33
	年齢3区分別人口の推移・・・・・・・・	33
	大字別人口の推移・・・・・・・・	34
	人 口 動 態・・・・・・・・	35
	出生率の推移・・・・・・・・	36
	年齢（5歳階級）別人口構成・・・・・・・・	36
	国籍別外国人登録者数・・・・・・・・	36
	人口集中地区別人口・面積・人口密度 D I D s・・・・・・・・	37
	15歳以上男女別労働力人口・・・・・・・・	37
	産業分類別就業者数・・・・・・・・	38
	産業別従業上の地位・男女別15歳以上就業者数・・・・・・・・	38
	職業分類別就業者数・・・・・・・・	39
	世帯人員別一般世帯数及び一般世帯人員・・・・・・・・	39
	世帯の家族類型別一般世帯数・一般世帯人員及び親族人員・・・・・・・・	40
	高齢者の年齢（5区分）、男女別高齢単身者数・・・・・・・・	40
	住居の種類、住宅の所有の関係別65歳以上の親族のいる一般世帯数・人員	41
	住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数・人員・・・・・・・・	42
	常住人口・流入流出人口及び昼間人口（通勤・通学ほか）・・・・・・・・	43
	通勤者市町村別内訳（15歳以上）・・・・・・・・	44
	通学者市町村別内訳（15歳以上）・・・・・・・・	45

3	行 政	46
	議会の開催状況	46
	市議会委員会の状況	46
	市議会会派別議員数	47
	年齢別議員数	47
	選挙の執行状況	48
	選挙人名簿登録者数等の推移	50
4	財 政	51
	一般会計歳入決算・歳出決算構成比	51
	会計別決算の状況	52
	市税の収入状況	53
	歳入内容別決算状況（一般会計）	54
	歳出内容別決算状況（一般会計）	54
	目的別市債の状況	55
	市税市民負担額の推移	56
	地方交付税の状況（普通交付税）	56
	市有財産	56
5	農 林 業	57
	専業・兼業別農家数と農家人口	57
	販売農家における主副業別農家数	57
	経営耕地面積の推移	58
	経営耕地の規模別農家数	59
	販売農家における農家人口と就業世帯員数	59
	販売農家における年齢別農家人口	60
	販売農家における家畜の頭羽数	60
	販売農家農業用機械所有台数	60
	農地の移動状況	61
	林野面積	61
6	事 業 所	62
	事業所数・従業者数の推移	62
	産業大分類別事業所数	62
	産業大分類別従業者数	63



7	工 業	64
	産業中分類別の製造品出荷額等の推移	64
	年次別の工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移	64
8	商 業	65
	卸売・小売業の推移	65
	年間商品販売額の推移	65
	商業の推移	65
	産業中分類別年間商品販売額の推移（卸売・小売業）	66
9	教 育・文 化	67
	学校総覧	67
	幼稚園の状況	67
	小学校の状況	68
	中学校の状況	68
	義務教育学校の状況	68
	高等学校の状況	68
	中学校進路別卒業者数	69
	高等学校進路別卒業者数	69
	高等学校卒業者の産業大分類別就職者数（県内）	70
	高等学校卒業者の職業分類別就職者数（県内）	70
	高等学校卒業者の県内地区別就職者数	71
	高等学校卒業者の都道府県別大学等進学者数	71
	奨学金貸与の状況	71
	図書館貸出冊数の推移	72
	図書館利用者数	72
	図書館の蔵書と利用冊数	72
	夏期大学講座の受講者数	73
	山岳博物館の観覧状況	73
	文化財	74
10	労 働	84
	一般職業紹介の状況	84
	雇用保険失業給付の支給状況	84
	附属施設の利用状況	85
	業種別・主な事故の型別労働災害発生状況	85

11	社 会・福 祉	86
	保育施設	86
	保育園の入園児童数の推移	86
	市民課窓口事務の処理状況	87
	国民健康保険被保険者数・決算状況	87
	国民健康保険給付状況	87
	福祉医療費支給状況	88
	老人福祉の状況	88
	福祉施設の利用状況	88
	障害別身体障害者数の推移	89
	知的障害者数の推移	89
	生活保護状況の推移	89
	生活保護費の推移	90
	共同募金の状況	90
12	保 健 衛 生	91
	医療施設数・医療従事者数の推移	91
	主な死因別死亡者数の推移	91
	市立大町総合病院の利用状況（延数）	91
	予防接種・検診等の状況	92
	ごみ処理の状況	93
	し尿処理の状況	93
	狂犬病予防法による犬の登録及び注射状況	93
	公害苦情処理件数	94
	北アルプス広域葬祭場の利用状況	94
13	建 設	95
	主要道路	95
	橋梁数	95
	主要河川	96
	幅員別の道路状況	97
	都市計画区域	97
	地域地区	97
	都市計画用途地域	98
	都市計画区域内の用途地域の指定のない区域	98
	建築確認申請の状況	98
	都市施設	99

14	水道・電気・ガス・・・・・・・・・・・・・・・・	100
	大町市水道事業普及状況・・・・・・・・	100
	大町市公営簡易水道事業普及状況・・・・・・・・	100
	大町市水道事業配水量の推移・・・・・・・・	100
	大町市公営簡易水道事業配水量の推移・・・・・・・・	100
	用途別栓数と給水量・・・・・・・・	101
	大町市水道事業水源施設状況・・・・・・・・	101
	大町市公営簡易水道事業水源施設状況・・・・・・・・	101
	都市ガスの需給状況・・・・・・・・	102
15	運 輸・通 信・・・・・・・・	102
	信濃大町駅乗車人員の推移（一日平均）・・・・・・・・	102
	有線放送の利用状況・・・・・・・・	102
	自動車の保有台数・・・・・・・・	104
16	金融・市民生活・・・・・・・・	105
	金融機関の預金・貸出残高状況・・・・・・・・	105
	消費者物価指数（年平均）・・・・・・・・	105
	制度資金の利用状況・・・・・・・・	106
	一人当たりの市民所得・・・・・・・・	106
	産業別市町村内総生産・・・・・・・・	106
	市町村民所得（分配）・・・・・・・・	107
17	公          安・・・・・・・・	108
	消防施設と人員・・・・・・・・	108
	救急出動及び搬送状況・・・・・・・・	108
	出火原因別の出火件数・・・・・・・・	108
	火災の発生件数・焼失面積と損害額等・・・・・・・・	109
	山岳遭難事故の状況・・・・・・・・	109
	交通違反・・・・・・・・	110
	交通事故・・・・・・・・	110
	刑法犯罪の発生件数と検挙件数・・・・・・・・	110
	民事事件の推移・・・・・・・・	111
	刑事事件の推移・・・・・・・・	111
	家事事件の推移・・・・・・・・	111

18	観	光	112
	観光客の入込数の推移（延数）		112
	観光客の入込数（スキー場）		112
	観光地等の概要		113
	北アルプスの紹介		116
	大町の山岳標高一覧（2,400m以上）		117
	資	料	118
	行政組織機構図		119
	課等の事務分掌		121
	社会施設		122
	体育施設		123

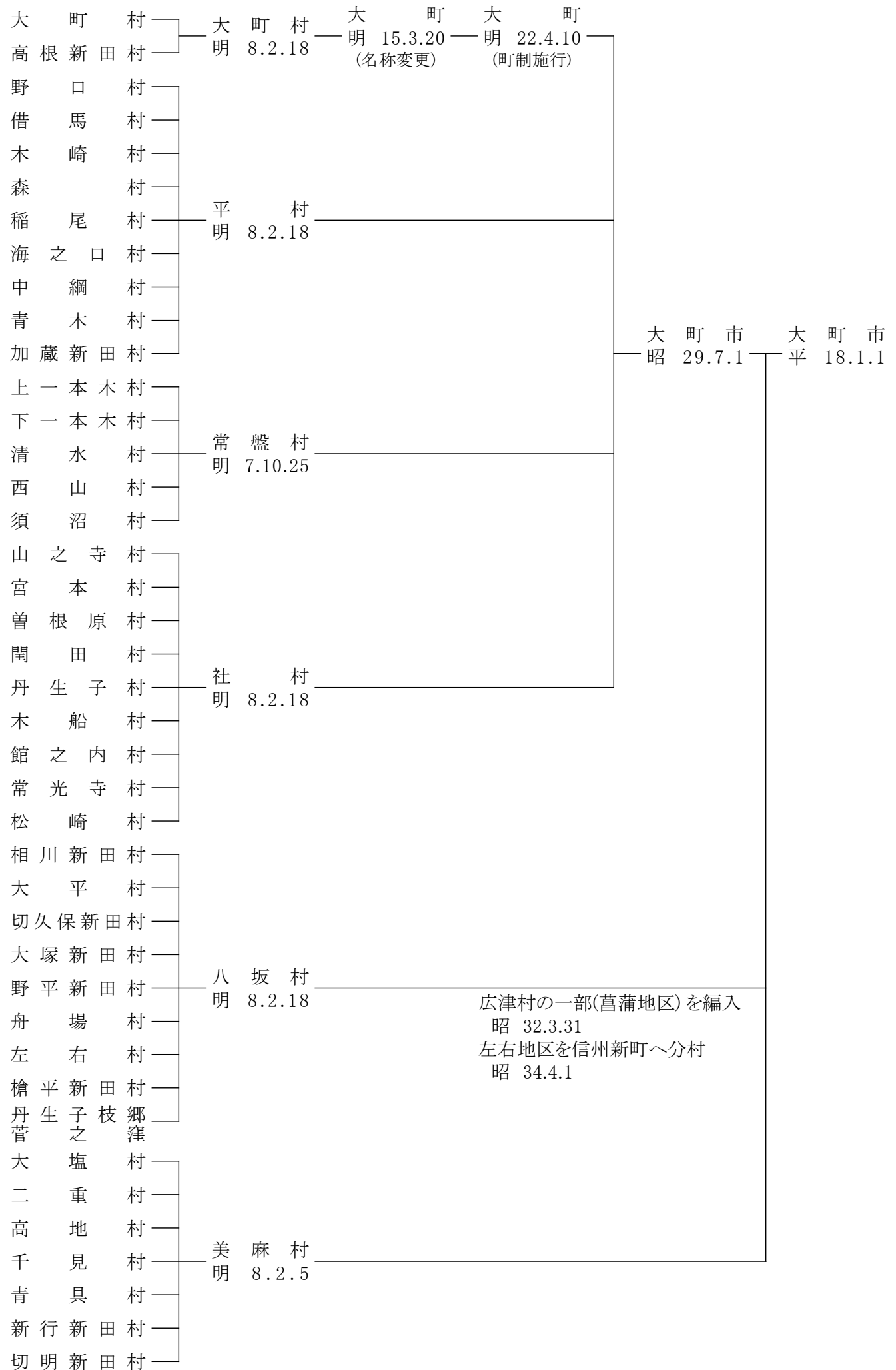
# 沿 革

この地方が、わが国の歴史の上に現われるようになったのは約900年前、伊勢の皇太神宮御領としての仁科御厨が設定されてからである。早くからこの地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしていたことから勢力を得、さらに進んで大町、平、常盤の開発にも力を用いてこれを皇室御領仁科庄とし、みずからはこれをも預かって支配するようになった。

仁科氏は、社の館の内に居館し平地区の森城を固めていたのであるが、鎌倉時代後半から大町に居館を移して広く、南は安曇野市方面、北は糸魚川市方面にまで勢力を張るにいたった。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史的事情があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化をとり入れてこの地方の開発に意を注ぎ、仁科神明宮本殿及び中門（国宝）等のすぐれた文化財をのこしている。しかし今から約400年前、戦国時代の終わり近くにいたって、武田信玄のためその家系を絶っている。信玄はその子盛信をつかわしてその名跡をつがせたが、天正9年高遠城に去ってからもなく、松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすことになったのである。その後江戸時代になってから、松本藩では北安曇地域に大町、池田、松川の3組を置いて治めていた。大町市域では、大町村、高根新田村及び平地区9カ村、社地区8カ村、八坂地区8カ村、美麻地区7カ村が大町組に、常盤地区5カ村が松川組に、社地区山ノ寺村が池田組に属していた。仁科氏が領有していた年時から、この地域は北方日本海岸の北陸道ぞいの糸魚川方面と、南方松本方面とを結ぶ千国道（後の糸魚川街道）が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていたのである。そして、それらの物資や付近から多く産出した麻類その他集散地であつた大町は、宿駅的性格を基盤として商業都市として栄えるに至つたのである。明治維新後大町市域は、一時松本県に属したが明治4年筑摩県の成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることとなつた。明治8年村々の合併の議が進み大町村と高根新田村が合併して大町村、社地区の9カ村を社村、平地区の9カ村を平村、常盤地区の5カ村を常盤村、八坂地区の8カ村を八坂村、美麻地区の7カ村を美麻村とした。同年22年町村制が実施され、その後多少の推移を経て昭和29年7月1日にいたって町村合併促進法により、1町3村の間に合併の議が成立し大町市が誕生した。

また、平成15年3月に、大町市、北安曇郡八坂村及び同郡美麻村の3市村で任意合併協議会を設置し、合併協議を進め、平成16年2月には法定合併協議会に発展させ、平成18年1月1日に合併特例法の適用を受け3市村の合併が実現した。

# 明治以降の合併系図



# 市 史 年 表

年 月 日	事 項
S 29. 5. 24	大町、平村、常盤村及び社村の合併の調印が成立
25	大町、平村、常盤村及び社村の町村長から長野県知事あてに町村合併によって大町市を設置し昭和29年7月1日から施行したい旨申請
6. 17	大町、平村、常盤村及び社村を廃し、その地区をもって大町市をおき、昭和29年7月1日から施行する旨知事名で告示(県告示第329号)
28	県告示の内容を内閣総理大臣名で告示(総理府告示第548号)
7. 1	市制施行
25	市長選挙、初代市長松田正人氏が当選
8. 1	大町市消防団結団式
10. 1	公益質屋を開設
S 30. 1. 14	社地区に上水道敷設
3. 20	市制施行後初の市議会議員選挙、定員30名
5. 10	大町～糸魚川間に直通バスの運行開始
7. 1	大町市連合婦人会が発足
8. 28	中綱に集団赤痢発生(患者発生数35人)
15	市立小中学校の完全給食を実施
11. 1	市財政の円滑な運用をはかるため愛市公債を発行
4	都市計画による大町駅前広場の拡張工事完成(工事費1,600万円)
12. 6	関電黒四発電所建設工事の資材輸送基地に大町市が決定し、市議会で協力援助を決議
S 31. 5. 20	大町警察署庁舎落成
6. 18	常盤中学校の普通教室、管理棟が新築落成(工事費1,425万円)
19	農作物の病虫害防除条例を制定
7. 30	日本専売公社大町出張所庁舎落成
9. 14	観音橋の架け替え工事完成(工事費2,840万円)
11. 27	市全域を都市計画区域に決定
S 32. 3. 27	山岳博物館指導の大映映画「白い山脈(動物記録映画)」完成、文部省特選となる
6. 3	北安曇教育会館落成
7. 31	鹿島大橋完成
8. 1	大町福祉園開設(工事費550万円)
15	大糸線全通
11. 1	大町山岳博物館落成開館(工事費360万円)
12	宮本橋の吊橋完成(工事費2,946万円)
23	大町高等学校校舎落成
12. 20	大町平上水道の敷設工事完成(工事費 1億1,450万円)
S 33. 3. 20	大町市南部及び北部新農村建設計画を策定
25	関電大町トンネル貫通
5. 30	青木湖一周湖畔道路完成
6. 5	市議会で原水爆実験禁止を政府に要請する決議文を議決
7. 6	市長選挙が行われ松田正人氏が再度当選
10	都市計画による仁科町街路拡張工事が完成(工事費2,345万円)
12. 11	子ども劇場を開設
S 34. 1. 22	関電工事請負の熊谷組作業所が火災により焼失(損害額6,400万円)
2. 1	大町南部農事放送施設が完成(工事費1,330万円)
3. 12	上原遺跡を買収、復元に着手

- S 34. 3. 15 市議会議員一般選挙  
 20 都市計画による町川下水路工事完成(工事費2,100万円)  
 28 市立大町病院の一般病棟、結核病棟の増改築工事完成(工事費720万円)
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる  
 1 収納事務の合理化をはかるため市収入証紙制度を採用  
 1 北安南部伝染病院(池田町・松川村組合立)を大北伝染病院に統合  
 5 野口橋の架け替え工事完成(工事費4,400万円)
6. 10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基本計画できる
7. 1 市制施行5周年記念式典及び祝賀行事を挙式  
 1 市民会館落成(工事費4,310万円)  
 10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見  
 17 大糸線信濃大町駅～信濃四ツ谷駅間の電化完成
8. 30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費180万円)
- 9.26～27 伊勢湾台風により耕地、堤防などに大被害(被害額3億円)
10. 30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費120万円)
- S 35. 2. 1 市内各町、区に自治会結成発足  
 3. 1 大町北部農事放送施設が完成(工事費1,940万円)  
 14 市財政の再建をはかるため財政再建申出を市議会で議決  
 18 市建設計画を策定(建設基本計画及び実施計画を市議会で議決)  
 31 総合グラウンド(野球場)完成(工事費2,800万円)  
 7. 1 大糸線に北大町駅、稲尾駅が無人駅として開業  
 9. 8 老人クラブ連合会結成  
 15 総合グラウンドのテニスコート、バレーコートが完成(皇太子殿下成婚記念)(工事費105万円)  
 24 常盤農業会館落成(工事費2,000万円)
11. 25 自治会連合会結成
- S 36. 2. 12 仁科神明宮の「縣仏」を重要文化財に指定  
 3. 10 上原遺跡のタテ穴保存工事完成(工事費5万円)  
 20 大町労働基準監督署庁舎落成  
 27 皇太子殿下来市(昭和電工大町工場、大町山岳博物館などをご視察)  
 28 宮本橋の吊橋に接続する永久橋完成(工事費3,600万円)  
 28 大糸線にジーゼルカーの運転を開始  
 29 第一中学校普通教室、特別教室、管理棟落成(工事費6,140万円)
4. 1 市の公金を取扱わせるため、市金庫を設置  
 1 平、常盤、社の3支所を廃止し、それぞれに出張所を設置  
 1 大町山岳博物館が高山植物「こまくさ」の低地栽培に成功
6. 15 秋父宮妃と高松宮ご夫妻が大町山岳博物館を見学  
 29 梅雨前線豪雨により、鹿島川、高瀬川の堤防などに被害(被害額6,500万円)
7. 2 関電大町ルートに登山者用バスの運行を開始
10. 13 大町郵便局局舎落成
12. 1 第一中学校体育館落成(工事費2,288万円)(第一中学校建設工事が完了)  
 1 かまど神社南に中央児童遊園地を設置(工事費95万円)
- S 37. 3. 17 安全都市を宣言、大町市安全会議を設置  
 20 農業共済事業を市に移管  
 3. 31 大北伝染病院落成(工事費1,114万円)  
 4. 5 大町山岳博物館の北ア動物生態グループが雷鳥の生態研究結果を学会に発表  
 10 皇居外苑保存会から「こぶ白鳥」ひとつがいが贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を作って放鳥  
 5. 1 大町市温泉開発株式会社が設立



- S 37. 6. 8 第3回全日本学生ワンデルングが鹿島大谷原で開かれる  
27 鹿島川丸山堰堤完成(工事費3,100万円)  
7. 15 市長選が行われ、縣聰氏が当選  
9. 6 青島に共同養豚組合が誕生(事業費700万円)  
10. 1 常盤地区に第三保育園を開設(工事費303万円)  
20 大町保健所庁舎落成  
11. 1 大町山岳博物館の裏山にカモシカ園をつくり、カモシカ「岳子」を放し飼い  
10 し尿処理施設「衛生センター」が完成(工事費4,000万円)  
10 葛温泉から上原、日向山、犬の窪までの引湯事業を県企画局が行うことに決定  
12. 1 国鉄糸魚川～新宿間に急行列車の運行開始  
9 大久保原で政財界、経済学者のグループによるエコノミスト村の起工式  
(村長・稲葉秀三氏)  
10 農業機械化センターを設置  
12. 20 公明選挙都市を宣言  
25 水道の統合拡張5ヶ年事業が認可
- S 38. 1. 30 隣接の美麻村から合併の申し入れ、大町市は研究を約束  
2. 12 大町山岳博物館が北アルプス爺が岳で「冬期雷鳥調査」を開始  
3. 15 居谷里地区に電灯がつき市内の無電灯世帯が解消  
18 市議会で水稻農業共済事業の中止を議決  
25 林道常盤線の災害復旧工事が完成(工事費960万円)  
4. 6 源汲の永久橋架け替え工事が完成(工事費4,100万円)  
6. 5 黒部ダムが完成  
10 針ノ木自然園総合学術調査を開始(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)  
22 葛温泉からの引湯起工式  
29 雷雨をとまなう降雹、大町、北安地区をおそい農作物に被害(被害額2億4,000万円)  
9. 4 市議会で松本諏訪地区新産都市指定申請に同意することを議決  
10. 18 総合都市計画による街路の追加変更および廃止が認可(今後20年の都市計画街路網が正式に決定)  
11. 18 水道拡張工事起工式(初年度事業着工)  
12. 1 大町市社会福祉協議会が助産院を開設  
1 鹿島槍国際スキー場が開設
- S 39. 1. 10 ニツ屋37年度災害復旧耕地事業完成(工事費926万円)  
3. 3 大町市を含む松本諏訪地区が新産都市に指定される  
4. 1 と蓄場移転落成(工事費1,309万円)  
5. 13 木崎湖「白鳥の池」でこぶ白鳥のヒナ3羽かえる  
23 上原地区に集団赤痢が発生(患者53人)  
6. 25 市制施行10周年記念NHK公開放送「のど自慢大会」を開催  
7. 1 市制施行10周年記念式典を行なう  
8. 1 黒四ダムが観光地として一般に開放  
3 南北農事有線放送間にケーブル接続工事が完成し通話が可能となる(工事費165万円)  
7 工場誘致による大沢製作所が落成  
8. 28 皇太子殿下ご夫妻が黒四ダムをご視察  
9. 1 NHK大町テレビ中継放送所(サテライト局)開局  
11. 14 葛温泉から犬の窪、上原、日向山地区への大町引湯事業しゅん工
- S 40. 3. 1 大町山岳博物館が秩父宮学術賞受賞  
3. 17 大町市開発公社発足  
4. 1 常設消防署発足  
4. 1 大町市第四保育園開設

- S 40. 8. 3 消防庁舎完成  
10. 9 大町有料道路共用開始
- S 41. 1. 13 若一王子神社三重塔を県宝に指定  
3. 1 大町市、北安地方の13農協が合併し大北農協が発足  
4. 14 若一王子神社の社務所が全焼  
15 大町山岳博物館にカモシカ放養園が完成  
26 呉羽紡績と東洋紡績が合併し呉羽紡績大町工場が東洋紡績大町工場として発足  
30 勤労者福祉センターが完成  
7. 10 市長選挙、縣聴氏再選される  
10. 10 常盤松原へ市営住宅20戸完成(松原団地へ初進出)  
12. 14 大沢寺本堂など全焼
- S 42. 2. 25 社保育園しゅん工(工事費638万円)  
3. 市内に微少地震群発(42.3~43.12)  
3 市内中央通り駐車禁止  
31 仁科台中学校しゅん工(工事費2億7,500万円)  
7. 21 農免道路全線開通(2,214m)
- S 43. 1. 28 市内電話自動化に切り換え  
2. 24 市営ごみ焼却場完成(工事費3,470万円)  
3. 21 市街地全面駐車禁止  
7. 1 社地籍の国土調査開始  
19 市民浴場完成(工事費2,522万円)  
9. 14 老人福祉センター完成(工事費1,540万円)  
23 第1回戦没者慰霊祭  
24 大町小学校校舎1棟全焼  
10. 1 大北農協のカントリーエレベーター完成(工事費1億2,000万円)  
11. 10 大原2号団地へ市営住宅10戸完成  
14 中部圏開発整備の保全区域として指定される
- S 44. 2. 28 厚生事業センター落成(工事費820万円)  
4. 1 第五保育園落成(工事費1,115万円)  
17 異常降雪あり市内に被害でる  
17 都市計画人口31,741人となる(建設省告示)  
5. 23 県山岳総合センターしゅん工  
6. 5 大町市、平両森林組合合併  
8. 1 五日町踏切(147号線)立体交差開通(工事費3億6,100万円)  
2 大町小学校2棟建設起工式(工事費4,980万円)  
11 集中豪雨災害(8.11災害)で災害救助法適用(被害額22億6,300万円)  
9. 8 大町市霊園工事着工(工事費1,620万円)  
16 公害問題で気象調査開始  
22 中山地籍牧草地造成完了  
11. 4 8.11集中豪雨災害復旧の大北地区合同起工式  
6 扇沢総合案内センターしゅん工  
11 大町市臨時市議会で火力発電所建設について受入れ決定  
20 市民公園建設起工式(3ヶ年計画事業)  
12. 10 大町市文化財審議委員会決定  
12 霊松寺山線工事完了
- S 45. 1. 31 大町小学校2棟しゅん工  
2. 19 米の生産調整で大町市の減反面積155ヘクタールの配分決まる

- S 45. 3. 22 平小学校の野口(明治5年開設)、源汲(明治8年開設)分校閉校  
 3. 25 市立大町病院(ベット数180床)の新築工事起工、3ヶ年計画で(土地買収費7,300万円、  
 工事費5億813万円)一部地下、地上5階の規模  
 28 大町市霊園しゅん工  
 4. 1 「敬老年金制度」満85歳以上の老人に年額6,000円の年金支給開始  
 22 大町市振興計画審議会発足  
 7. 12 市長選挙で縣聰氏三選される  
 8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘  
 10. 12 市立図書館のしゅん工開館(工事費2,484万円)  
 24 大北地域公害対策推進協議会発足
- S 46. 3. 23 大町市振興計画基本構想議決  
 24 「大町市環境保全に関する条例」を制定  
 4. 1 「敬老年金制度」満80歳以上の老人に年金6,000円支給拡大  
 6. 1 立山・黒部アルペンルート全面開通  
 8. 1 75歳以上の医療費無料となる  
 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足  
 9. 12 市立大町病院しゅん工  
 31 新築された市立大町病院の一般診療開始  
 12. 10 平借馬地籍に市営住宅30戸建設完工(総工費3,660万円)
- S 47. 1. 1 児童手当支給  
 3. 25 44年災害復旧工事完成(鹿島岩鼻など58ヶ所工事費1億2,000万円)  
 4. 1 常盤2区国土調査開始  
 1 児童館開館(工事費738万円)  
 1 重度心身障害者の医療費無料となる  
 1 75歳以上老人の入院費無料となる  
 6. 7 長野県総合防災訓練実施  
 26 大町市同和対策審議会発足  
 7. 1 ゴミ収集区域の拡大と収集用紙袋へ切り替え  
 1 印鑑証明の様式変更  
 20 都市計画道路、中央道り線の拡幅工事に着工  
 7. 県、市、業者の3者による自然保護協会締結(日向山高原、青木湖西部地区開発)  
 8. 1 都市計画法による用途地域の原案、県から提示  
 24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申  
 9. 16 台風20号により水道、耕地、林道等に被害発生(常盤全域4日間断水)  
 10. 31 し尿処理施設の増設工事完成(総工費1億500万円、1日50kl処理)  
 11. 20 富山県氷見市と姉妹都市の調印  
 12. 25 東京電力株式会社の高瀬川開発補償6億5千万円で調印
- S 48. 1. 1 高齢者(70歳以上)医療費無料となる  
 2.15~3.3 市長、中日親善のための中国訪問  
 3. 1 南北有線合併により「大町市有線放送電話農業共同組合」として発足  
 25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」が中国へ贈られる  
 29 第六保育園しゅん工(総工費6,400万円)  
 30 都市計画用途地域の公聴会実施される  
 31 都市計画公園(西公園)しゅん工  
 4.1~S49.3.31 人権モデル地区に指定される  
 4. 1 常盤3区国土調査開始  
 1 2歳未満の乳幼児の医療費無料となる

- S 48. 4. 1 電子計算機(NEAC-1240)導入  
6. 15 「大町市勤労者互助会」発足  
7. 8 自治消防発足25周年記念大会  
28 「土地を守る市民運動推進本部」発足  
30 市民プールしゅん工(総工費約2,000万円)  
9. 8 大北福祉会館起工  
10. 1 「農業振興地域整備計画」公告  
1 寝たきり老人の医療無料となる  
15 都市計画法による用途地域告示  
21 第1回大北身体障害者スポーツ大会  
11. 29 大町市土地改良区総代選挙  
12. 15 ごみ焼却炉電気集塵機増設
- S 49. 1. 5 運動公園建設工事着工  
2. 21 昭和53年長野県国体サッカー競技会場に決定  
3. 31 大北福祉会館しゅん工  
6. 2 常盤小学校東校舎焼失  
30 市長選挙で縣聰氏四選  
7. 8 国道147号付け替え道路改良工事しゅん工(通称大町バイパス)  
8. 30 大町市土地開発公社設立  
10. 7 老人陶芸の家開館  
11. 1 母子家庭等の医療費等無料になる  
3 市制施行20周年記念式典、名誉市民に、鳥羽實、松田正人、一志茂樹3氏を顕彰
- S 50. 3. 31 大町北小学校建設工事着工  
5. 8 勤労青少年ホーム開館  
26 降雹による被害、常盤、社地区780戸(被害額1億6,000万円)  
8. 13 第一保育園焼失  
10.1~2 第24回長野県公民館大会  
12. 1 常盤小学校校舎5教室しゅん工
- S 51. 2. 14 第一回大町市民同和大会  
3. 22 市庁舎起工、敷地18,500㎡ 総延建築面積8,825.105㎡  
4. 1 第一保育園移転新築完成  
1 少年補導センター教育委員会内設置  
5. 1 大北緊急医療センター開設  
6. 30 養護老人ホーム「鹿島荘」新築移転(収容定員54名)  
7. 10 不用品交換コーナー開設  
9. 18 やまびこ国体実行委員会が発足
- S 52. 2. 26 第2回部落解放市民大会  
3. 22 市立平小学校閉校  
4. 4 市立大町北小学校開校  
5. 13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育21年3ヶ月余)  
7. 2 市民憲章を制定  
21 市新庁舎が完成(総工費11億8,000万円)  
30~31 国体リハーサル大会の全国選抜少年サッカー大会が開かれる  
8. 1 印鑑登録と証明が「登録証方式」(カード)に変わる  
23 常盤・松川土地改良区が「高瀬川右岸土地改良区」に改称  
9. 12 大町市を美しくする推進協議会が発足  
10. 25 平地区県営ほ場事業起工式

- S 52. 11. 2 高瀬川右岸県営かんがい事業しゅん工  
12. 1 「広報おおまち」総集編発刊
- S 53. 2. 25 第3回部落解放市民大会  
4. 1 部落解放都市宣言  
1 市立大町総合病院に院内学級開設  
5. 15 第33回国体大町市の炬火の名称「仁科かがり火」と決定  
6. 29 市長選で高橋恭男氏無投票で初当選  
7. 9 大町市運動公園陸上競技場(第3種公認)完成  
8. 2 大町市役所平出張所、旧平小学校跡に移転  
10. 13 大出橋しゅん工  
15 第33回国民体育大会やまびこ国体開催(15日～20日)  
16 やまびこ国体サッカー競技会開始式  
19 常陸宮殿下ご夫妻サッカー競技ご観覧
11. 2 仮称大町東小学校起工式  
5 第1回全国健康マラソン大会
12. 2 大町市社会会館開設  
12 七倉ダムたん水開始  
26 高瀬ダムたん水開始
- S 54. 3. 3 第4回部落解放市民大会  
5. 25 B&G財団大町海洋センター起工式  
7. 8 市制施行25周年記念式典  
9 高齢者職業相談室開設  
23 常盤小学校プール完成  
24 社地区県営ほ場整備事業起工式  
8.3～4 第1回大町やまびこまつり  
10 大町合同庁舎しゅん工式  
10 高瀬川上橋しゅん工式  
22 大町ダム本体コンクリート打設開始式  
8. 27 第三保育園起工式  
9. 26 市立大町総合病院診療棟増築工事しゅん工式(人口透析、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科診療開始)  
26 西公園グラウンド照明灯点灯式
10. 8 衛生センター汚泥浄化施設起工式  
22 石油関係苦情相談所開設
11. 9 市史編纂スタート  
16～18 仁科神明宮遷宮祭  
29 B&G財団大町海洋センター開所
- S 55. 3. 15 第5回部落解放市民大会  
26 第三保育園完成(総工費2億157万円)  
4. 27 仁科の里めぐり周遊観光バススタート  
5. 15 東京電力・中の沢発電所営業運転開始(自流式最大出力4万2千キロワット)  
21 大町ダム定礎式  
26 五日町踏切横断地下歩道工事開始  
6. 29 長野地方裁判所・家庭裁判所大町支部・大町簡易裁判所・長野地方検察庁大町支部・大町地区検察庁の庁舎しゅん工  
7. 25 平グラウンドの夜間照明点灯  
31 し尿浄化槽・汚泥処理施設が完成(工事費2億600万円)  
8. 2 第2回やまびこまつり

- S 55. 8. 6 市内施設めぐり実施される  
 11 「酒の博物館」が温泉郷にオープン  
 26 暴走族追放都市宣言  
 27 林業会館(平木崎)しゅん工  
 9. 8 山岳博物館起工式  
 10. 15 市立大町総合病院にCTスキャナー(コンピューター・X線断層撮影装置)を導入  
 12. 28 大町市豪雪対策本部を設置(12月27日夕～1月7日断続的に大雪が降り大正2年以来の豪雪といわれる。56年5月30日解散)
- S 56. 1. 14 政府の雪害対策調査団が被害状況を視察  
 2. 13 B&G大町海洋センター武道館しゅん工  
 3. 28 第6回部落解放市民大会  
 31 市立社小学校閉校  
 4. 4 市立東小学校開校  
 21 大町エネルギー博物館起工式  
 4.22～5.5 パンダ「ランラン」のはく製が山岳博物館で公開(貸出し第1号)  
 5. 8 東京電力・新高瀬川発電所完成(最大出力128万キロワット)  
 18 五日町踏切横断地下歩道しゅん工(総工費2億2,855万円)  
 6. 27 林道前越線しゅん工(工事費4億4,450万円)  
 7. 1 大町市消費者問題協議会発足  
 8. 1 第3回やまびこまつり  
 10 大町福祉園起工式(平野口)  
 11. 27 大町市行政機構改善委員会発足
- S 57. 3. 6 第7回部落解放市民大会  
 4. 28 大町エネルギー博物館開館(総工費3億2,000万円)  
 5. 1 塩の道博物館開館  
 6. 5 大町山岳博物館開館(総事業費4億9,300万円)  
 12 初代市長で名誉市民の松田正人さん死去(92歳)  
 15 核兵器廃絶・軍備縮小を推進する都市宣言  
 17 昭和電工大町工場でアルミ精錬を停止  
 7. 4 市長選で高橋恭男氏再選される  
 9 B&G大町海洋センター多目的広場完成(社小跡地)  
 12 市立大町総合病院病棟増築工事始まる  
 13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定  
 8. 1 公共事業の入札結果を公表  
 7 第4回やまびこまつり  
 大町霊園に墓地112区画完成  
 9. 4 心身障害者救護施設「れんげ荘」しゅん工(収容定員80人)  
 9.24～10.8 NHK 大町市民のつどい開催「ひるのプレゼント」「おかあさんの勉強室」など収録  
 25 第1回交通安全推進市民大会  
 27 文化公園建設研究委員会発足  
 10. 22 仁科三湖環境保全対策専門委員会発足  
 12. 21 市立大町総合病院病棟増築工事しゅん工
- S 58. 4. 1 市役所出張所(平、常盤、社)を廃止 平、常盤、社に公民館が設置される  
 1 近藤紡績大町工場の操業開始  
 6. 10 高瀬川観音橋の歩道新設  
 25 (仮称)大町西小学校校舎改築工事完成  
 7. 5 金融相談所の開設  
 15 駅前駐車場整備工事完成

- S 58. 8. 2 築場バイパスの開通  
 9. 14 大原住宅団地造成工事しゅん工  
 30 扇沢無料駐車場完成  
 12. 10 泉工場用地造成工事しゅん工  
 28 木崎湖へ白鳥10羽飛来(102日滞在)
- S 59. 2. 28 大町市豪雪対策本部設置  
 (2月27日から3月初めにかけて降雪、降雪量累計で56年をしのぐ。59年5月31日解散)  
 4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)オープン(総工費3億500万円)  
 1 市立大町西小学校落成開校  
 5. 2 全天候テニスコートオープン  
 7. 1 市制30周年記念式典、大町市史(第1・5巻)刊行  
 1 国鉄信濃大町駅前整備計画委員会設置発足  
 9 市立大町西小学校プールしゅん工式  
 28 民俗資料館起工式  
 8. 7 豊科・糸魚川高速自動車道建設促進期成同盟会設立総会  
 7 青木湖ヒメマスセンターしゅん工式  
 10 (仮称)大町南小学校起工式  
 9. 15 40年ぶりに木崎湖畔に里帰りする会開催  
 20 文化会館起工式  
 10. 1 大町ダムたん水式  
 6 天正寺の仁科氏居館跡を市文化財(史跡)に指定  
 10 第1回大町シティマラソン開催  
 23 竈川大橋起工式  
 26 カモンカ2頭がオーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、ウィーン市のシューンブルン宮殿動物園へ贈られる  
 11. 19 大町市運動公園野球場建設工事起工式  
 26 高瀬溪谷緑地公園(大町ダム公園)に泉小太郎モニュメント建立、除幕式が行われる  
 30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(総工費1,359万円)  
 12. 7 高瀬川堤防道路(市道須沼上一線)工事着工  
 25 市制30周年記念事業、タイムカプセルを市役所の前庭へ埋設(開扉時期西暦2054年)
- S 60. 2. 18 大町市とオーストリア・インスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印  
 27 名誉市民一志茂樹さん死去  
 4. 1 大北広域常備消防発足  
 1 民俗資料館がオープン(総事業費1億3,000万円)  
 5 東電大町発電所(大町ダム)の発電開始、出力1万3千キロワット  
 27 動物交換のアルプスマーモット二つがい、インスブルック市から山岳博物館に到着、一般公開される  
 5. 20 大町ワインが市場に出る(550本の限定販売、市価2,000円)  
 7. 2 国営アルプス公園建設誘致促進期成同盟会設立総会開催される  
 8. 9 扇沢(岩小屋沢)で土砂崩れ発生  
 10 B&G財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される  
 19 (仮称)大町南小学校給食、特別教室棟が完成、使用開始  
 10. 16 建設省「大町ダム」しゅん工  
 11. 1 長野県建設労働者研修福祉センター「サン・アルプス大町」開館(総工費3億5,000万円)  
 7 林道子熊黒沢線しゅん工(全長16.5km)  
 10 大糸線ミステリー列車「のるじゃん号」運行(行き先 国鉄飯山駅)  
 29 竈川大橋しゅん工式(総工事費1億9,800万円)  
 12. 24 大糸線にヤナバスキー場前駅(臨時)が開設される

- S 61. 3. 1 大町市史全五巻が完結  
 12 大町市第二次総合計画基本構想議決  
 24 大町市ほか12市町村が「松本・日本アルプス国際観光モデル地区」に指定される  
 29 大洞山霊松寺の山門、市文化財(有形文化財)に指定  
 31 高瀬川右岸堤防道路が完成  
 4. 20 大町市運動公園野球場がオープン(総事業費2億5,000万円)  
 5. 28 文化会館(大町公民館併設)がオープン(総事業費16億8,800万円)  
 6. 8 市立大町総合病院に全身用CTスキャナー導入  
 30 市長選挙、高橋恭男無投票で三選  
 30 新中湖橋が完成(総事業費2億3,640万円)  
 9. 15 昭和電工(株)大町工場で合理化計画により275人の退職希望者出る  
 30 常盤小学校(仮称大町南小学校)の体育館が完成(総事業費1億8,990万円)  
 11. 1 住民記録オンラインシステム導入  
 27 ごみ焼却場の建設着工  
 12. 3 長野大北地域オリンピック関連道路整備促進期成同盟会設立総会が開催される  
 16 大町市観光協会と千葉県鴨川市観光協会が姉妹提携の調印
- S 62. 3. 2 カワシンジュガイとヌマカイメンを市文化財(天然記念物)に指定  
 23 大沢寺の木造阿弥陀如来立像を市文化財(有形文化財)に指定  
 4. 1 市立大町南小学校開校  
 1 市障害者等共同作業所「ひまわりの家」オープン  
 1 大北地域が国の地域雇用開発等促進法の地域指定を受ける  
 6 加藤寿々子さん(松本市)から、島崎藤村から著名文化人直筆の手紙、蔵書など340点の寄贈を受ける  
 20 大町市運動公園多目的広場が完成、一般開放される  
 5. 1 大町市運動公園相撲場、弓道場がオープン  
 29 文化会館・大町公民館が東京建築賞・第13回建築作品コンクールで優秀賞を受賞  
 7. 4 森林劇場起工式  
 15 大町温泉郷にアルプス温泉博物館がオープン  
 8. 17 大黒町の舞台(山車)が県宝に指定される  
 19 大町市運動公園体育館起工式  
 20 まちづくりヤングフォーラム(若い世代による公開討論会)が発足  
 11.1~3 市立大町総合病院で創立60周年記念事業が行われる  
 12 新相川トンネルしゅん工式  
 29 暴力団追放大町地区総決起大会が開かれる
- S 63. 1. 14 市文化財に西正院の大姥尊坐像、天正寺山門(有形文化財)と霊松寺のオハツキイチョウ(天然記念物)を指定  
 3. 5 1998年冬季オリンピックの国内候補地決定を前に、大北地区冬季オリンピック招致総決起大会が開かれる(6月1日JOC総会で国内候補地長野に決定)  
 22 大町初の国際シンポジウム(21世紀のリゾートの造園の役割)が開催される  
 30 ごみ焼却場のしゅん工式  
 4. 1 大北地域の農業共済組合(北安曇地区、大町市、松川村)が合併。「北安曇地区農業共済組合」として発足  
 25 (社)大町市シルバー人材センター(会員115人)が発足  
 30 森林劇場完工式  
 5. 26 高瀬川堤防道路しゅん工式  
 7. 8 大北広域消防本部・大町消防署庁舎起工式  
 8. 19 市内中学校に初の外国人英語講師(指導助手)招へい  
 9. 26 大町市観光協会が募集した大町市の愛称に「北アルプス一番街」決まる



S	63. 11. 6	大町市運動公園総合体育館しゅん工式(総事業費9億8,000万円)
H	元.1.28~30	雪と氷の博覧会開催(延べ6万7,000人の人出)
	3. 1	大町・平農協が大北農協と合併
	20	大北広域消防本部、新庁舎で業務開始(総事業費3億8,000万円)
	28	長性院の木造聖観世音菩薩立像を市文化財(有形文化財)に指定
	4. 1	特別養護老人ホーム「カトレヤ」オープン
	25	農具川が環境庁の「ふるさといきものの里」に選定される
	5. 13	夏期大学再建しゅん工式
	6. 2	まちづくり懇談会56人でスタート
	7. 1	市の木にオオヤマザクラ、花にカタクリ、獣にカモシカ、鳥にライチョウを制定
	2	市制施行35周年記念式典
	8. 1	有線テレビ・ACVが放送開始
	10. 1	共同福祉施設「フレンドプラザ大町」がオープン
	2	上原にサービスセンター開所
H	2. 2. 8	仁科神明宮の作始め神事を県文化財(無形民俗文化財)に指定
	9	宮本橋架け替え工事起工式
	3. 8	インスブルック市から友好提携5周年を記念して贈られたシャモア(アルプス・カモシカ)が山岳博物館に到着、一般公開される
	6. 11	国営アルプスあづみの公園事業化決定
	7. 1	市長選挙で腰原愛正氏初当選
	10	建設省が実施した「手づくり郷土(ふるさと)賞」で「塩の道」がふるさとの坂道30選の一つになる
	9. 23	第1回まちづくりシンポジウム開催
	10. 9	大町市有料道路が一般道になり、無料開放される
	23	常盤青島の高瀬河原にある基盤岩を市天然記念物に指定
	11. 19	大町都市計画公園9.6.1号アルプスあづみの公園都市計画決定
	12. 27	箆川発電計画同意書提出
H	3. 1. 1	駅前広場公園・文化公園完成
	2. 20	大町都市計画公園9.6.1号アルプスあづみの公園事業承認
	3. 25	立川市と姉妹都市の提携
	27	保健センター・大町公民館分室完成
	4. 1	機構改革(部長制等導入)
	5. 31	盛蓮寺の観音坐像、薬師堂の如来立像を指定有形文化財、一本木神社境内のカシワの木を指定天然記念物に指定
	6. 15	IOC総会により1998年冬季オリンピック開催都市が長野に決定
	7. 30	大町市専門委員(5人)、市政懇話会委員(12人)を任命
	8. 31	常盤南住宅団地造成、団地(34区画)しゅん工
	11. 1	山岳博物館40周年記念式典、インスブルックからオオヤマネコが贈られる
	9	第2回まちづくりシンポジウム開催
H	4. 1. 20	大町市在宅介護支援センターしゅん工式
	3. 2	大町森林管理センター開所式
	4. 19	森林生活改善センターしゅん工式
	5. 1	高瀬溪谷タクシー乗り入れ開始
	19	市立大町山岳博物館、長野県大町高等学校のトキ標本、仏崎観音寺のアカマツ、天正寺のコウヤマキを市天然記念物に、弾誓寺観音堂木造伝弾誓上坐像と木造伝長音上人坐像を市有形文化財に指定
	6.20~27	市民の海外視察団がヨーロッパを視察する
	7. 14	常盤公民館再建しゅん工式(工事費3億4,600万円)

- H 4.9.18～27 インズブルック市のアルペン動物園30周年記念式典に参列し、カモシカの剥製を贈呈  
インズブルック市からはクロライチョウの寄贈受ける
10. 14 公共下水工事に着手 管きょ工事始まる
11. 30 社山下にコミュニティ道路とポケットパーク完成
- H 5. 3. 1 県景観重点地区に国道147号、148号沿いが指定される
4. 1 老人訪問看護ステーション開所
- 26 大北伝染病舎しゅん工式
- 29 第1回緑化フェア開催
5. 15 市役所が土曜完全閉庁になる
6. 25 海の口のアカマツと俵町のキタコブシを天然記念物に指定
- 7.2～10 第2回市民海外視察団ヨーロッパを視察する 山岳博物館からウィーンのシェーンブルン  
動物園に2頭のニホンカモシカを贈呈する
- 30 信州博覧会「大町・北安曇の日」開催される
8. 11 大町病院増改築工事起工式
- 12 霊松寺の山門を県宝に指定
- 20 社山下にカタクリの庭オープン
11. 10 下水道終末処理場「大町浄水センター」起工式
- H 6. 3. 24 西小学校の体育館が完成(竣工式)
4. 22 木崎湖南にバイパスが完成
5. 11 アルプス囲碁村オープン
6. 26 大町市長選挙 腰原愛正氏無投票2選
7. 26 松本空港ジェット化オープン
8. 11 宮本橋が完成(竣工式)
11. 3 (民俗資料館開設10周年に)市制40周年記念式典
- 30 大町病院の新館が完成(竣工式)
- H 7. 3. 14 市労働会館が完成
4. 17 立川市と「姉妹都市相互支援協定」を締結
5. 5 第1回アルプス囲碁子ども大会
- 31 長野県総合防災訓練
6. 3 劇団四季「演劇資料館」が開館
- 12 大町らしい土産品をつくろうと「大町ブランド振興協会」設立
7. 11 梅雨前線豪雨災害
8. 22 氷見市と「姉妹都市相互支援協定」を締結
9. 25 一般廃棄物最終処分場が高根町で着工
- 22 アルプス搗精工場が完成(竣工式)
- 23～24 第1回ロマン街道・塩の道産業と文化フェスティバル
11. 13 社南部地区農業集落排水事業着工
- 25 山岳博物館イヌワシ飼育舎が完成、一般公開
- 5 ヨーロッパ・ジャパンウィーク参加
- H 8. 1. 22 木崎湖バイパストンネルが貫通する
- 31 大北職業訓練校新校舎が完成
2. 28 大北広域市町村圏事務組合が「北アルプス広域行政組合」に改名する
3. 28 大町総合病院増築整備事業が竣工する
4. 7 女性消防団員17名が入団する
- 15 「ゆーふる木崎湖」竣工、20日オープン
- 22 都市計画街路東町線220mが開通する
5. 20 県知事を迎え、大北地域経済サミットが開催される
- 21～24 第18回世界アマチュア囲碁選手権戦が開催される

- H 8. 6. 11 青木湖第一号トンネルが貫通する  
19 須沼工業団地へ第一号として企業が進出する  
7. 4 大北森林組合移転新築が完成する  
5 信濃大町駅開業80周年記念式典が行われる  
8. 1 信濃木崎夏季大学80周年記念式典が行われる  
9.21~22 塩の道会議開幕  
11. 11 第2次総合計画(後期5年計画)答申される  
12. 3 堤防道路・蓮華大橋が完成し、冬季オリンピック関連道路開通する  
19 木崎湖バイパスが開通する
- H 9. 2. 3 昭和電工大町工場の発電水利権が更新許可  
3. 8 第1回UIターン者を対象に「ようこそ大町見学会」開催  
18 市役所庁舎分室が完成  
27 一般廃棄物最終処分場「グリーンパーク」と、し尿処理施設「クリーンプラント」の完成式  
31 大町市公共下水道の一部と社南部農業集落排水施設の全部が使用開始となる  
4. 1 「大町おひさまカード」のサービス開始  
9 「いーずら大町特産館」オープン  
21 老人保健施設「虹の家」開所式  
6. 13 五日町と八日町のポケットパークで竣工式  
7. 1 冬季五輪大町市対策本部設置  
8. 12 「自主防災会連絡会」設立総会  
10. 1 大町一長野間「急行バス」運行開始  
11. 29 JR大糸線完全復旧(南小谷一小滝駅間)  
12. 3 青木湖バイパスが開通  
24 三日町バイパスが開通
- H 10. 1. 15 どか雪・市内の積雪量73cm市役所に雪害対策本部を設置  
24 長野オリンピック冬季大会聖火リレー  
2.7~22 長野オリンピック冬季大会開催  
3. 1 長野パラリンピック冬季大会聖火リレー  
5~14 長野パラリンピック冬季大会開催  
6. 21 大町市長選挙 腰原愛正氏無投票3選  
7. 25 「北アルプスの里周遊バス」運行開始  
9. 22 台風7号風害。りんご落下などの被害  
10. 22 国営公園アルプスあづみの公園起工式  
27~28 第36回女流アマ囲碁都市対抗戦
- H 11. 1. 13 向井千秋さんの『宇宙短歌』下の句募集で南小4年の丹野真奈美さんが内閣総理大臣賞を受賞  
2. 10 若一王子神社「銅造十一面観音坐像御生体残闕」が県宝に指定  
3. 28 文化会館で『早春賦』のCD収録  
4. 25 大町市議会議員22人当選。女性議員2人誕生  
5. 28 大黒町ポケットパークが完成(市内4箇所目)  
26 郵政省のケア・タウン構想事業がスタート。同時期にサテライト型ディサービスが始まる  
7. 21 青島地区にニチコン(株)大町工場が完成  
9. 大崎遺跡で縄文時代のクッキーが出土(日本最古)  
16 山寺廃寺出土遺物の墨書経石など6点が県宝指定  
10. 1 新・市立図書館オープン。利用者は数倍に増加  
11.12~14 仁科神明宮で、20年に一度の式年正遷宮祭  
12. 3 やしろ公園東へ移転新築の第7保育園が完成  
25 東洋紡績(株)大町工場閉鎖

- H 12. 2. 1 北アルプス広域連合発足。連合長は大町市長  
 4. 1 市民バス「ふれあい号」運行開始  
 7 ディサービスセンターかたくり開所  
 8 資源物の分別収集開始  
 5. 8 基準を超えるダイオキシン類排出のため環境プラント焼却炉運転停止  
 27 「黒部の太陽」フェスタ・オープニングイベント 炊き出しとコンサート  
 8. 10 流鏝馬会館開館  
 10. 2 特定環境保全公共下水道終末処理場「松川浄水苑」通水式  
 18 市営住宅大原団地第1工区19戸完成  
 22 文化会館にて早春賦歌碑除幕式  
 11. 11 文化公園など4会場でおたんじょ桜340本植樹。25年継続計画
- H 13. 3. 23 大町市第三次総合計画基本構想議決  
 27 ふれあいプラザ(4月2日開所)、おおまち情報センター(4月1日開所)完成  
 4. 22 平運動場、野球場完成  
 6. 30 総合福祉センター起工  
 7. 25 信濃大町駅前のロータリーが道路改良で対面通行へ  
 8. 10 若一王子神社の流鏝馬の神事が、県無形民俗文化財に指定  
 9.28~10.1 第15回全日本シニアソフトボール大会開催  
 10. 2 大町公園に北アルプス展望園地完成  
 13 山岳博物館創立50周年式典とシンポジウム開催  
 21 第1回アルプス囲碁村まつり「県知事・大町市長杯争奪囲碁大会」開催  
 11. 5 ホクト産業(長野市)が大町市に進出を発表。臨時市議会は、工場等誘致振興条例の一部改正案を可決
- H 14. 1. 9 大雪で豪雪対策本部を4年ぶりに設置  
 10 環境プラント排ガス高度処理施設整備工事竣工  
 2. 14 北アルプス広域葬祭場使用開始  
 3. 15 山岳文化都市宣言  
 5. 11 第1回「笑顔と元気でまちづくり事業」公開審査会開催  
 24~27 第20回全国シニアソフトボール大町大会開催  
 6. 26 市役所がISO14001を認証取得  
 30 大町市長選挙 腰原愛正氏4選果す  
 8. 5 住民基本台帳ネットワークシステムがスタート  
 10. 1 総合福祉センターがオープン
- H 15. 1. 5 日本棋院から「第2回囲碁普及大賞」を受賞  
 2. 1 2003大町雪まつり～冬のファンタジア～開催  
 26 「信越連帯新道」関係史料、飯嶋家文書市の指定文化財に指定  
 3. 15 大町市、八坂村、美麻村「大北地域任意合併協議会」を設立  
 4. 1 第一中学校2学期制スタート  
 27 大町市議会議員一般選挙が行われる  
 7. 30 東町駐車場オープン  
 8. 15 「木崎湖花火大会」5年ぶりに復活  
 10.25~26 第7回全国ミニテニス交流信州大町大会が開催  
 12. 15 地元産のそば粉を使用したそば焼酎の完成発表(発売は1月1日から)
- H 16. 2. 4 大町市・八坂村・美麻村合併協議会を設立  
 3. 21 しらかば保育園しゅん工式  
 4. 1 大町市男女共同参画推進条例が施行  
 1 働く婦人の家が、女性未来館ピュアに名称変更

- H 16. 4. 4 蔵の音楽館しゅん工  
5. 15 スケボーパークしゅん工  
5.22～23 全国雪形フェスティバル開催  
7. 6 第一中学校全面改築事業起工式  
8.27～29 第10回全国シニアソフトボール古希大会開催  
10.16～17 市制施行50周年「記念式典」及び「笑顔と元気の夢フェスタ」開催  
20 社地区を中心に、台風23号による豪雨災害
- H 17. 2. 7 中心商店街火災  
8 大町市・八坂村・美麻村合併調印式  
4. 1 大町市南部在宅介護支援センター開所  
5. 24 上原の湯しゅん工式  
5. 30 第三配水地しゅん工式  
7. 20 新児童館(児童センター)建設工事起工式  
8. 31 高瀬溪谷緑地公園公衆トイレ完成  
9.3～4 第39回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会  
10. 5 新観音橋開通式  
11. 1 3市村社会福祉協議会合併協議調印式  
21 市営住宅大原団地建設事業完成  
25 第一中学校新校舎開き  
27 八坂村閉村式  
12. 11 美麻村閉村式
- H 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併、新大町市誕生  
1. 29 市議会議員増員選挙  
2. 11 合併記念式典挙行  
3. 2 第一中学校体育館完成式  
27 新児童センター完成  
31 信濃大町駅前公衆トイレ完成  
4. 1 大町市社会福祉協議会合併  
3 北アルプス平日夜間小児科・内科急病センター開所  
5. 22 メンドシーノと姉妹都市の継続を調印  
7. 2 牛越徹大町市長無投票当選  
11. 1 大町商工会館、中心市街地多目的ホール・公衆トイレ完成  
12. 22 第一中学校全面改築事業しゅん工式  
20 第4次総合計画基本構想議決
- H 19. 3. 12 第4次総合計画策定  
4. 15 アルプス囲碁村会館開館式  
5. 24 はなのき保育園改築工事起工式  
10. 19 七倉公衆トイレ完成  
12. 10 信州大学と大町市が「連携に関する協定」を締結  
26 美麻支所・美麻公民館しゅん工式
- H 20. 5. 20 はなのき保育園完成式  
7. 22 街路若宮駅前線完成式  
8. 5 仁科台中学校全面改築事業起工式  
11. 26 緊急経済対策を発表  
28 グリーンパーク第2期工事起工式
- H 21. 1. 30 デジタル同報系無線防災行政無線開局  
7. 18 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区開園

- H 21 . 10 . 1 南部地域包括支援センター開所式  
11 運動公園サッカー場芝生全面改修工事完了  
12 . 18 仁科台中学校新校舎開き
- H 22 . 2 . 9 鳥獣被害対策優良活動で農林水産大臣賞を受賞  
3 . 25 一般廃棄物最終処分場(グリーンパーク)第2期工事しゅん工式  
4 . 1 市民活動サポートセンター、消費生活センター、北部地域包括支援センター開所  
16 町川発電所完成式  
5.29~30 第10回アルプス囲碁村まつり、囲碁サミット2010  
6 . 27 市長選で牛越徹氏再選される  
7 . 13 もみのき・こぶし保育園統合改築工事起工式  
22 JR信濃大町駅舎リニューアル記念セレモニー  
11 . 7 第一中学校創立50周年記念式典  
12 . 6 信州大学との連携に関する協定を再締結  
14 仁科台中学校全面改築事業完成式
- H 23 . 2 . 19 美麻地域づくり会議があしたのまち・くらしづくり活動賞受賞  
3 . 11 東日本大震災被災地へ市立大町病院DMAT派遣  
4 . 1 大町きりりシネマに映画「岳-ガク-」を認定  
1 市営ケーブルテレビ開局(全市域にエリア拡大)  
11 くるみ保育園完成  
16 立山黒部アルペンルート全線開通40周年  
5 . 29 第1回病院祭開催  
6 . 2 FM長野ラジオ番組「まるごとおおまち」放送開始  
30 市道大崎西原線工事完成  
7 . 3 大町市・立川市姉妹都市提携20周年記念事業  
11 . 3 山岳博物館創立60周年記念式典・講演会  
12 . 11 大町出身奥原希望さん全日本バドミントン総合選手権で史上最年少優勝
- H 24 . 4 . 20 「山岳図書資料館」開館  
5 . 20 「信濃大町観光大使」を女優・仁科亜季子さんに委嘱  
7.1~9.30 木崎湖舞台のアニメ「おねがい☆ティーチャー」放送10周年記念イベント  
7.14~8.5 流鏑馬サミットin信濃大町  
8 . 1 大町市で開催の全国高校総体女子サッカー大会に大町北高が出場  
4 信濃大町キャラクター「おおまびよん」デビュー  
31 「定住促進協働会議」を設立  
11 . 3 奥原希望さんバドミントン世界ジュニア選手権女子シングルスで優勝
- H 25 . 4 . 1 AW. ウォーター(株)信濃大町工場が創業  
1 地域おこし協力隊員を県内19市で初めて委嘱  
1 大町市を「恋人の聖地」に選定  
5 . 25 「くろよんまつり」開催  
7 . 29 大町一中 農具川美化活動で長野県河川協会「河川関係功労者表彰」受賞  
8.18~19 石原プロモーション会長・石原まき子さんが映画「黒部の太陽」ロケ地を初訪問  
9 . 6 美麻小中学校が道路美化活動で長野県道路整備期成同盟会「道路事業功労者表彰」受賞  
28 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区溪流レクリエーションゾーンがオープン  
11 . 12 大規模土砂災害を想定した国・県・市の合同防災訓練を初開催  
12 . 3 宇海水稀さん(大町一中3年)が第13回アジアジュニア&カデット空手道選手権大会の  
カデット女子形部門で初優勝
- H 26 . 2 . 17 八坂中学校「第12回未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」で学  
校賞最優秀賞受賞

- H 26 2. 28 北アルプス広域消防本部が通信指令室を新設  
3. 16 近江ハリーさんが第15回朝日新聞社オール学童水泳記録大会50m平泳ぎで全国優勝  
29 山岳博物館リニューアルオープン  
4. 1 美麻小中学校が小中一貫教育校、コミュニティ・スクールとしてスタート
- H 26. 6. 8 嶺村鴻汰さん(大町高-筑波大)が第98回日本陸上競技選手権大会男子走り幅跳びで優勝  
8.1~3 扇沢駅でトロリーバス開通50周年記念イベント「トロバスフェスタ」開催  
9. 30 大町岳陽高校(仮称)新校舎(管理特別教室棟)完成  
10. 9 八坂中学校ガードレール磨きで「信州エコ大賞」奨励賞受賞  
11. 2 鷹狩山展望公園で「恋人の聖地」モニュメント除幕式  
22 長野県神城断層地震発生 大町市で震度5弱
- H 27. 4. 8 オーストリア・インスブルック市と友好提携30周年を記念し再締結  
20 「恋人の聖地」大町市が全国で観光交流大賞受賞  
5. 26 松本山雅へ出資調印 ホームタウンに  
6. 6 信濃大町まつり開催  
7. 1 大町総合病院南棟「さくら」完成  
4 山岳博物館ライチョウ舎竣工、スバルバルライチョウ一般公開開始  
9. 13 奥原希望さん(日本ユニシス)がバドミントン国際大会のヨネックスオープンジャパン  
女子シングルスで優勝  
19 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区が開園からの来場者100万人達成  
10. 1 信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業推進協議会設立  
2 嶺村鴻汰さん(モンテローザ)が第70回国民体育大会陸上競技成人男子走り幅跳びで優勝  
11. 15 宇海水稀さん(日本航空高校)が第9回世界ジュニア&カデット・アンダー21  
空手道選手権大会ジュニア女子・形で優勝  
12. 13 奥原希望さん(日本ユニシス)がバドミントン国際大会のスーパーシリーズファイナルズ  
女子シングルスで優勝
- H 28. 1. 25 奥原希望さんに市特別栄誉賞を授与  
3. 3 大町高校、大町北高校がそれぞれ閉校式  
. 13 奥原希望さんバドミントン全英オープン優勝 日本勢39年ぶりの快挙  
4. 1 市役所にまちづくり交流課を新設  
. 7 大町岳陽高校開校式  
. 15 街路若宮駅前線が全面開通し完成式典と通り初め  
5. 6 美麻福祉企業センター竣工式  
5.13~20 美麻小中学校児童などの訪問団がアメリカ・メンドシーノで交流  
6. 18 国営アルプスあづみの公園全園開園記念式典  
25 嶺村鴻汰さん(モンテローザ)第100回日本陸上競技選手権大会男子走り幅跳びで優勝  
7.22~24 上田瑠偉さんスカイランニング世界選手権でコンバインド男子2位となり、日本チームの  
銅メダルに貢献  
24 信濃大町駅開業100周年記念式典  
8. 2 宇海水稀さん(日本航空高校)全国高校総合体育大会(インターハイ)空手道で3連覇  
19 リオデジャネイロ五輪バドミントン女子シングルスで奥原希望さんが日本勢初の銅メダル獲得  
8.23~25 第一中学校体操女子が全国中学校体操競技選手権大会で団体3位、坂口彩夏さんが種目  
別・跳馬優勝  
29 奥原希望さんが帰郷し祝賀パレードに観客1万2千人お祝いする会で2度目の市特別栄誉  
賞を授与  
10. 1 仁科台中学校開校周年記念式典  
11. 19 大町ダム完成周年記念シンポジウム  
12. 11 文化会館開館周年記念式典

- H 29. 3. 3 大町岳陽高校として初の卒業式  
 29 信濃大町観光大使・鉄拳さんが大町を題材にしたパラパラ漫画「きりり輝く」を発表  
 6. 3 料理研究家・横山タカ子さん信濃大町観光大使に  
 6.4~7.30 北アルプス国際芸術祭2017~信濃大町 食とアートの廻廊~  
 10 富山市・大町市合同企画 立山黒部アルペンルート佐々成政武者行列を初開催  
 21 山岳博物館で19年ぶりの人工繁殖のニホンライチョウのひな誕生  
 7. 6 立山黒部アルペンルート関電トロリーバスの累計乗車6000万人を達成  
 29 第19回大町ゆかたまつりが北アルプス国際芸術祭フィナーレ前夜祭として開催  
 8.19~21 全国中学校体操競技選手権大会で大町第一中学校体操女子が団体総合2位獲得  
 27 世界バドミントン選手権大会女子シングルスで奥原希望さん(日本ユニシス)が日本勢初の  
 金メダル獲得  
 9.17~18 国際ジュニア体操競技大会に坂口彩夏さん(大町第一中)が県勢初の日本代表として出場  
 20 女優・村井美樹さん信濃大町観光大使に  
 30 奥原希望さんに3度目の大町市特別栄誉賞  
 10. 8 日本山岳耐久レース「ハセツネCUP」で大町市出身の上田瑠偉さん  
 (コロンビアスポーツウェアジャパン)優勝  
 14 大糸線全線開通60周年記念 大糸線クイズ列車の旅  
 22 第33回全国硬筆コンクールで平林遥さん(仁科台中)が中学生の部最高賞の文部科学大臣  
 賞を受賞し表彰  
 28 運動公園第二屋内運動場完成式  
 11. 17 大町登山案内人組合創立100年記念式典  
 12. 29 第2の奥原希望発掘プロジェクト  
 H 30. 1.5~8 北アルプスバドミントンオープンを初開催  
 15 コンビニで住民票などを取得できるサービス開始  
 3. 29 山岳博物館附属園新ライチョウ舎完成  
 6. 15 モンドセレクション2018などを受賞した「信濃大町 湧水」を発売  
 10. 1 子育て世代包括支援センター「あおぞら」開設  
 11. 30 関電トンネルトロリーバスラストラ  
 R 1. 5. 7 高齢者雇用の拠点となる生涯現役相談センターが開所  
 6. 3 子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる「第三の居場所大町拠点施設」開所  
 10. 5 大町図書館会館20周年記念式典  
 11. 3 ゆるキャラ®グランプリ2019でおおまぴょんがご当地部門11位に  
 R 2. 5. 1 緊急事態宣言により帰省を自粛している県外在住の学生を支援する「ふるさと応援パック」を  
 実施  
 7. 17 シンセサイザー奏者で作曲家の喜多郎さんがゴールデングローブ賞のトロフィーを市に寄贈  
 10. 31 第一中学校60周年記念式典  
 11. 14 クラウドファンディングにより保存が決定した関電トンネルトロリーバスの展示に併せ  
 トロバス記念館がプレオープン



# 1. 土地・気象

## 位置と面積

令和2年10月1日現在

位置	東 経	北 緯	標 高
大町市役所	137° 51' 3"	36° 30' 10"	726m
八坂支所	137° 55' 2"	36° 29' 7"	710m
美麻支所	137° 53' 38"	36° 43' 13"	872m
大 町 市 面 積			565.15 km <sup>2</sup>

資料：企画財政課

## 地目別土地面積

令和2年1月1日現在

単位:km<sup>2</sup> %

項 目	総 数	田	畑	宅 地	山 林	原 野	池 沼	雑 種 地	そ の 他
面 積	565.15	22.92	4.30	10.83	167.19	2.68	10.60	5.88	340.75
構 成 比	100.0	4.1	0.8	1.9	29.6	0.5	1.9	1.0	60.3

資料：税務課

## 年次別気象概況

年次	気 温			天 気 日 数		風 向 風 速		降 水 量		日照時間
	平均	最高	最低	快 晴	曇 天	平均	最大	総 量	最 大 量	
	℃	℃	℃	日	日	m/s	m/s	mm	mm	h
平成20年	9.6	33.4	△ 15.6	64	95	1.9	W12.8	1,208.5	87.5	1,863.8
21	9.8	31.9	△ 14.3	58	109	1.9	WNW11.4	1,579.0	64.5	1,822.7
22	10.1	33.9	△ 15.7	38	104	1.9	W11.7	1,695.5	74.0	1,701.9
23	9.3	33.2	△ 14.9	…	…	2.1	WSW12.1	1,582.5	117.0	1,812.9
24	9.2	34.0	△ 15.8	…	…	2.0	WNW11.5	1,230.5	53.5	1,814.0
25	9.6	33.7	△ 16.2	…	…	2.2	W11.8	1,397.5	104.0	2,014.5
26	9.3	33.9	△ 15.4	…	…	2.1	W11.0	1,531.0	59.0	1,902.4
27	10.1	34.2	△ 15.5	…	…	2.0	N10.9	1,472.0	64.0	1,872.7
28	10.5	33.7	△ 15.8	…	…	2.0	W12.3	1,414.5	72.0	1,870.5
29	10.6	34.6	△ 12.4	…	…	1.1	WSW8.0	1,006.0	76.5	1,878.2
30	10.5	35.5	△ 14.2	…	…	2.1	NNE12.7	1,421.5	131.0	2,011.6
令和元年	10.3	34.0	△ 14.5	…	…	2.0	W12.4	1,308.5	93.5	1,826.8
2	10.5	34.7	△ 12.8	…	…	2.1	N12.2	1,421.5	69.0	1,774.2

資料：長野県地方気象台

注) 点線は、観測場所を移転した場合、観測装置を変更した場合または観測の時間間隔を変更した場合に、その前後のデータが均質でないことを示します。

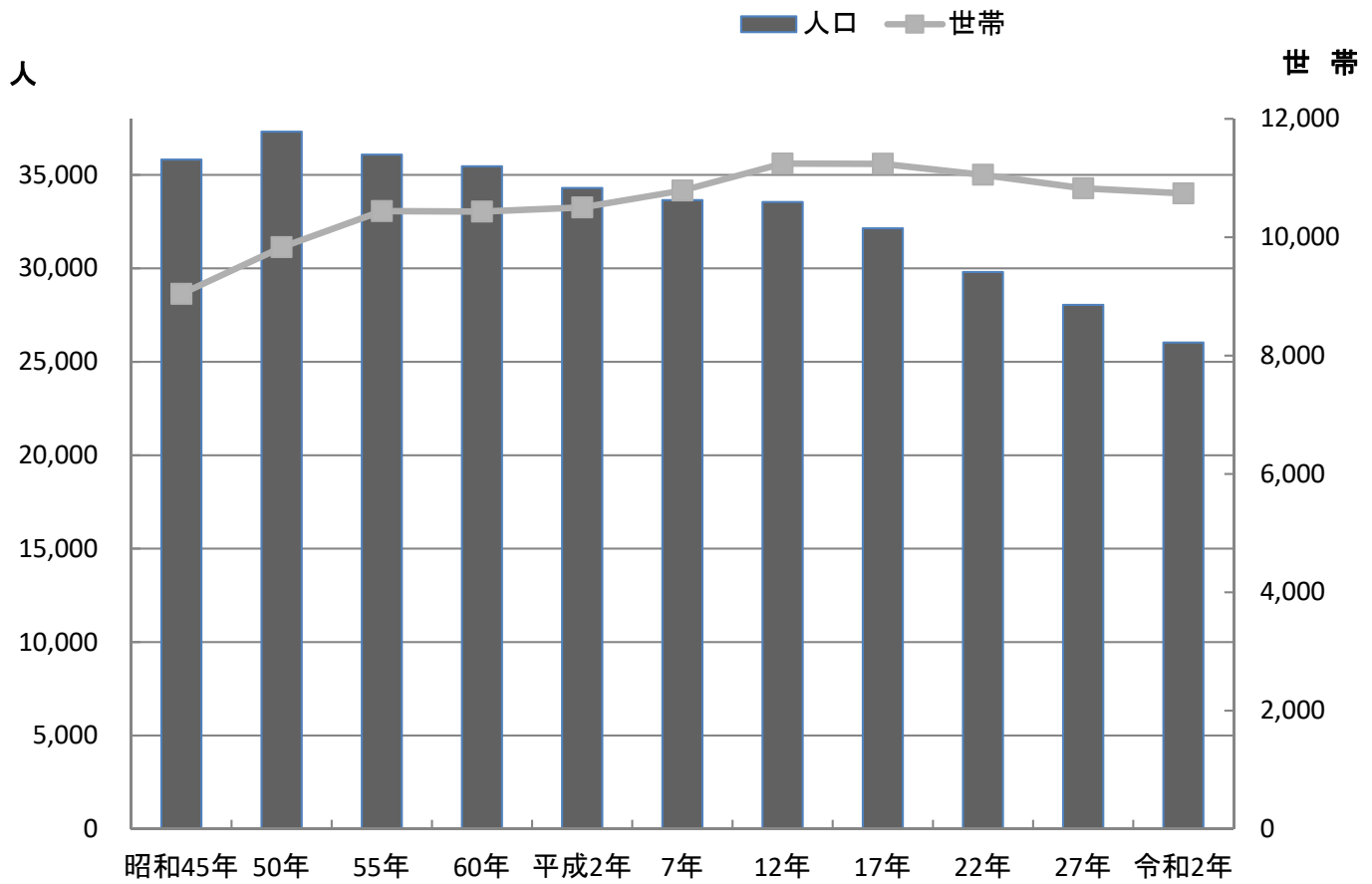
## 降雪・積雪量

年次	降 雪 量		雪		月 別 積 雪 量 (最 深)			
	降雪量 合計	一日最大 降雪量	初 月 日	終 月 日	12月	1月	2月	3月
					cm	cm	cm	cm
平成23年～24年	500	22	12.24	4.16	18	39	48	22
24～25	470	39	12.1	3.8	33	44	56	34
25～26	380	40	12.10	3.15	25	22	70	20
26～27	520	37	12.5	3.13	70	78	93	44
27～28	206	34	11.27	3.16	7	46	62	11
28～29	242	20	11.24	3.10	9	124	97	16
29～30	206	24	11.21	3.22	45	68	45	18
30～31	303	36	12.19	4.10	9	36	23	20
令和元年～2年	116	22	12.22	3.29	3	16	12	22
2～3	251	28	12.16	2.20	20	28	8	0

資料：長野地方気象台

注) 1.「降雪量合計」は平成15～16年以降、集計方法が変わったため前年と比較できない。  
2.「降雪量合計」は11月～翌年4月までの数値です。

## 人口の推移



## 人口の推移

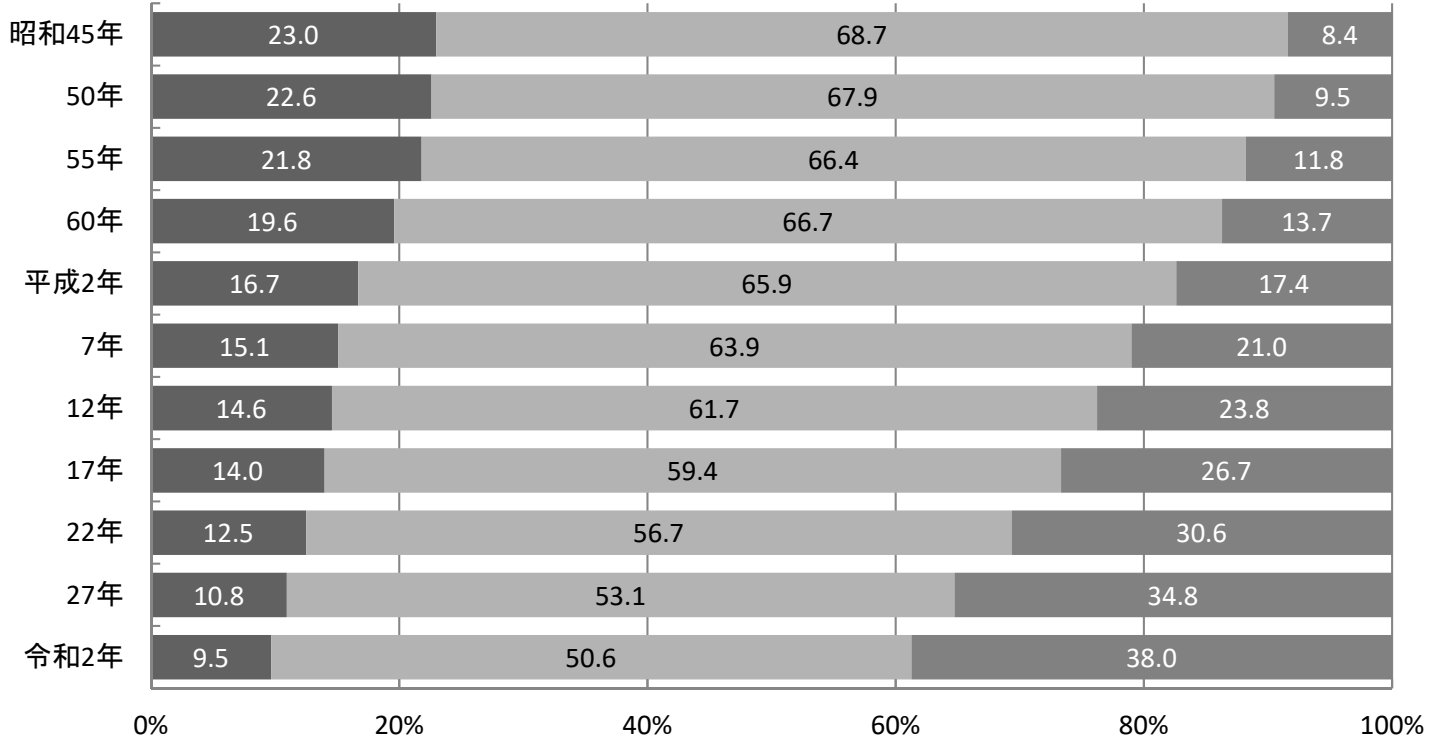
各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
	世帯	人	人	人
昭和45年	9,041	35,817	17,088	18,729
50	9,830	37,311	18,243	19,068
55	10,441	36,083	17,521	18,562
60	10,432	35,460	17,098	18,362
平成2年	10,502	34,300	16,541	17,759
7	10,788	33,655	16,367	17,288
12	11,244	33,550	16,308	17,242
17	11,240	32,145	15,571	16,574
22	11,054	29,801	14,429	15,372
27	10,826	28,041	13,555	14,486
令和2年	10,739	26,029	12,594	13,435

資料：国勢調査

# 年齢3区分別構成比の推移

■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口



## 年齢3区分別人口の推移

各年10月1日現在 (単位: 人・%)

年次	世帯数	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	年齢別割合			年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
						0~14 (年少人口)	15~64 (生産年齢人口)	65以上 (老年人口)				
昭和45年	9,041	35,817	8,228	24,594	2,995	23.0	68.7	8.4	33.5	12.2	45.6	36.4
50	9,830	37,311	8,446	25,326	3,539	22.6	67.9	9.5	33.3	14.0	47.3	41.9
55	10,441	36,083	7,860	23,969	4,254	21.8	66.4	11.8	32.8	17.7	50.5	54.1
60	10,432	35,460	6,967	23,636	4,857	19.6	66.7	13.7	29.5	20.5	50.0	69.7
平成2年	10,502	34,300	5,734	22,576	5,946	16.7	65.8	17.3	25.4	26.3	51.7	103.7
7	10,788	33,655	5,071	21,501	7,083	15.1	63.9	21.0	23.6	32.9	56.5	139.7
12	11,244	33,550	4,885	20,686	7,979	14.6	61.7	23.8	23.6	38.6	62.2	163.3
17	11,240	32,145	4,489	19,086	8,567	14.0	59.4	26.7	23.5	44.9	68.4	190.8
22	11,054	29,801	3,720	16,906	9,120	12.5	56.7	30.6	22.0	53.9	75.9	245.2
27	10,826	28,041	3,030	14,900	9,766	10.8	53.1	34.8	20.3	65.5	85.9	322.3
令和2年	10,739	26,029	2,460	13,174	9,891	9.5	50.6	38.0	18.7	75.1	93.8	402.1

資料: 企画財政課

注) 年齢構成指数の説明

- ①年少人口指数: 生産年齢人口に対する年少人口の比率
- ②老年人口指数: 生産年齢人口に対する老年人口の比率
- ③従属人口指数: 生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の計の比率
- ④老年化指数: 年少人口に対する老年人口の比率

# 大字別人口の推移

各年10月1日現在

年次	大町				平				常盤			
	世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女
昭和15年	2,566	12,977	6,272	6,705	761	3,820	1,945	1,875	817	4,673	2,347	2,326
22	3,175	16,256	7,133	9,123	867	4,391	2,179	2,212	975	5,618	2,738	2,880
25	3,353	17,473	7,665	9,808	909	4,664	2,350	2,314	1,014	5,763	2,848	2,915
30	3,749	17,610	8,157	9,453	955	4,951	2,578	2,373	1,036	5,671	2,803	2,868
35	4,632	19,619	9,140	10,479	1,188	7,341	4,639	2,702	1,130	5,594	2,712	2,882
40	4,860	19,179	8,741	10,438	1,018	4,786	2,529	2,257	1,153	5,261	2,499	2,762
45	5,156	19,239	8,971	10,268	1,015	4,494	2,288	2,206	1,303	5,491	2,627	2,864
50	5,548	19,752	9,396	10,356	1,342	5,656	3,052	2,604	1,394	5,750	2,769	2,981
55	5,714	18,755	8,976	9,779	1,661	5,377	2,763	2,614	1,519	6,134	2,922	3,212
60	5,669	18,032	8,658	9,374	1,489	5,257	2,584	2,673	1,671	6,453	3,087	3,366
平成2年	5,681	17,215	8,249	8,966	1,578	5,395	2,623	2,772	1,772	6,556	3,170	3,386
7	5,522	16,130	7,786	8,344	1,631	5,379	2,633	2,746	1,965	6,783	3,310	3,473
12	5,526	15,362	7,453	7,909	1,716	5,382	2,638	2,744	2,220	7,288	3,513	3,775
17	5,301	14,446	7,008	7,438	1,790	5,229	2,536	2,693	2,395	7,306	3,521	3,785
22	5,216	13,385	6,490	6,895	1,776	4,803	2,355	2,448	2,372	6,951	3,311	3,640
27	5,128	12,742	6,139	6,603	1,718	4,411	2,153	2,258	2,350	6,661	3,202	3,459

年次	社				八坂				美麻			
	世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女
昭和15年	423	2,241	1,105	1,136	566	3,077	1,578	1,499	677	3,719	1,917	1,802
22	475	2,562	1,203	1,359	614	3,374	1,652	1,722	709	3,920	1,941	1,979
25	473	2,608	1,255	1,353	600	3,413	1,688	1,725	717	3,988	2,000	1,988
30	489	2,490	1,177	1,313	589	3,264	1,609	1,655	692	3,739	1,867	1,872
35	558	2,597	1,254	1,343	531	2,708	1,321	1,387	655	3,325	1,643	1,682
40	669	2,859	1,374	1,485	479	2,248	1,098	1,150	577	2,655	1,314	1,341
45	648	2,675	1,295	1,380	432	1,874	909	965	487	2,044	998	1,046
50	699	2,686	1,301	1,385	408	1,727	849	878	439	1,740	876	864
55	711	2,700	1,320	1,380	400	1,503	752	751	436	1,614	788	826
60	736	2,709	1,318	1,391	439	1,499	743	756	428	1,510	708	802
平成2年	679	2,431	1,181	1,250	386	1,363	684	679	406	1,340	634	706
7	824	2,728	1,339	1,389	400	1,315	649	666	446	1,320	650	670
12	940	2,979	1,466	1,513	407	1,257	626	631	435	1,282	612	670
17	953	2,817	1,381	1,436	371	1,112	532	580	430	1,235	593	642
22	942	2,651	1,289	1,362	340	925	458	467	408	1,086	526	560
27	922	2,444	1,206	1,238	326	848	412	436	382	935	443	492

年次	総数			
	世帯数	人口	男	女
昭和15年	5,810	30,507	15,164	15,343
22	6,815	36,121	16,846	19,275
25	7,066	37,909	17,806	20,103
30	7,510	37,725	18,191	19,534
35	8,694	41,184	20,709	20,475
40	8,756	36,988	17,555	19,433
45	9,041	35,817	17,088	18,729
50	9,830	37,311	18,243	19,068
55	10,441	36,083	17,521	18,562
60	10,432	35,460	17,098	18,362
平成2年	10,502	34,300	16,541	17,759
7	10,788	33,655	16,367	17,288
12	11,244	33,550	16,308	17,242
17	11,240	32,145	15,571	16,574
22	11,054	29,801	14,429	15,372
27	10,826	28,041	13,555	14,486

資料：企画財政課

注) 1. 国勢調査に基づく数値を掲載。

2. 総数は平成26年10月1日現在の市町村境域に基づく数値。

# 人 口 動 態

年 次	増加人口	自 然 動 態			社 会 動 態			婚姻	離婚	死産
		増減	出生	死亡	増減	転入	転出			
	人	人	人	人	人	人	人	件	件	件
平成28年	△ 427	△ 228	141	369	△ 198	861	1,059	82	41	7
29	△ 431	△ 289	139	428	△ 142	900	1,042	96	44	5
30	△ 372	△ 207	142	349	△ 165	858	1,023	91	52	4
令和元年	△ 429	△ 252	148	400	△ 177	855	1,032	95	41	3
2	△ 366	△ 217	142	359	△ 149	818	967	78	41	4

資料：市民課（毎月人口異動報告）

注1) 婚姻、離婚は本籍人届出数

## 出生率の推移

年 次	大 町 市		長 野 県	
	実 数	率	実 数	率
	人	%	人	%
平成2年	268	8.5	21,898	10.1
7	281	9.1	21,187	9.7
12	282	9.1	21,194	9.7
13	259	8.4	20,889	9.6
14	263	8.6	20,324	9.3
15	250	8.2	19,735	9.1
16	236	7.8	19,323	8.9
17	209	7.0	18,517	8.6
18	213	6.7	18,775	8.7
19	219	7.0	18,618	8.7
20	208	6.7	18,129	8.5
21	189	6.2	17,310	8.1
22	158	5.3	17,233	8.1
23	194	6.6	16,917	8.0
24	169	5.8	16,661	7.9
25	150	5.2	16,326	7.8
26	172	6.1	15,848	7.6
27	164	5.9	15,546	7.4
28	139	5.1	15,114	7.2
29	136	5.0	14,519	7.1
30	142	5.1	14,184	7.0
令和元年	149	5.7	13,553	6.7
2	140	5.3	...	...

資料：長野県健康福祉政策課「人口動態統計結果表」

- 注) 1. 「‰」とは人口1,000人に対する比である。  
 2. 比率計算に用いられた人口は各年の10月1日現在の国勢調査または推計による人口である。  
 3. 合併前は、旧大町市の数値である。

# 年齢（5歳階級）別人口構成

各年10月1日現在

年次	平成27年				令和2年				比較増減
	男	女	計	構成比	男	女	計	構成比	
歳	人	人	人	%	人	人	人	%	人
総数	13,555	14,486	28,041	100.0	12,594	13,435	26,029	100.0	△ 2,012
0～4	448	375	823	2.9	363	315	678	2.6	△ 145
5～9	516	442	958	3.4	443	367	810	3.1	△ 148
10～14	607	642	1,249	4.5	525	447	972	3.7	△ 277
15～19	661	584	1,245	4.4	499	530	1,029	4.0	△ 216
20～24	462	430	892	3.2	452	477	929	3.6	37
25～29	486	475	961	3.4	472	403	875	3.4	△ 86
30～34	559	558	1,117	4.0	430	434	864	3.3	△ 253
35～39	792	688	1,480	5.3	551	549	1,100	4.2	△ 380
40～44	898	892	1,790	6.4	788	682	1,470	5.6	△ 320
45～49	942	865	1,807	6.4	856	882	1,738	6.7	△ 69
50～54	868	853	1,721	6.1	912	857	1,769	6.8	48
55～59	872	856	1,728	6.2	854	853	1,707	6.6	△ 21
60～64	1,078	1,081	2,159	7.7	839	854	1,693	6.5	△ 466
65～69	1,245	1,277	2,522	9.0	1,025	1,045	2,070	8.0	△ 452
70～74	958	1,096	2,054	7.3	1,153	1,212	2,365	9.1	311
75～79	769	975	1,744	6.2	822	1,001	1,823	7.0	79
80～84	650	940	1,590	5.7	610	864	1,474	5.7	△ 116
85～89	408	776	1,184	4.2	450	767	1,217	4.7	33
90～94	131	392	523	1.9	212	501	713	2.7	190
95～99	27	101	128	0.5	41	164	205	0.8	77
100以上	6	15	21	0.1	2	22	24	0.1	3
不詳	172	173	345	1.2	295	209	504	1.9	159

資料：国勢調査

# 国籍別外国人登録者数

各年3月31日現在

年次	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
国籍	人	人	人	人	人
総数	466	473	506	538	547
韓国及び朝鮮	79	69	66	68	62
中国	62	65	63	56	49
ブラジル	43	45	50	54	69
タイ	40	42	42	44	44
フィリピン	83	81	83	79	78
その他	159	171	202	237	245

資料：市民課

# 人口集中地区別人口・面積・人口密度 DIDs

各年10月1日現在（単位：人・km<sup>2</sup>）

市	人 口			面 積			人 口 密 度	
	人口集中地区 (DIDs)	市全域	全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区 (DIDs)	市全域	全域に対する人口集中地区の割合	人口集中地区 (DIDs)	市全域
昭和60年	8,426	32,451	26.0	2.2	464.16	0.47	3,830.0	69.9
平成2年	9,691	31,597	30.7	2.7	464.84	0.58	3,589.3	68.0
7	9,318	31,020	30.0	2.7	464.84	0.58	3,451.1	66.7
12	8,029	31,011	25.9	2.6	464.84	0.56	3,088.1	66.7
17	7,535	29,798	25.3	2.6	464.84	0.56	2,954.9	64.1
22	6,730	29,801	22.6	2.5	564.99	0.44	2,670.6	52.7
27	5,503	28,041	19.6	2.1	565.15	0.37	2,620.5	49.6

資料：国勢調査

注）平成17年以前は旧大町市の数値。

# 15歳以上男女別労働力人口

平成27年10月1日現在

区 分	15歳以上人口	労働力人口							非労働力人口
		労働力人口計	就業者					完全失業者	
			就業者計	主に仕事	家事のほか仕事	通学のかたわら仕事	休業		
総 数	人	人	人	人	人	人	人	人	人
15～64歳	24,666	14,507	14,018	11,855	1,903	42	218	489	9,927
65歳以上	14,900	11,779	11,365	9,974	1,198	42	151	414	2,956
男	9,766	2,728	2,653	1,881	705	—	67	75	6,971
15～64歳	11,812	8,150	7,818	7,427	237	25	129	332	3,531
65歳以上	7,618	6,534	6,259	6,100	60	25	74	275	990
女	4,194	1,616	1,559	1,327	177	—	55	57	2,541
15～64歳	12,854	6,357	6,200	4,428	1,666	17	89	157	6,396
65歳以上	7,282	5,245	5,106	3,874	1,138	17	77	139	1,966
	5,572	1,112	1,094	554	528	—	12	18	4,430

資料：国勢調査



産業分類別就業者数

各年10月1日現在

産業分類	平成17年			平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	16,655	9,454	7,201	14,812	8,388	6,424	14,018	7,818	6,200
第一次産業	1,797	969	828	1,363	790	573	1,228	722	506
農業	1,743	918	825	1,262	701	561	1,150	658	492
林業	49	46	3	92	82	10	71	61	10
漁業	5	5	-	9	7	2	7	3	4
第二次産業	5,112	3,757	1,355	4,385	3,270	1,115	3,956	2,916	1,040
鉱業、採石業、砂利採取業	16	15	1	12	10	2	7	5	2
建設業	2,075	1,785	290	1,592	1,374	218	1,426	1,236	190
製造業	3,021	1,957	1,064	2,781	1,886	895	2,523	1,675	848
第三次産業	9,647	4,675	4,972	8,859	4,199	4,660	8,513	4,009	4,504
電気・ガス・熱供給・水道業	184	169	15	157	136	21	158	136	22
情報通信業	783	635	148	105	67	38	90	69	21
運輸業、郵便業	783	635	148	701	588	113	593	505	88
卸売業、小売業	2,347	1,029	1,318	1,902	859	1,043	1,677	754	923
金融業、保険業	215	88	127	205	75	130	181	68	113
不動産業	54	32	22	129	88	41	118	69	49
宿泊業、飲食サービス業	1,353	512	841	1,257	482	775	1,146	442	704
学術研究、専門・技術サービス業				278	191	87	274	189	85
生活関連サービス業、娯楽業				577	202	375	544	202	342
教育、学習支援業				503	241	262	499	230	269
医療、福祉	4,134	1,788	2,346	1,587	327	1,260	1,750	381	1,369
複合サービス事業				213	106	107	208	107	101
サービス業（他に分類されないもの）				701	438	263	724	466	258
公務（他に分類されないもの）	577	422	155	544	399	145	551	391	160
分類不能の産業	99	53	46	205	129	76	321	171	150

資料：国勢調査

注) 1. 産業大分類は、平成27年国勢調査による。

注) 2. 平成22年から産業分類が変更

産業別従業上の地位・男女別15歳以上就業者数

平成27年10月1日現在

産業大分類	従業上の地位				男				女			
	総数	雇用者・役員含	自営業主・家庭内職者含	家族従事者	総数	雇用者・役員含	自営業主・家庭内職者含	家族従事者	総数	雇用者・役員含	自営業主・家庭内職者含	家族従事者
総数	14,018	11,420	1,808	633	7,818	6,247	1,402	89	6,200	5,173	406	544
農業	1,150	303	538	309	658	133	481	44	492	170	55	265
林業	71	56	13	2	61	48	12	1	10	8	1	1
漁業	7	7	-	-	3	3	-	-	4	4	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	7	7	-	-	5	5	-	-	2	2	-	-
建設業	1,426	1,123	244	49	1,236	966	243	17	190	157	1	32
製造業	2,523	2,341	151	20	1,675	1,564	101	2	848	777	50	18
電気・ガス・熱供給・水道業	158	156	1	-	136	135	-	-	22	21	1	-
情報通信業	90	80	9	-	69	60	9	-	21	20	-	-
運輸業、郵便業	593	567	25	-	505	483	21	-	88	84	4	-
卸売業、小売業	1,677	1,454	150	68	754	636	110	7	923	818	40	61
金融業、保険業	181	175	5	-	68	64	3	-	113	111	2	-
不動産業、物品賃貸業	118	101	13	4	69	60	9	-	49	41	4	4
学術研究、専門・技術サービス業	274	189	66	18	189	129	58	2	85	60	8	16
宿泊業、飲食サービス業	1,146	887	169	87	442	323	110	8	704	564	59	79
生活関連サービス業、娯楽業	544	414	102	28	202	161	37	4	342	253	65	24
教育、学習支援業	499	447	45	6	230	219	10	1	269	228	35	5
医療、福祉	1,750	1,656	60	28	381	331	50	-	1,369	1,325	10	28
複合サービス事業	208	202	4	1	107	105	1	-	101	97	3	1
サービス業	724	552	165	6	466	355	108	2	258	197	57	4
公務	551	551	-	-	391	391	-	-	160	160	-	-
分類不能の産業	321	152	50	7	171	76	39	1	150	76	11	6

資料：国勢調査

注) 総数は従業上の地位「不詳」を含む

# 職業分類別就業者数

各年10月1日現在

区 分	平成 12 年			平成 17 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	18,170	10,493	7,677	16,655	9,454	7,201
管 理 的 職 業 従 事 者	492	442	50	368	336	32
専 門 的 ・ 技 術 的 職 業 従 事 者	1,874	1,036	838	1,637	779	858
事 務 従 事 者	2,954	1,083	1,871	2,702	1,028	1,674
販 売 従 事 者	1,877	1,053	824	1,675	903	772
サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	1,890	654	1,236	1,873	581	1,292
保 安 職 業 従 事 者	188	176	12	183	168	15
農 林 ・ 漁 業 作 業 者	1,685	878	807	1,742	977	765
運 輸 ・ 通 信 従 事 者	596	564	32	515	469	46
技 能 工 ・ 生 産 工 程 作 業 ・ 労 務 作 業 者	6,606	4,604	2,002	5,862	4,161	1,701
分 類 不 能 の 職 業 従 事 者	8	3	5	98	52	46

区 分	平成 22 年			平成 27 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	14,812	8,388	6,424	14,018	7,818	6,200
管 理 的 職 業 従 事 者	433	381	52	353	293	60
専 門 的 ・ 技 術 的 職 業 従 事 者	1,704	816	888	1,765	835	930
事 務 従 事 者	2,230	880	1,350	2,157	882	1,275
販 売 従 事 者	1,425	679	746	1,211	578	633
サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	2,046	642	1,404	1,997	624	1,373
保 安 職 業 従 事 者	180	173	7	182	175	7
農 林 漁 業 従 事 者	1,234	772	462	1,111	709	402
生 産 工 程 従 事 者	2,584	1,815	769	2,319	1,604	715
輸 送 ・ 機 械 運 転 従 事 者	649	628	21	567	541	26
建 設 ・ 採 掘 従 事 者	991	971	20	906	878	28
運 搬 ・ 清 掃 ・ 包 装 等 従 事 者	1132	500	632	1131	528	603
分 類 不 能 の 職 業	204	131	73	319	171	148

資料：国勢調査 ※平成22年から職業区分変更

# 世帯人員別一般世帯数及び一般世帯人員

令和2年10月1日現在

## 一般世帯

総 数	世帯数							世帯人員	1世帯 当たり 人員
	世帯人員 1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7人以上		
10,706	3,306	3,428	1,892	1,193	559	227	101	25,502	2.38

資料：国勢調査

# 世帯の家族類型別一般世帯数・一般世帯人員及び親族人員

項目	一般							
	総数	親族世帯						その他
		総数	核	家	族	世	帯	
総数	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯	総数			
一般世帯数	10,706	7,296	5,776	2,488	2,275	157	856	1,520
一般世帯人員	25,502	21,896	15,441	4,976	8,164	356	1,945	6,455
1世帯当たりの一般世帯人員	2.38	3.00	2.67	2.00	3.59	2.27	2.27	4.25
(再掲) 6歳未満世帯員のいる一般世帯数	625	622	463	—	443	1	19	159
6歳未満世帯員のいる一般世帯人員	2,722	2,704	1,824	—	1,769	2	53	880
6歳未満世帯人員	840	837	632	—	607	1	24	205
(再掲) 18歳未満世帯員のいる一般世帯数	1,795	1,783	1,237	—	1,085	18	134	546
18歳未満の親族のいる世帯の人員	7,672	7,618	4,720	—	4,297	52	371	2,898
18歳未満の親族人員	3,079	3,062	2,192	—	1,957	29	206	870
(再掲) 3世代世帯数	971	966	0	—	—	—	—	966
3世代世帯人員	4,790	4,762	0	—	—	—	—	4,762

資料：国勢調査

## 高齢者の年齢（5区分）、男女別高齢単身者数

令和2年10月1日現在

区分	総数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	(別掲) 60歳以上
65歳以上の高齢単身者数	1,568	251	362	275	238	442	1,776
男	576	150	182	86	60	98	693
女	992	101	180	189	178	344	1,083

資料：国勢調査

世帯										非親族を含む世帯	単独世帯
世帯					世帯						
夫婦と両親から成る世帯	夫婦とひとり親から成る世帯	夫婦、子供と両親から成る世帯	夫婦、子供とひとり親から成る世帯	夫婦と他の親族(親、子供を含まない)から成る世帯	夫婦、子供と他の親族(親を含まない)から成る世帯	夫婦、親と他の親族(子供を含まない)から成る世帯	夫婦、親と他の親族から成る世帯	兄弟姉妹のみから成る世帯	他に分類されない親族世帯		
85	303	255	394	26	126	26	63	72	170	81	3,306
340	909	1,466	1,813	84	587	131	416	148	561	236	3,306
4.00	3.00	5.75	4.60	3.23	4.66	5.04	6.60	2.06	3.30	2.91	1.00
—	—	47	36	—	28	4	34	—	10	3	—
—	—	272	177	—	133	28	229	—	41	18	—
—	—	58	50	—	34	7	44	—	12	3	—
—	—	183	163	3	86	5	56	—	50	12	—
—	—	1,080	805	10	412	34	370	—	187	54	—
—	—	307	268	4	119	8	97	—	67	17	—
—	—	255	394	—	119	11	63	—	124	5	—
—	—	1,466	1,813	—	557	68	416	—	442	28	—

住居の種類・住宅の所有の関係別65歳以上の親族のいる一般世帯数・人員

区分	世帯数	世帯人員	65歳以上世帯人員	1世帯当たり人員
65歳以上親族のいる一般世帯	6,319	15,388	9,469	2.44
住宅に住む一般世帯	6,311	15,375	9,458	2.44
主世帯	6,283	15,314	9,425	2.44
持ち家	5,773	14,515	8,812	2.51
公営・都市機構・公社の借家	254	402	308	1.58
民営の借家	247	375	291	1.52
給与住宅	9	22	14	2.44
間借り	28	61	33	2.18
住宅以外に住む一般世帯	8	13	11	1.63

資料:国勢調査

# 住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数・人員

大町市

令和2年10月1日現在

住居の種類・ 住宅の所有の関係（6区分）	世帯数	世帯 人員	1世帯当たり 人員
一般世帯	10,706	25,502	2.38
住宅に住む一般世帯	10,481	25,239	2.41
主世帯	10,381	25,026	2.41
持ち家	8,435	21,539	2.55
公営・公団・公社の借家	617	1,200	1.94
民営の借家	1,086	1,906	1.76
給与住宅	243	381	1.57
間借り	100	213	2.13
住宅以外に住む一般世帯	225	263	1.17

旧八坂村

住居の種類・ 住宅の所有の関係（6区分）	世帯数	世帯 人員	1世帯当たり 人員
一般世帯	307	723	2.36
住宅に住む一般世帯	302	716	2.37
主世帯	300	705	2.35
持ち家	229	517	2.26
公営・公団・公社の借家	51	144	2.82
民営の借家	17	41	2.41
給与住宅	3	3	1.00
間借り	2	11	5.50
住宅以外に住む一般世帯	5	7	1.40

旧美麻村

住居の種類・ 住宅の所有の関係（6区分）	世帯数	世帯 人員	1世帯当たり 人員
一般世帯	354	846	2.39
住宅に住む一般世帯	352	840	2.39
主世帯	351	839	2.39
持ち家	286	666	2.33
公営・公団・公社の借家	50	139	2.78
民営の借家	15	34	2.27
給与住宅	-	-	-
間借り	1	1	1.00
住宅以外に住む一般世帯	2	6	3.00

資料：国勢調査

常住人口・流入流出人口及び昼間人口（通勤・通学ほか 15歳以上）

大町市

各年10月1日現在

年	(a)常住人口	(b) 流入		(c) 流出		昼間人口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住人口 当たり 昼間人口
		従業	通学	従業	通学			
平成7年	31,020	3,281	594	3,464	680	30,751	△ 269	99.1
12	31,011	3,465	411	3,719	592	30,576	△ 435	98.6
17	29,795	3,630	440	3,661	562	29,642	△ 153	99.5
22	29,801	3,677	425	3,545	574	29,784	△ 17	99.9
27	28,041	3,788	343	3,477	649	28,046	5	100.

旧八坂村

各年10月1日現在

年	(a)常住人口	(b) 流入		(c) 流出		昼間人口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住人口 当たり 昼間人口
		従業	通学	従業	通学			
平成7年	1,315	119	—	270	43	1,121	△ 194	85.2
12	1,257	182	—	242	45	1,152	△ 105	91.6
17	1,112	176	—	215	47	1,026	△ 86	92.3

旧美麻村

各年10月1日現在

年	(a)常住人口	(b) 流入		(c) 流出		昼間人口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住人口 当たり 昼間人口
		従業	通学	従業	通学			
平成7年	1,320	97	—	303	46	1,068	△ 252	80.9
12	1,282	109	1	294	60	1,037	△ 244	80.9
17	1,235	99	—	299	34	1,001	△ 234	81.1

資料：国勢調査

# 通勤者市町村別内訳(15歳以上)

各年10月1日現在

大町市	年	総数	松本市	池田町	松川村	八坂村	美麻村	白馬村	小谷村	安曇野市	その他市町村	県外
大町市への通勤者数(流入)	60	3,001	180	509	617	193	248	228	80	583	294	69
	2	2,940	202	473	596	163	209	236	81	624	304	52
	7	3,281	214	533	717	133	188	236	72	771	317	100
	12	3,465	248	560	742	102	173	306	72	824	336	102
	17	3,630	278	530	771	93	152	392	66	1006	282	60
	22	3,677	320	579	894	—	—	409	73	1047	301	54
	27	3,788	325	635	905	—	—	404	48	1101	287	83
大町市からの通勤者数(流出)	60	2,543	769	403	201	36	40	193	31	708	127	35
	2	3,276	850	452	287	24	29	341	48	1049	158	38
	7	3,464	776	468	286	49	42	404	60	1087	206	86
	12	3,719	776	504	317	98	45	347	64	1229	273	66
	17	3,661	767	471	381	95	36	299	48	1199	298	67
	22	3,545	716	499	359	—	—	344	53	1178	313	83
	27	3,477	675	491	405	—	—	368	55	1081	315	87

各年10月1日現在

旧八坂村	年	総数	松本市	大町市	池田町	松川村	美麻村	白馬村	小谷村	生坂村	安曇野市	その他市町村	県外
旧八坂村への通勤者数(流入)	60	76	…	36	…	…	…	…	…	…	…	39	1
	2	75	1	24	7	6	2	2	—	—	5	27	1
	7	119	…	49	10	…	…	…	…	11	…	48	1
	12	182	…	98	18	17	…	…	…	10	…	39	—
	17	176	…	95	16	17	…	…	…	…	21	26	1
旧八坂村からの通勤者数(流出)	60	346	51	193	18	…	…	…	…	13	…	71	—
	2	308	43	163	20	12	—	2	1	8	26	33	—
	7	270	48	133	18	…	…	…	…	…	…	71	—
	12	242	39	102	19	…	…	…	…	…	…	80	2
	17	215	33	93	25	…	…	…	…	…	29	35	—

各年10月1日現在

旧美麻村	年	総数	松本市	大町市	池田町	松川村	八坂村	白馬村	小谷村	小川村	安曇野市	その他市町村	県外
旧美麻村への通勤者数(流入)	60	67	…	40	…	…	…	…	…	…	…	26	1
	2	62	—	29	7	5	—	7	2	4	5	3	—
	7	97	…	42	…	…	…	…	…	12	—	34	9
	12	109	…	45	…	10	…	22	…	…	…	31	1
	17	99	…	36	…	…	…	19	…	…	…	43	1
旧美麻村からの通勤者数(流出)	60	354	7	248	8	…	…	43	…	16	…	32	…
	2	321	5	209	11	7	2	45	—	13	12	16	1
	7	303	11	188	10	…	…	53	…	11	…	27	3
	12	294	11	173	14	10	…	39	…	…	…	47	…
	17	299	19	152	16	…	…	57	…	…	15	37	3

資料：国勢調査

# 通学者市町村別内訳 (15歳以上)

各年10月1日現在

大町市	年	総 数	松本市	池田町	松川村	八坂村	美麻村	白馬村	小谷村	安曇野市	その他市町村	県 外
大町市への通学者数 (流入)	60	663	1	135	117	30	37	90	44	185	22	2
	2	701	4	137	147	17	28	98	34	234	2	—
	7	594	5	109	109	11	29	110	33	179	9	—
	12	411	2	53	79	10	27	95	37	103	3	2
	17	440	3	56	76	15	15	110	33	127	5	—
	22	425	3	85	79	—	—	75	22	156	5	—
	27	343	8	43	69	—	—	57	34	129	3	—
大町市からの通学者数 (流出)	60	457	224	106	—	—	—	31	—	85	11	—
	2	541	193	177	—	—	—	12	—	144	15	—
	7	680	292	133	—	—	—	59	—	145	38	13
	12	592	270	95	1	—	—	29	—	141	49	7
	17	562	244	67	1	—	—	20	—	141	60	29
	22	574	252	66	2	—	—	45	—	141	41	27
	27	649	312	88	—	—	—	43	—	112	46	48

各年10月1日現在

旧八坂村	年	総 数	長野市	松本市	大町市	池田町	信州新町	安曇野市	その他市町村	県 外
旧八坂村からの通学者数 (流出)	60	77	3	10	30	12	18	…	4	—
	2	37	1	9	17	2	8	—	—	—
	7	43	8	13	11	4	5	2	—	—
	12	45	6	12	10	5	4	…	7	1
	17	47	8	12	15	4	1	4	3	—

各年10月1日現在

旧美麻村	年	総 数	長野市	松本市	大町市	池田町	白馬村	安曇野市	その他市町村	県 外
旧美麻村への通学者数 (流入)	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	1	…	…	…	…	…	…	1	—
	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
旧美麻村からの通学者数 (流出)	60	61	2	6	37	11	1	…	4	—
	2	46	1	1	28	4	9	1	2	—
	7	46	…	4	29	7	1	…	4	1
	12	60	4	17	27	3	9	—	—	—
	17	34	2	9	15	2	3	2	1	—

資料：国勢調査

注) 旧八坂村の通学者 (流入) については該当なし。



## 議会の開催状況

各年12月31日現在

年次	招集回数		本会議 日数	提出議案 件	議案内容			請願陳情件数 件
	定例会 回	臨時会 回			市長提出 件	議員提出 件	専決処分 報告 件	
平成 28 年	4	1	20	118	95	12	11	36
29	4	1	22	100	78	9	13	40
30	4	2	23	110	92	4	14	40
令和 元年	4	3	29	134	122	1	11	22
2	4	3	26	122	96	11	15	18

資料：議会事務局

## 市議会委員会の状況

各年12月31日現在

年次	常任委員会										議会運営委員会		全員協議会
	総務文教委員会		社会厚生委員会		産業建設委員会		総務産業委員会		社会文教委員会		委員数	開催日数	開催日数
	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数			
平成 28 年	-	-	-	-	-	-	8	9	8	9	7	13	13
29	-	-	-	-	-	-	8	7	8	7	7	12	9
30	-	-	-	-	-	-	8	6	8	6	7	16	14
令和 元年	-	-	-	-	-	-	8	13	8	9	7	12	11
2	-	-	-	-	-	-	8	22	8	18	7	18	10

資料：議会事務局

※H27.5月より2常任委員会となった

# 市議会会派別議員数

令和2年12月31日現在

結成期間	定数	会 派 別						
		政友クラブ	新世クラブ	市民クラブ	日本共産党	無会派		
自H11. 12. 10 至H13. 5. 30	22	9	5	4	2	2		
自H13. 5. 31 至H14. 9. 23	22	9	4	2	2	5		
自H14. 9. 24 至H15. 4. 29	22	9	4	3	2	2	無会派 2	
自H15. 5. 13 至H15. 6. 1	22	9	4	2	2	2	無会派 3	
自H15. 6. 2 至H15. 12. 16	22	7	4	2	2	2	無会派 5	
自H15. 12. 17 至H16. 11. 28	22	7	4	3	2	2	無会派 4	
自H16. 11. 29 至H18. 2. 5	21	7	4	3	2	2	無会派 3	
自H18. 2. 6 至H18. 7. 18	23	9	4	3	2	2	無会派 3	
自H18. 7. 19 至H19. 2. 18	24	9	4	3	2	2	日本共産党 2	無会派 2
自H19. 2. 19 至H19. 4. 29	23	9	4	3	2	2	日本共産党 2	無会派 1
自H19. 5. 9 至H19. 10. 30	20	7	6	2	2	2	無会派 1	
自H19. 10. 31 至H19. 12. 20	19	6	6	2	2	2	無会派 1	
自H19. 12. 21 至H22. 7. 12	19	6	5	2	2	2	無会派 2	
自H22. 7. 13 至H23. 4. 29	20	7	5	2	2	2	無会派 2	
自H23. 5. 11 至H26. 11. 9	18	7	3	3	2	2	無会派 1	
自H26. 11. 10 至H27. 4. 29	18	7	3	2	2	2	無会派 2	
自H27. 5. 11 至H27. 12. 4	16	6	2	2	2	2	無会派 2	
自H27. 12. 4 至H29. 4. 27	16	5	2	2	2	2	無会派 3	
自H29. 4. 27 至H29. 5. 9	16	5	2	2	2	5		
自H29. 5. 9 至H31. 4. 29	16	6	2	2	2	4		
自R元. 5. 14 至	16	6	2	2	2	2	無会派 2	

資料：議会事務局

注) 合併前は旧大町市の数値である。

# 年齢別議員数

各年5月1日現在

年 次	年 齢 別								
	25～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
平成 28 年	—	—	2	1	1	2	1	8	1
29	—	—	1	2	1	—	2	6	4
30	1	—	2	2	1	—	2	6	4
令和 元 年	1	—	2	2	1	—	2	3	5
2	—	1	1	3	1	—	2	2	6

資料：議会事務局

注) 合併前は旧大町市の数値である。

# 選挙の執行状況

選挙名	執行年月日	当日の有権者			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
大町市長選挙	61. 6. 29 (無投票)	23,881	11,295	12,586	—	—	—	—	—	—
参議院議員通常選挙	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,242	9,106	10,136	80.73	80.83	80.64
衆議院議員総選挙	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,243	9,107	10,136	80.73	80.84	80.64
最高裁判所裁判官国民審査	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,191	9,071	10,120	80.52	80.52	80.51
長野県議会議員一般選挙	62. 4. 12	23,575	11,143	12,432	16,288	7,641	8,647	69.09	68.57	69.55
大町市議会議員一般選挙	62. 4. 26	23,580	11,147	12,433	21,706	10,158	11,548	92.05	91.13	92.88
長野県知事選挙	63.10.16	23,751	11,266	12,485	13,926	6,491	7,435	58.63	57.62	59.55
参議院議員通常選挙	元. 7. 23	23,962	11,378	12,584	17,162	8,237	8,925	71.62	72.39	70.92
衆議院議員総選挙	2. 2. 18	23,987	11,392	12,595	19,514	9,229	10,285	81.35	81.01	81.66
最高裁判所裁判官国民審査	2. 2. 18	23,987	11,392	12,595	19,351	9,137	10,214	80.67	80.21	81.10
大町市長選挙	2. 7. 1	23,650	11,212	12,438	20,943	9,740	11,200	88.55	86.87	90.07
長野県議会議員一般選挙	3. 4. 7 (無投票)	24,104	11,461	12,643	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員一般選挙	3. 4. 21	23,761	11,298	12,463	20,648	9,656	10,992	86.90	85.47	88.20
参議院議員通常選挙	4. 7. 26	24,205	11,534	12,671	14,026	6,809	7,217	57.95	59.03	56.96
長野県知事選挙	4.10.18	24,010	11,443	12,567	12,648	5,994	6,654	52.68	52.38	52.95
衆議院議員総選挙	5. 7. 18	24,345	11,629	12,716	18,197	8,723	9,474	74.75	75.01	74.50
最高裁判所裁判官国民審査	5. 7. 18	24,345	11,629	12,716	17,639	8,443	9,196	72.45	72.60	72.32
大町市長選挙	6. 6. 26 (無投票)	24,225	11,543	12,682	—	—	—	—	—	—
長野県議会議員一般選挙	7. 4. 9	24,384	11,669	12,715	19,052	8,911	10,141	78.13	76.36	79.76
大町市議会議員一般選挙	7. 4. 23	24,349	11,660	12,689	20,159	9,419	10,740	82.79	80.78	84.64
参議院議員通常選挙	7. 7. 23	24,741	11,855	12,886	12,877	6,375	6,502	52.05	53.77	50.46
長野県知事選挙	8.10.20	24,638	11,828	12,810	16,214	7,861	8,353	65.81	66.46	65.21
衆議院小選挙区選出議員選挙	8.10.20	24,811	11,917	12,894	16,212	7,856	8,356	65.34	65.92	64.81
衆議院比例代表選出議員選挙	8.10.20	24,811	11,917	12,894	16,204	7,857	8,347	65.31	65.93	64.74
最高裁判所裁判官国民審査	8.10.20	24,811	11,917	12,894	15,686	7,590	8,096	63.22	63.69	62.79
大町市長選挙	10. 6. 28 (無投票)	24,988	12,006	12,982	—	—	—	—	—	—
参議院議員通常選挙	10. 7. 12	24,933	11,976	12,957	15,631	7,620	8,011	62.69	63.63	61.83
長野県議会議員一般選挙	11. 4. 11 (無投票)	25,130	12,092	13,038	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員一般選挙	11. 4. 25	24,715	11,889	12,826	20,227	9,535	10,692	81.84	80.20	83.36
参議院長野県選出議員補欠選挙	11.10.17	25,109	12,076	13,033	11,896	5,867	6,029	47.38	48.58	46.26
衆議院小選挙区選出議員選挙	12. 6. 25	25,041	12,035	13,006	16,812	8,201	8,611	67.14	68.14	66.21
衆議院比例代表選出議員選挙	12. 6. 25	25,053	12,043	13,010	16,808	8,200	8,608	67.09	68.09	66.16
最高裁判所裁判官国民審査	12. 6. 25	25,041	12,035	13,006	16,447	8,011	8,436	65.68	66.56	64.86
長野県知事選挙	12.10.15	24,843	11,925	12,918	17,562	8,366	9,196	70.69	70.16	71.19
参議院長野県選出議員選挙	13. 7. 29	24,977	12,011	12,966	15,222	7,509	7,713	60.94	62.52	59.49
参議院比例代表選出議員選挙	13. 7. 29	24,988	12,017	12,971	15,224	7,510	7,714	60.93	62.49	59.47
大町市長選挙	14. 6. 30	24,565	11,795	12,770	18,899	8,968	9,931	76.93	76.03	77.77
長野県知事選挙	14. 9. 1	24,741	11,891	12,850	18,539	8,869	9,670	74.93	74.59	75.25
長野県議会議員一般選挙	15. 4. 13	24,481	11,747	12,734	16,678	7,989	8,689	68.13	68.01	68.23
大町市議会議員一般選挙	15. 4. 27	24,437	11,728	12,709	8,911	9,956	18,867	77.21	75.98	78.34
衆議院小選挙区選出議員選挙	15.11. 9	24,720	11,870	12,850	16,481	8,082	8,399	66.67	68.09	65.36
衆議院比例代表選出議員選挙	15.11. 9	24,728	11,876	12,852	16,477	8,078	8,399	66.63	68.02	65.35
最高裁判所裁判官国民審査	15.11. 9	24,720	11,870	12,850	15,916	7,774	8,142	64.39	65.49	63.36

選挙名	執行年月日	当日の有権者			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
参議院長野県選出議員選挙	16. 7. 11	24,660	11,847	12,813	14,838	7,309	7,529	60.17	61.69	58.76
参議院比例代表選出議員選挙	16. 7. 11	24,669	11,854	12,815	14,840	7,310	7,530	60.16	61.67	58.76
衆議院小選挙区選出議員選挙	17. 9. 11	24,359	11,697	12,662	16,684	8,142	8,542	68.49	69.61	67.46
衆議院比例代表選出議員選挙	17. 9. 11	24,369	11,704	12,665	16,685	8,143	8,542	68.47	69.57	67.45
最高裁判所裁判官国民審査	17. 9. 11	24,359	11,697	12,662	15,965	7,776	8,189	65.54	66.48	64.67
大町市議会議員増員選挙八坂選挙区	18. 1. 29	872	416	456	711	341	370	81.54	81.97	81.14
大町市議会議員増員選挙美麻選挙区	18. 1. 29	945	446	499	768	361	407	81.27	80.94	81.56
大町市長選挙	18. 7. 2	26,142	12,547	13,595	—	—	—	—	—	—
	(無投票)									
大町市議会議員補欠選挙 (旧大町市の区域)	18. 7. 2	24,333	11,681	12,652	—	—	—	—	—	—
	(無投票)									
長野県知事選挙	18. 8. 6	25,839	12,387	13,452	18,134	8,744	9,390	70.18	70.59	69.80
長野県議会議員一般選挙	19. 4. 8	25,494	12,215	13,279	16,399	7,880	8,519	64.32	64.51	64.15
大町市議会議員一般選挙	19. 4. 22	23,689	11,352	12,337	16,734	7,924	8,810	70.64	69.80	71.41
参議院長野県選出議員選挙	19. 7. 29	25,743	12,350	13,393	16,248	7,992	8,256	63.12	64.71	61.64
参議院比例代表選出議員選挙	19. 7. 29	25,743	12,350	13,393	16,246	7,991	8,255	63.11	64.70	61.64
衆議院小選挙区選出議員選挙	21. 8. 30	25,282	12,123	13,159	18,853	9,208	9,645	74.57	75.95	73.30
衆議院比例代表選出議員選挙	21. 8. 30	25,282	12,123	13,159	18,850	9,206	9,644	74.56	75.94	73.29
最高裁判所裁判官国民審査	21. 8. 30	25,268	12,115	13,153	17,998	8,776	9,222	71.23	72.44	70.11
大町市長選挙	22. 6. 27	24,792	11,872	12,920	16,738	7,968	8,770	67.51	67.12	67.88
大町市議会議員補欠選挙 (旧大町市の区域)	22. 6. 27	23,539	11,299	12,240	—	—	—	—	—	—
	(無投票)									
参議院長野県選出選挙	22. 7. 11	25,072	12,099	13,063	15,827	7,793	8,034	63.13	64.89	61.50
参議院比例代表選出議員選挙	22. 7. 11	25,072	12,009	13,063	15,828	7,794	8,034	63.13	64.90	61.50
長野県知事選挙	22. 8. 8	24,868	11,925	12,943	15,785	7,674	8,111	63.48	64.35	62.67
長野県議会議員一般選挙	23. 4. 10	25,027	11,996	13,031	—	—	—	—	—	—
	(無投票)									
大町市議会議員一般選挙	23. 4. 24	24,661	11,813	12,848	16,844	7,986	8,858	68.30	67.60	68.94
衆議院小選挙区選出議員選挙	24. 12. 16	24,598	11,812	12,786	15,580	7,730	7,850	63.34	65.44	61.40
衆議院比例代表選出議員選挙	24. 12. 16	24,598	11,812	12,786	15,580	7,729	7,851	63.34	65.43	61.40
最高裁判所裁判官国民審査	24. 12. 16	24,580	11,802	12,778	14,940	7,411	7,529	60.78	62.79	58.92
参議院長野県選出議員選挙	25. 7. 21	24,439	11,722	12,717	14,175	7,035	7,140	58.00	60.02	56.15
参議院比例代表選出議員選挙	25. 7. 21	24,439	11,722	12,717	14,175	7,035	7,140	58.00	60.02	56.15
大町市長選挙	26. 6. 29	24,375	11,718	12,657	—	—	—	—	—	—
	(無投票)									
長野県知事選挙	26. 8. 10	24,141	11,609	12,532	10,920	5,346	5,574	45.23	46.05	44.48
衆議院小選挙区選出議員選挙	26. 12. 14	24,238	11,657	12,581	12,766	6,399	6,367	52.67	54.89	50.61
衆議院比例代表選出議員選挙	26. 12. 14	24,238	11,657	12,581	12,769	6,400	6,369	52.68	54.90	50.62
最高裁判所裁判官国民審査	26. 12. 14	24,217	11,647	12,570	12,252	6,114	6,138	50.59	52.49	48.83
長野県議会議員一般選挙	27. 4. 12	23,852	11,473	12,379	10,962	5,450	5,512	45.96	47.50	44.53
大町市議会議員一般選挙	27. 4. 26	23,836	11,455	12,381	14,533	6,947	7,586	60.97	60.65	61.27
参議院長野県選出議員選挙	28. 7. 10	24,486	11,863	12,623	15,139	7,530	7,609	61.83	63.47	60.28
参議院比例代表選出議員選挙	28. 7. 10	24,486	11,863	12,623	15,137	7,531	7,606	61.82	63.48	60.26
衆議院小選挙区選出議員選挙	29. 10. 22	24,074	11,714	12,360	14,180	7,108	7,072	58.90	60.68	57.22

選挙名	執行年月日	当日の有権者			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
衆議院比例代表選出議員選挙	29.10.22	24,074	11,714	12,360	14,179	7,107	7,072	58.90	60.67	57.22
最高裁判所裁判官国民審査	29.10.22	24,058	11,707	12,351	14,000	7,015	6,985	58.19	59.92	56.55
大町市長選挙	30.7.1	23,596	11,476	12,120	13,999	6,755	7,244	59.33	58.86	59.77
長野県知事選挙	30.8.5	23,663	11,515	12,148	9,951	4,877	5,074	42.05	42.35	41.77
長野県議会議員一般選挙	31.4.7	23,348	11,326	12,022	10,552	5,251	5,301	45.19	46.36	44.09
大町市議会議員一般選挙	31.4.21	23,300	11,300	12,000	13,355	6,454	6,901	57.32	57.12	57.51
参議院長野県選出議員選挙	1.7.21	23,546	11,437	12,109	12,497	6,247	6,250	53.07	54.62	51.61
参議院比例代表選出議員選挙	1.7.21	23,546	11,437	12,109	12,495	6,246	6,249	53.07	54.61	51.61

資料:選挙管理委員会

注)合併前は旧大町市の数値である。

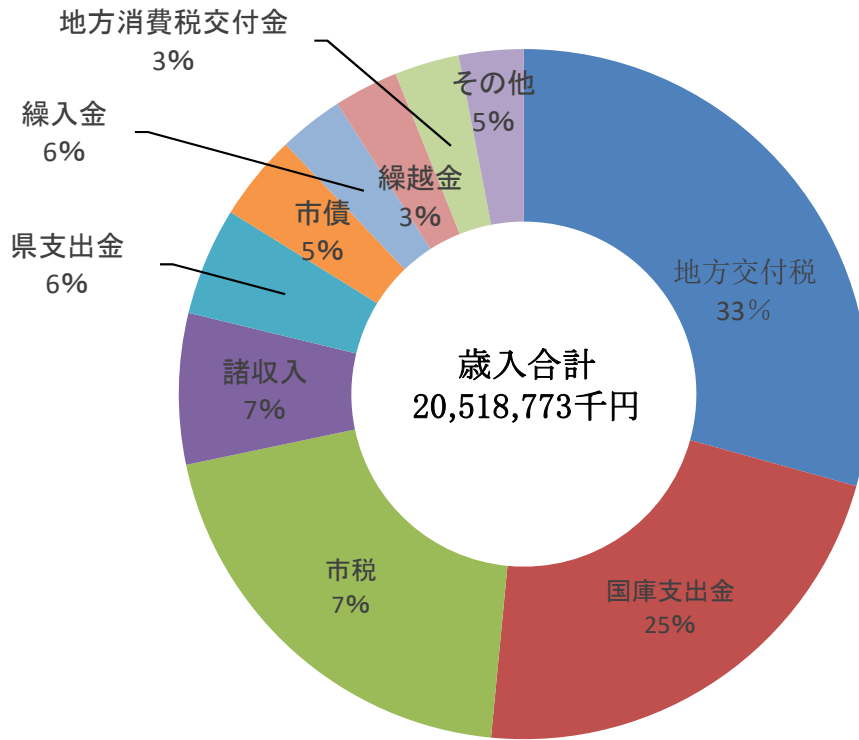
## 選挙人名簿登録者数等の推移

年次	選挙人名簿登録者数			人口100人に 対する有権者	在外選挙人名簿登録者数		
	総数	男	女		総数	男	女
平成 28 年	24,394	11,831	12,563	85.5	18	9	9
29	24,139	11,747	12,392	85.8	17	8	9
30	23,843	11,611	12,232	85.9	20	9	11
令和 元年	23,554	11,440	12,114	86.1	19	9	10
2	23,249	11,287	11,962	86.4	16	8	8

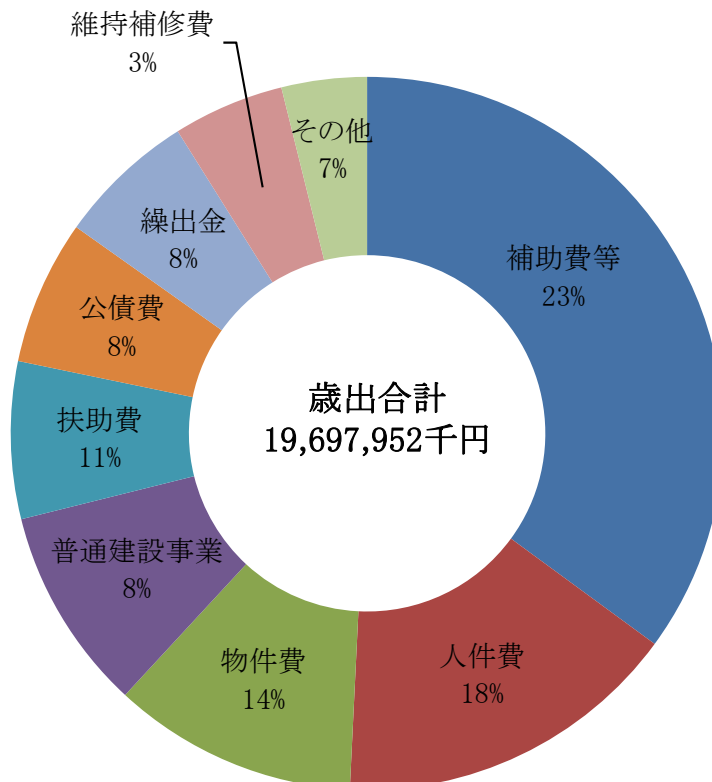
資料:選挙管理委員会

- 注) 1. 合併前は旧大町市の数値である。  
 2. 選挙人名簿登録者は9月1日現在で9月2日に確定した数値(H29年から9月1日現在で、確定数字)  
 3. 人口対比率は有権者総数を各年の10月1日現在の住民基本台帳による総人口で除した。

### 令和2年度一般会計歳入決算構成比



### 令和2年度一般会計性質別歳出決算構成比



# 会計別決算の状況

年 度	一般会計・特別会計歳入					企業会計歳入（収益の収入）				
	一般会計	国民健康 保 険	後期高齢者 医 療	公 営 簡易水道	温泉宿泊 施 設	水道事業	温泉引湯 事 業	公共下水道 事 業	農業集落 排水事業	病院事業
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成28年度	18,300,365	3,962,629	347,849	246,221	—	570,687	70,673	1,221,237	115,727	4,477,052
29	19,474,749	3,870,628	364,349	234,991	—	569,471	69,749	1,074,710	113,495	4,426,435
30	17,241,552	3,261,938	386,082	242,719	—	574,716	69,196	1,086,900	107,924	4,921,520
令和元年度	17,672,067	3,120,175	390,862	201,745	—	565,351	70,942	1,125,439	111,980	5,003,271
2	20,518,774	3,034,681	396,808	196,930	—	567,387	68,578	1,404,229	146,880	5,208,108

年 度	一般会計・特別会計歳出					企業会計歳出（収益の支出）				
	一般会計	国民健康 保 険	後期高齢者 医 療	公 営 簡易水道	温泉宿泊 施 設	水道事業	温泉引湯 事 業	公共下水道 事 業	農業集落 排水事業	病院事業
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成28年度	17,546,951	3,820,068	346,622	221,929	—	452,121	59,846	1,103,822	93,208	4,918,652
29	18,954,619	3,649,146	356,363	196,763	—	459,506	48,707	1,042,294	95,158	4,946,551
30	16,441,501	3,226,797	377,657	223,265	—	449,926	54,576	985,553	92,457	5,382,230
令和元年度	17,034,607	3,095,851	389,407	189,660	—	449,840	51,493	1,014,358	92,152	4,661,013
2	19,738,458	3,004,682	396,004	185,285	—	443,589	56,447	1,068,025	93,578	4,647,908

資料：企画財政課

# 市税の収入状況

税目	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
	千円	千円	%	千円	千円	%	千円	千円	%
総額	4,481,281	4,173,507	93.1	4,532,788	4,280,940	94.4	4,436,917	4,269,692	96.2
(1) 普通税	4,329,575	4,031,920	93.1	4,381,370	4,138,270	94.5	4,290,886	4,129,257	96.2
市市民税	1,519,478	1,456,644	95.9	1,548,073	1,497,326	96.7	1,581,718	1,543,635	97.6
固定資産税	2,526,241	2,294,762	90.8	2,557,572	2,368,074	92.6	2,435,898	2,314,709	95.0
軽自動車税	100,752	97,410	96.7	103,689	100,834	97.2	105,665	103,308	97.8
市たばこ税	183,104	183,104	100.0	172,036	172,036	100.0	167,605	167,605	100.0
特別土地保有税	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(2) 目的税	151,706	141,587	93.3	151,418	142,670	94.2	146,031	140,435	96.2
入湯税	47,689	47,111	98.8	46,384	45,358	97.8	47,346	46,763	98.8
都市計画税	104,017	94,476	90.8	105,034	97,312	92.6	98,685	93,672	94.9

税目	令和元年度			令和2年度		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
	千円	千円	%	千円	千円	%
総額	4,414,829	4,295,610	97.3	4,228,062	4,093,910	96.8
(1) 普通税	4,274,360	4,158,389	97.3	4,111,341	3,981,078	96.8
市市民税	1,581,172	1,549,005	98.0	1,466,721	1,431,685	97.6
固定資産税	2,416,113	2,334,490	96.6	2,367,446	2,274,402	96.1
軽自動車税	108,114	105,933	98.0	114,153	111,970	98.1
市たばこ税	168,961	168,961	100.0	163,021	163,021	100.0
特別土地保有税	—	—	—	—	—	—
(2) 目的税	140,469	137,221	97.7	116,721	112,832	96.7
入湯税	43,506	43,506	100.0	20,034	19,938	99.5
都市計画税	96,963	93,715	96.7	96,687	92,894	96.1

資料：税務課



## 歳入内容別決算状況（一般会計）

歳入項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
市 税	4,173,507	101.0	4,280,942	102.6	4,269,694	99.7	4,295,610	100.6	4,093,910	95.3
地 方 譲 与 税	181,879	98.9	181,901	100.0	183,597	100.9	193,708	105.5	204,772	105.7
利 子 割 交 付 金	3,003	63.7	5,058	168.4	5,832	115.3	2,697	46.2	2,562	95.0
配 当 割 交 付 金	9,232	70.3	12,057	130.6	9,915	82.2	11,881	119.8	11,288	95.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	5,333	39.6	13,043	244.6	8,323	63.8	6,838	82.2	13,010	190.3
法 人 事 業 税 交 付 金	-	-	-	-	-	-	-	-	31,093	皆増
地 方 消 費 税 交 付 金	536,411	89.2	548,586	102.3	572,259	104.3	542,071	94.7	657,676	121.3
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,768	102.7	1,735	98.1	1,565	90.2	1,495	95.5	1,431	95.7
環 境 性 能 割 交 付 金	-	-	-	-	-	-	-	-	12,474	皆増
自 動 車 取 得 税 交 付 金	32,638	94.9	46,745	143.2	43,604	93.3	31,962	73.3	-	皆減
地 方 特 例 交 付 金	8,731	100.2	8,955	102.6	11,473	128.1	71,646	624.5	23,222	32.4
地 方 交 付 税	6,334,360	95.6	5,900,402	93.1	5,751,605	97.5	5,758,150	100.1	5,981,632	103.9
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,248	94.7	3,958	93.2	3,664	92.6	3,345	91.3	3,415	102.1
分 担 金 及 び 負 担 金	58,850	95.7	63,484	107.9	58,790	92.6	61,008	103.8	55,010	90.2
使 用 料 及 び 手 数 料	386,498	99.7	392,376	101.5	361,118	92.0	310,372	85.9	271,139	87.4
国 庫 支 出 金	1,336,276	95.7	1,271,571	95.2	1,202,469	94.6	1,568,465	130.4	4,602,366	293.4
県 支 出 金	942,189	102.5	843,313	89.5	849,646	100.8	887,357	104.4	937,627	105.7
財 産 収 入	28,888	86.3	23,528	81.4	22,881	97.3	40,686	177.8	29,261	71.9
寄 付 金	73,089	77.3	755,528	1033.7	32,444	4.3	38,796	119.6	128,805	332.0
繰 入 金	713,148	135.5	456,984	64.1	1,026,195	224.6	491,140	47.9	632,135	128.7
繰 越 金	665,224	78.0	753,414	113.3	520,130	69.0	800,051	153.8	637,460	79.7
諸 収 入	1,046,095	96.8	1,155,878	110.5	1,078,100	93.3	1,259,272	116.8	1,385,131	110.0
市 債	1,758,998	162.8	2,755,291	156.6	1,228,248	44.6	1,295,517	105.5	803,355	62.0
歳 入 合 計	18,300,365	101.3	19,474,749	106.4	17,241,552	88.5	17,672,067	102.5	20,518,774	116.1

資料：企画財政課

## 歳出内容別決算状況（一般会計）

歳出項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
人 件 費	2,907,717	107.5	2,818,693	96.9	2,983,989	105.9	2,797,541	93.8	3,101,788	110.9
扶 助 費	1,966,539	100.9	1,745,194	88.7	1,829,044	104.8	1,907,200	104.3	1,826,218	95.8
公 債 費	1,672,250	95.6	1,430,721	85.6	1,339,607	93.6	1,350,689	100.8	1,406,352	104.1
普 通 建 設 事 業 費	2,303,097	145.4	1,671,260	72.6	1,235,315	73.9	2,325,766	188.3	1,238,292	53.2
災 害 復 旧 事 業 費	35,432	44.2	39,983	112.8	91,923	229.9	48,709	53.0	53,991	110.8
物 件 費	2,517,233	97.5	2,489,278	98.9	2,305,084	92.6	2,498,744	108.4	2,192,112	87.7
補 助 費 等	3,672,337	110.4	5,587,515	152.2	3,846,113	68.8	3,516,689	91.4	6,919,500	196.8
維 持 補 修 費	596,321	133.6	557,254	93.4	471,490	84.6	383,675	81.4	521,533	135.9
積 立 金	75,240	9.2	808,833	1075.0	557,719	69.0	258,865	46.4	187,986	72.6
出 資 金 貸 付 金	508,029	61.0	506,438	99.7	505,910	99.9	666,485	131.7	995,715	149.4
繰 出 金	1,292,756	97.9	1,299,450	100.5	1,275,307	98.1	1,280,244	100.4	1,294,971	101.2
歳 出 計	17,546,951	100.9	18,954,619	108.0	16,441,501	86.7	17,034,607	103.6	19,738,458	115.9
歳 入 歳 出 差 引 額	753,414	113.3	520,130	69.0	800,051	153.8	637,460	79.7	780,316	122.41

資料：企画財政課

# 目的別市債の状況

令和3年3月31日現在 住民基本台帳 人口 26,630人 11,887世帯

区 分	令和元年度末 現在高 (A)	令和2年度中 借入額 (B)	令和2年度中 元金償還額 (C)	令和2年度末 現在高 (A)+(B)-(C) (D)	(D)に対する	
					1人当たり 現在高	1世帯当たり 現在高
(一般会計分)	千円	千円	千円	千円	円	円
1 普 通 債	2,444,782	239,146	245,077	2,438,851	91,583	205,170
(1) 総 務 債	144,667	54,846	23,233	176,280	6,620	14,830
(2) 民 生 債	31,059	0	26,122	4,937	185	415
(3) 衛 生 債	32,762	0	3,450	29,312	1,101	2,466
(4) 農 林 債	48,482	0	23,692	24,790	931	2,085
(5) 土 木 債	323,684	38,700	26,769	335,615	12,603	28,234
(6) 消 防 債	11,172	0	3,724	7,448	280	627
(7) 教 育 債	1,239,668	40,800	57,759	1,222,709	45,914	102,861
(8) 過 疎 対 策 事 業 債	447,146	104,800	47,399	504,547	18,947	42,446
(9) 緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	90,028	0	25,397	64,631	2,427	5,437
(10) 全 国 防 災 事 業 債	76,114	0	7,532	68,582	2,575	5,769
2 災 害 復 旧 事 業 債	56,198	3,100	7,625	51,673	1,940	4,347
3 そ の 他	12,757,576	561,109	1,090,221	12,228,464	459,199	1,028,726
(1) 減 税 補 て ん 債	70,195	0	18,964	51,231	1,924	4,310
(2) 臨 時 財 政 対 策 債	7,260,954	402,609	568,956	7,094,607	266,414	596,837
(3) 合 併 特 例 事 業 債	5,426,427	158,500	502,301	5,082,626	190,861	427,579
計	15,258,556	803,355	1,342,923	14,718,988	552,722	1,238,243
(特別会計、企業会計分)	千円	千円	千円	千円	円	円
水 道 事 業	1,224,848	0	149,595	1,075,253	40,377	90,456
温 泉 引 湯 事 業	0	0	0	0	0	0
病 院 事 業	2,888,207	108,000	519,751	2,476,456	92,995	208,333
公 共 下 水 道	8,382,495	212,500	662,240	7,932,755	297,888	667,347
農 業 集 落 排 水	445,390	22,500	66,886	401,004	15,058	33,735
公 営 簡 易 水 道	508,712	26,400	51,974	483,138	18,143	40,644
計	13,449,652	369,400	1,450,446	12,368,606	464,461	1,040,515
合 計	28,708,208	1,172,755	2,793,369	27,087,594	1,017,183	2,278,758

資料: 企画財政課

## 市税市民負担額の推移

年 度	人 口	世 帯	調 定 額 (現 年 度)	市 民 負 担 額	
				1 人 当 たり	1 世 帯 当 たり
平成28年度	28,517	11,844	4,158,427	145,823	351,100
29	28,124	11,871	4,232,687	150,500	356,556
30	27,741	11,910	4,249,574	153,187	356,807
令和元年度	27,356	11,893	4,298,922	157,147	361,466
2	26,899	11,899	4,143,665	154,045	348,236

資料：税務課 注) 1. 人口、世帯は各年10月1日現在。

## 地方交付税の状況（普通交付税）

年 度	基準財政 需要額	基準財政 収入額	交付基準額	交付額	財政力指数
	千円	千円	千円	千円	
平成28年度	9,150,392	3,753,897	5,364,065	5,356,564	0.42
29	8,724,681	3,767,220	4,957,461	4,950,578	0.43
30	8,588,864	3,797,758	4,791,106	4,791,106	0.44
令和元年度	8,672,017	3,835,856	4,836,161	4,828,524	0.44
2	8,925,775	3,975,771	4,950,004	4,945,444	0.45

資料：企画財政課 注) 錯誤措置額を含む。

## 市 有 財 産

9月30日現在

年 次 区 分	令和2年	
	土 地	建 物
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
行 政 財 産	5,742,225	236,272
本 庁 舎	24,157	10,759
消 防 施 設	2,875	1,355
その他の行政施設	8,645	2,989
学 校	298,482	67,194
公 営 住 宅	153,836	30,992
公 園	363,699	616
その他の公共施設	4,890,531	122,367
普 通 財 産	8,574,107	5,290
宅 地 ・ 貸 家	82,524	2,398
墓 地	45,765	—
山 林	7,360,000	—
そ の 他	1,085,818	2,892

資料：企画財政課

# 5. 農 林 業

## 専業・兼業別農家数と農家人口

各年2月1日現在

年 次	区 分	総 数	大 町	平	常 盤	社	八坂	美麻
平成12年	総 数	2,579 戸	483	581	772	308	223	212
	自給的農家	676 戸	191	108	110	55	132	80
	販売農家	1,903 戸	292	473	662	253	91	132
	専業農家	214 戸	22	44	81	25	17	25
	兼業農家主	130 戸	24	25	62	12	3	4
	兼業主	1,559 戸	246	404	519	216	71	103
	農 家 人 口	10,464 人	1,979	2,443	3,317	1,228	791	706
平成17年	総 数	2,310 戸	437	534	700	288	187	164
	自給的農家	720 戸	203	136	132	70	109	70
	販売農家	1,590 戸	234	398	568	218	78	94
	専業農家	233 戸	28	50	86	32	18	19
	兼業農家主	202 戸	36	40	87	23	6	10
	兼業主	1,155 戸	170	308	395	163	54	65
	農 家 人 口	8,662 人	1,623	2,058	2,788	1,065	607	521
平成22年	総 数	2,015 戸	376	455	641	247	149	147
	自給的農家	704 戸	176	151	168	67	74	68
	販売農家	1,311 戸	200	304	473	180	75	79
	専業農家	233 戸	32	46	87	33	20	15
	兼業農家主	129 戸	25	34	43	16	8	3
	兼業主	960 戸	143	224	343	131	54	65
	農 家 人 口	4,908 人	752	1,143	1,823	652	278	260
平成27年	総 数	1,760 戸	333	390	561	220	126	130
	自給的農家	672 戸	162	138	163	84	60	65
	販売農家	1,088 戸	171	252	398	136	66	65
	専業農家	292 戸	37	59	110	45	23	18
	兼業農家主	79 戸	17	22	36	—	2	2
	兼業主	717 戸	117	171	252	91	41	45
	農 家 人 口	3,774 人	621	860	1,427	461	214	191

資料：農林業センサス

注) ①自給的農家…経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。

②販売農家…経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家。

③平成12年、17年は総農家の世帯員数より農家人口を算出。

平成22年以降は販売農家だけの世帯員数より農家人口を算出。

## 販売農家における主副業別農家数

各年2月1日現在

年 次	区 分	総 数	大 町	平	常 盤	社	八坂	美麻
平成22年	販 売 農 家	1,311	200	304	473	180	75	79
	主業農家	129	25	25	60	12	6	1
	準主業農家	380	55	99	146	44	20	16
	副業的農家	802	120	180	267	124	49	62
平成27年	販 売 農 家	1,088	171	252	398	136	66	65
	主業農家	91	17	13	48	8	5	—
	準主業農家	231	47	60	85	18	11	10
	副業的農家	766	107	179	265	110	50	55

資料：農林業センサス

注) ①主業農家…農業所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

②準主業農家…農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

③副業的農家…65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家。

# 経営耕地面積の推移

(単位 ha) 各年2月1日現在

年次	大字別	経営耕地面積											
		総面積	田				畑				樹園地		
			面積	稲作田	稲以外	作付けしなかった	面積	普通畑	牧草専用	作付けしなかった	面積	果樹園	その他
平成12年	総数	2,280	2,005	1,433	364	208	211	187	0	22	65	63	2
	大町	309	266	195	45	26	17	15	0	2	25	25	0
	平	579	536	379	95	62	38	33	0	5	5	4	0
	常盤	956	872	622	164	86	54	49	-	5	30	29	1
	社	260	235	167	45	23	23	21	0	2	2	2	0
	八坂美麻	82 95	27 68	19 51	2 12	6 5	52 27	49 21	0 -	2 6	4 -	3 -	1 -
平成17年	総数	2,169	1,903	1,468	342	94	208	156	33	18	56	58	...
	大町	285	247	206	35	6	13	12	-	1	22	24	...
	平	568	501	373	96	32	64	26	33	5	4	4	...
	常盤	922	854	653	163	39	42	37	-	5	26	26	...
	社	239	217	165	38	14	20	17	-	3	2	2	...
	八坂美麻	80 75	29 55	26 45	3 7	1 2	49 20	46 18	0 -	2 2	2 0	2 0	...
平成22年	総数	2,297	2,010	1,493	456	61	222	156	36	30	66	66	...
	大町	299	257	192	59	6	18	11	-	7	24	24	...
	平	595	529	389	120	20	58	20	33	5	7	7	...
	常盤	1,012	920	666	234	20	62	50	3	9	31	31	...
	社	245	225	181	33	11	19	15	-	4	1	1	...
	八坂美麻	75 71	27 52	24 41	2 8	1 3	46 19	44 16	- -	2 3	3 0	3 0	...
平成27年	総数	2,251	1,967	1,526	379	62	223	187	5	31	61	61	...
	大町	303	260	201	51	8	16	14	0	2	26	26	...
	平	536	508	360	128	20	23	19	-	4	5	5	...
	常盤	1,000	917	740	150	28	55	47	5	4	28	28	...
	社	224	205	158	43	4	19	16	-	2	1	1	...
	八坂美麻	123 65	27 50	24 43	2 6	0 1	95 15	77 15	- -	18 1	1 0	1 0	...

資料：農林業センサス

- 注) 1. 経営耕地面積は四捨五入したため、個々の数値を合計しても必ずしも総数と一致しない。  
 2. 平成17・22・27年は総数、12年は販売農家のみ数値である。  
 3. 樹園地のその他について、平成17・22年は集計項目なし。

# 経営耕地規模別農家数

各年2月1日現在

年次	地区別	総農家数	販売農家 総数	販 売 農 家 数							3.0ha 以上
				0.3ha 未満	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~2.5	2.5~3.0	
平成12年	総数	2,579	1,903	2	395	642	397	209	115	53	90
	大町	483	292	-	100	102	32	21	12	7	18
	平	581	473	-	71	168	117	56	30	14	17
	常盤	772	662	-	86	183	158	99	62	27	47
	社	308	253	1	60	90	59	22	11	5	5
	八坂	223	91	1	35	36	12	4	-	-	3
	美麻	212	132	-	43	63	19	7	-	-	-
平成17年	総数	2,310	1,590	-	294	563	318	188	132		95
	大町	437	234	-	65	94	23	17	20		15
	平	534	398	-	52	153	88	52	34		19
	常盤	700	568	-	71	172	126	79	67		53
	社	288	218	-	54	71	54	22	9		8
	八坂	187	78	-	26	31	12	9	-		-
	美麻	164	94	-	26	42	15	9	2		-
平成22年	総数	2,015	1,311	-	243	450	257	152	119		109
	大町	376	200	-	52	74	27	15	18		17
	平	455	304	-	43	108	62	43	30		22
	常盤	641	473	-	52	150	98	66	58		59
	社	247	180	-	40	64	45	13	11		8
	八坂	149	75	-	34	19	12	7	1		2
	美麻	147	79	-	22	35	13	8	1		1
平成27年	総数	1,760	1,088	2	176	365	213	129	108		95
	大町	333	171	-	42	54	28	13	17		17
	平	390	252	-	32	86	54	40	24		16
	常盤	561	398	1	40	118	75	55	57		52
	社	220	136	-	25	51	33	14	7		6
	八坂	126	66	1	21	24	13	3	1		3
	美麻	130	65	-	16	32	10	4	2		1

資料：農林業センサス

# 販売農家における農家人口と就業世帯員数

各年2月1日現在

年次	地区別	15歳 以上の 農家 人口	農業に主として従事した世帯数	
			男	女
平成22年	総数	4,435	2,189	2,246
	大町	3,940	1,950	1,990
	八坂	248	123	125
	美麻	247	116	131
平成27年	総数	1,754	696	758
	大町	1,560	615	670
	八坂	102	46	46
	美麻	92	35	42

資料：農林業センサス

注) 数値は全て15歳以上の農家人口。

## 販売農家における年齢別農家人口

各年2月1日現在

年	総数	0～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	
平成22年	4,908 人	473	241	374	418	513	713	449	1,727	
平成27年	3,774 人	279	175	243	281	415	484	354	1,543	
増減	実数	△ 1,134 人	△ 194	△ 66	△ 131	△ 137	△ 98	△ 229	△ 95	△ 184
	比率	△ 23.1 %	△ 41.0	△ 27.4	△ 35.0	△ 32.8	△ 19.1	△ 32.1	△ 21.2	△ 10.7
構成比	平成22年	100.0 %	9.6	4.9	7.6	8.5	10.5	14.5	9.1	35.2
	平成27年	100.0 %	7.4	4.6	6.4	7.4	11.0	12.8	9.4	40.9

資料：農林業センサス

## 販売農家における家畜の頭羽数

各年2月1日現在

区分	乳用牛			肉用牛			豚			鶏		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
総数	180 頭	171 頭	150 頭	X 頭	— 頭	— 頭	525 頭	X 頭	X 頭	X 百羽	X 頭	X 頭
大町	—	—	—	—	—	—	—	—	X	—	—	—
平	—	—	—	—	—	—	X	—	—	—	—	X
常盤	X	X	150	X	—	—	X	—	X	X	X	X
社	X	X	—	—	—	—	X	X	X	—	—	—
八坂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美麻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：農林業センサス

## 販売農家農業用機械所有台数

各年2月1日現在

区分	平成22年	平成27年	増減数	増減率	普及率	
	台	台	台	%		%
動力耕耘機・農用トラクター	1,321	1,098	△ 223	△ 20.3	対・販売農家数	83.8
15馬力未満	…	…	—	—		—
15～30	…	…	—	—		—
30馬力以上	…	…	—	—		—
動力防除機	…	…	—	—	対・田のある農家数	—
乗用型スピードプレイヤー	…	…	—	—		—
動力田植機	1,005	767	△ 238	△ 31.0		59.9
バインダー	…	…	—	—		—
コンバイン	625	523	△ 102	△ 19.5		40.8
米麦用乾燥機	…	…	—	—		—

資料：農林業センサス

注) 販売農家数は1,088戸。田のある農家数は1,065戸。

# 農地の移動状況

(単位 : 件・a)

年 度	審 議 件 数						面 積					
	総 数	法第3条 (所有権)	法第3条 (貸借権等)	法第4条	法第5条	法第18条	総 数	法第3条 (所有権)	法第3条 (貸借権等)	法第4条	法第5条	法第18条
平成28年	201	31	—	9	50	111	6,530	480	—	57	670	5,323
29	164	33	—	8	50	73	3,634	570	—	36	681	2,347
30	195	38	—	4	56	97	4,754	400	—	21	978	3,355
令和元年	157	15	—	4	35	103	5,062	376	—	11	1,241	3,434
2	157	31	—	5	40	81	3,873	656	—	8	583	2,626

(単位 : 件・a)

年 度	審議件数		面積		
	促進法第4条 (所有権)	促進法第4条 (貸借権等)	促進法第4条 (所有権)	促進法第4条 (貸借権等)	国・県・市等の転用
平成28年	10	498	568	22,169	—
29	—	501	—	20,162	—
30	2	406	222	18,956	—
令和元年	7	359	267	16,092	—
2	8	345	299	13,441	—

資料 : 農業委員会

区分説明 ①法＝農地法

- 法第3条 (所有権) = 所有権の移転
- 法第3条 (貸借権等) = 賃貸借権、使用貸借件の設定
- 法第4条 = 所有者による農地以外の転用
- 法第5条 = 所有権の移転及び貸借権等の設定による農地以外の転用
- 法第18条 = 貸借の解約など

②促進法＝農業経営基盤強化促進法第4条

- 促進法第4条 (所有権) = 所有権の移転
- 促進法第4条 (貸借権等) = 賃貸借権、使用貸借権の設定

# 林野面積

平成27年2月1日現在 (単位 : ha)

計	国 有			民		公 有					私 有
	計	林野庁	林野庁 以外の 官 庁	計	独立行政 法人等	公 有					
						小 計	都道府県	森林整備法人 (林業・ 造林公社)	市区町村	財産区	
40,673	21,295	21,295	—	19,378	198	1,623	164	648	811	—	17,557

資料 : 農林業センサス



## 6. 事業所

### 事業所数・従業者数の推移

年次	平成16年 (簡易調査)	平成18年	平成21年 (基礎調査)	平成24年 (活動調査)	平成26年 (基礎調査)	平成28年 (活動調査)	令和元年 (基礎調査)
事業所数	1,887	1,877	1,751	1,626	1,751	1,597	1,631
従業者数	13,578	14,145	15,091	12,710	14,852	12,273	…

資料：事業所・企業統計調査（平成18年以前）、経済センサス（平成21年以降）

注）1. 平成11、16、24、28年は公務（国及び地方公共団体の事業所）を除く。

2. 「事業所・企業統計調査」は平成21年から「経済センサス」に統合された。

### 産業大分類別事業所数

産業大分類	平成24年 (活動調査)		平成26年 (基礎調査)		平成28年 (活動調査)	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
全産業	1,626	100.0	1,726	100.0	1,564	100.0
農林漁業	25	1.5	25	1.4	26	1.7
鉱業，採石業，砂利採取業	2	0.1	2	0.1	2	0.1
建設業	232	14.3	226	13.1	218	13.9
製造業	111	6.8	121	7.0	113	7.2
電気・ガス・熱供給・水道業	4	0.2	9	0.5	8	0.5
情報通信業	10	0.6	5	0.3	5	0.3
運輸業，郵便業	38	2.3	36	2.1	35	2.2
卸売業，小売業	352	21.6	346	20.0	328	21.0
金融業，保険業	18	1.1	18	1.0	18	1.2
不動産業，物品賃貸業	72	4.4	71	4.1	66	4.2
学術研究，専門・技術サービス業	49	3.0	53	3.1	45	2.9
宿泊業，飲食サービス業	288	17.7	290	16.8	265	16.9
生活関連サービス業，娯楽業	129	7.9	141	8.2	136	8.7
教育，学習支援業	53	3.3	85	4.9	57	3.6
医療，福祉	97	6.0	131	7.6	107	6.8
複合サービス業	18	1.1	19	1.1	16	1.0
サービス業(他に分類されないもの)	128	7.9	123	7.1	119	7.6
公務	-	-	25	1.4	-	-

資料：事業所・企業統計調査（平成18年）、経済センサス（平成21年以降）

注）1. 「事業所・企業統計調査」は平成21年から「経済センサス」に統合。

2. 平成19年に日本標準産業分類が改定。

3. 平成24、28年調査は公務を含まない。

# 産業大分類別従業者数

産業大分類	平成24年 (活動調査)		平成26年 (基礎調査)		平成28年 (活動調査)	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	従業者数	構成比
全産業	12,710	100.0	14,852	100.0	12,273	100.0
農林漁業	540	4.2	507	3.4	493	4.0
鉱業, 採石業, 砂利採取業	12	0.1	10	0.1	2	0.0
建設業	1,494	11.8	1,423	9.6	1,472	12.0
製造業	2,501	19.7	2,430	16.4	2,466	20.1
電気・ガス・熱供給・水道業	140	1.1	253	1.7	203	1.7
情報通信業	69	0.5	29	0.2	34	0.3
運輸業, 郵便業	890	7.0	526	3.5	567	4.6
卸売業, 小売業	2,027	15.9	2,246	15.1	2,243	18.3
金融業, 保険業	173	1.4	189	1.3	173	1.4
不動産業, 物品賃貸業	172	1.4	210	1.4	176	1.4
学術研究, 専門・技術サービス業	206	1.6	249	1.7	179	1.5
宿泊業, 飲食サービス業	1,631	12.8	1,800	12.1	1,659	13.5
生活関連サービス業, 娯楽業	577	4.5	625	4.2	605	4.9
教育, 学習支援業	313	2.5	674	4.5	220	1.8
医療, 福祉	1,026	8.1	2,183	14.7	1,079	8.8
複合サービス業	183	1.4	345	2.3	198	1.6
サービス業(他に分類されないもの)	756	5.9	576	3.9	504	4.1
公務	-	-	577	3.9	-	-

資料：事業所・企業統計調査（平成18年）、経済センサス（平成21年以降）

注）1. 「事業所・企業統計調査」は平成21年から「経済センサス」に統合。

2. 平成19年に日本標準産業分類が改定。

3. 平成24、28年調査は公務を含まない。

## 産業中分類別の製造品出荷額等の推移

産業分類	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
	工場数	出荷額等 万円	工場数	出荷額等 万円	工場数	出荷額等 万円	工業数	出荷額等 万円	工業数	出荷額等 万円
総数	56	7,393,688	43	6,962,780	43	7,511,455	41	10,947,335	40	10,559,158
食料	15	602,734	10	700,037	10	748,785	9	722,147	8	691,898
飲料	6	166,756	6	176,911	6	204,794	6	168,584	6	305,423
繊維	2	X	2	X	2	X	2	X	2	X
衣服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木材	2	X	2	X	2	X	2	X	2	X
家具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紙・パルプ	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷	2	X	2	X	2	X	2	X	2	X
化学	1	X	1	X	1	X	1	X	1	X
プラスチック	1	X	1	X	1	X	1	X	1	X
石油	1	X	1	X	1	X	-	-	-	-
窯業	4	2,329,672	4	1,804,580	4	1,874,569	4	5,354,575	4	5,495,949
金属	5	1,179,675	2	X	2	X	2	X	2	X
はん用機械	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生産用機械	3	98,398	2	X	2	X	2	X	2	X
業務用機械	1	X	-	-	-	-	-	-	-	-
電子	5	1,650,832	3	1,772,775	3	2,071,731	3	2,012,177	3	1,540,575
電気	2	X	1	X	1	X	1	X	1	X
情報	1	X	3	12,092	3	16,429	3	13,555	3	10,928
輸送	2	X	2	X	2	X	2	X	1	X
精密	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	X	1	X	1	X	1	X	2	X

資料：工業統計調査、経済センサス（平成27年）

注）1. 従業者数が4人以上の事業所が対象。

## 年次別の工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

年次	工場数	従業者数		製造品出荷額等		1事業所当り			1従業者当り	
		総数 人	対前年比 %	実数 万円	対前年比 %	従業員 人	出荷額 万円	対前年比 %	出荷額 万円	対前年比 %
平成27年	56	2,278	107.3	7,393,688	95.0	40.7	132,030	81.5	3,246	88.6
28	43	2,089	91.7	6,962,780	94.2	48.6	161,925	122.6	3,333	102.7
29	43	2,130	102.0	7,511,455	107.9	49.5	174,685	107.9	3,527	105.8
30	41	2,134	100.2	10,947,335	145.7	52.0	267,008	152.9	5,130	145.5
令和元年	40	2,110	98.9	10,559,158	96.5	52.8	263,979	98.9	5,004	97.6

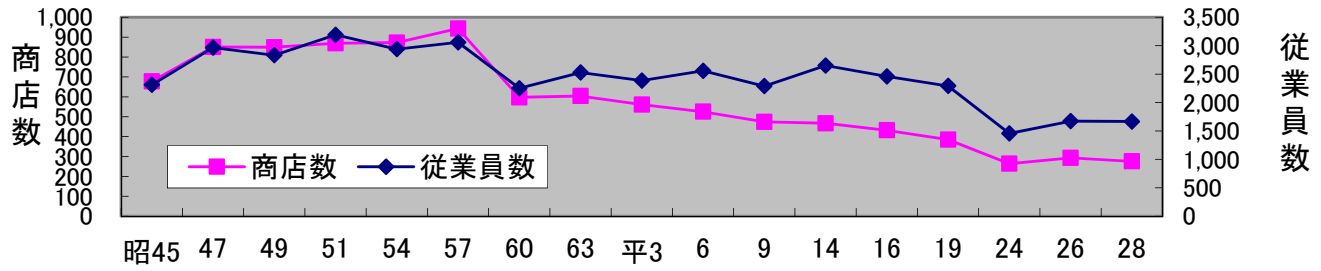
資料：工業統計調査、経済センサス（平成23年のみ）

注）1. 従業者数4人以上の事業所が対象。

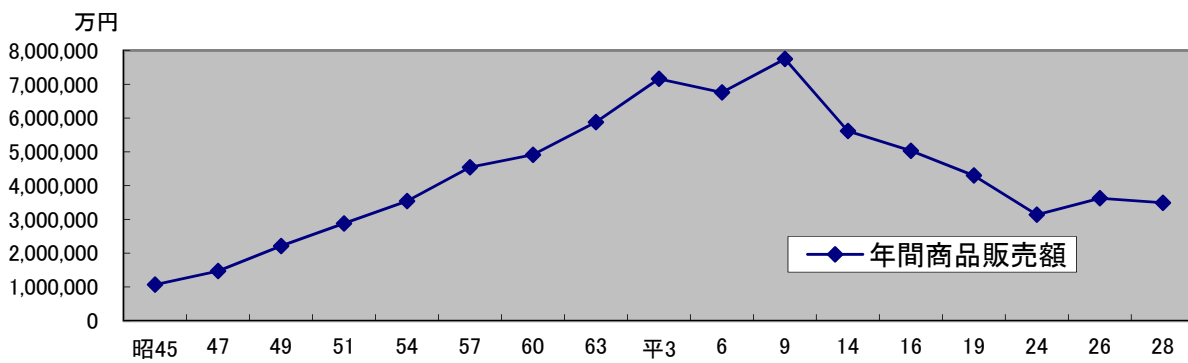
2. 平成23年は経済センサス-活動調査の結果を長野県が独自集計した数値。

3. 平成26年以前は12月31日現在、平成27年以降は6月1日現在の数値。

卸売・小売業の推移



年間商品販売額の推移



商業の推移

年次	商店数	従業者数	年間商品販売額	その他の収入額	商品手持額	1商店当たり		1人当たり販売額
						従業者	販売額	
		人	万円	万円	万円	人	万円	万円
昭和45年	677	2,311	1,068,142	13,220	128,460	3.4	1,578	462
47	850	2,965	1,471,566	18,382	142,520	3.5	1,731	496
49	849	2,831	2,213,841	28,700	237,240	3.3	2,608	782
51	869	3,191	2,880,965	55,316	294,434	3.7	3,315	903
54	872	2,939	3,541,045	63,085	330,679	3.4	4,061	1,205
57	943	3,058	4,542,633	95,755	464,071	3.2	4,817	1,485
60	592	2,238	4,893,838	125,316	461,123	3.8	8,267	2,187
63	604	2,527	5,878,910	187,916	509,328	4.2	9,733	2,326
平成3年	561	2,385	7,160,369	243,716	650,268	4.3	12,764	3,002
6	525	2,557	6,758,250	260,948	514,750	4.9	12,873	2,643
9	474	2,288	7,749,198	281,409	563,795	4.8	16,349	3,387
14	467	2,650	5,616,014	223,151	482,318	5.7	12,026	2,119
16	432	2,458	5,031,070	...	...	5.7	11,646	2,047
19	385	2,291	4,299,494	80,510	373,182	6.0	11,168	1,877
24	264	1,456	3,140,017	193,922	339,252	5.5	11,894	2,157
26	293	1,672	3,627,000	...	...	5.7	12,379	2,169
28	276	1,665	3,491,600	...	...	6.0	12,651	2,097

資料：商業統計調査、経済センサス（平成24年のみ）

- 注）1. 昭和54、57年の従業者数及び年間商品販売額は飲食店のうちバー、酒場等を除く。  
 2. 昭和60年以降は飲食店を除く。  
 3. 平成24年は経済センサス-活動調査の結果のうち卸売業・小売業について長野県が独自集計した数値。

## 産業中分類別年間商品販売額の推移（卸売・小売業）

産業中分類	昭和60年（5月1日）		昭和63年（6月1日）		平成3年（7月1日）		平成6年（7月1日）	
	商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額
		万円		万円		万円		万円
総数	597	(4,911,821)	604	(5,878,910)	561	7,160,369	525	6,758,250
卸売業	64	1,480,984	71	2,261,679	62	2,997,766	54	2,523,796
各種商品小売業	1	X	2	X	4	(448,219)	2	X
織物・衣服・身の回り品小売業	65	(538,780)	61	(568,951)	58	232,361	56	238,361
飲食料品小売業	193	1,036,528	201	1,125,761	169	1,172,613	164	1,336,044
自動車・自転車小売業	41	(549,901)	42	(751,967)	40	(897,396)	35	(846,286)
家具建具什器小売業	56	(279,086)	57	(335,322)	56	(322,951)	47	(320,786)
その他の小売業	177	(1,000,353)	168	(792,609)	172	(1,045,561)	167	(6,564)

産業中分類	平成9年（6月1日）		平成14年（6月1日）		平成16年（6月1日）		平成19年（7月1日）	
	商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額
		万円		万円		万円		万円
総数	474	7,749,198	467	5,616,014	432	5,031,070	385	4,299,494
卸売業	52	3,301,812	52	(1,628,729)	45	1,226,715	42	1,070,968
各種商品小売業	2	X	4	(310,275)	2	X	2	X
織物・衣服・身の回り品小売業	50	220,860	39	159,828	41	150,303	37	97,971
飲食料品小売業	142	1,376,844	134	1,099,158	130	(919,497)	94	845,559
自動車・自転車小売業	33	(868,042)	33	(607,384)	32	X	33	499,528
家具建具什器小売業	51	X	43	320,733	40	332,437	39	292,538
その他の小売業	144	(1,293,895)	162	1,481,457	142	(1,560,104)	138	X

産業中分類	平成24年（6月1日）		平成26年（6月1日）		平成28年（6月1日）	
	商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額
		万円		万円		万円
総数	264	3,140,017	293	3,627,000	276	3,491,600
卸売業	31	758,561	37	830,600	39	826,100
各種商品小売業	1	X	1	X	-	-
織物・衣服・身の回り品小売業	25	81,513	25	69,800	17	(57,700)
飲食料品小売業	62	605,986	71	693,100	66	(580,000)
機械器具小売業	38	409,013	45	642,600	48	(620,500)
その他の小売業	100	X	107	X	98	1,223,100
無店舗小売業	7	11,841	7	14,900	8	184,200

資料：商業統計調査、経済センサス

注) 1. 表中のXは伏数値。

2. ( )内の数値はXの数字を含まないため、総数と一致しない。

3. 平成24、28年は経済センサス-活動調査の結果のうち卸売業・小売業について長野県が独自集計した数値のため産業中分類が異なる。

# 9. 教育・文化

## 学校総覧

令和2年5月1日現在

学校名	創立年月日	学級数	教員数	児童生徒数 (平成31年5月1日現在)			一般校舎 面積	屋内 運動場 講堂面積	屋外 運動場
				総数	男	女			
大町東小学校	S56. 4. 1	10	15	167	91	76	5,899	1,002	13,715
大町西小学校	S59. 4. 1	14	26	248	130	118	7,360	1,486	13,169
大町南小学校	S62. 4. 1	15	22	255	142	113	5,689	1,247	9,275
大町北小学校	S52. 4. 1	15	22	274	147	127	6,705	982	11,750
八坂小学校	S61. 4. 1	7	11	37	16	21	2,865	1,027	8,190
第一中学校	S34. 4. 1	11	22	226	112	114	6,687	2,123	12,455
仁科台中学校	S40. 4. 1	14	26	332	181	151	6,776	1,487	15,750
八坂中学校	S22. 4. 1	4	10	25	13	12	2,167	1,198	9,388
美麻小中学校	S52. 4. 1	13	23	97	55	42	2,015	1,227	11,956
大町岳陽高等学校	H28. 4. 1	17	61	655	306	349	9,182	1,007	18,422
大町幼稚園	S 9. 3. 15	4	11	53	25	28	852	—	2,056
こまくさ幼稚園	S35. 4. 1	3	12	65	37	28	447	91	1,457
りんどう幼稚園	S55. 4. 1	4	13	63	22	41	486	150	1,540

資料：企画財政課（学校基本調査）、教育委員会、大町岳陽高校

注）学級数は特別支援教室を含む。

## 幼稚園の状況

各年5月1日現在

年次	園数	学級数	在園者数				教員数		年齢別在園者数		
			総数	男	女	1学級 当たり 園児数	実数	教員1人 当たりの 園児数	3歳	4歳	5歳
平成28年	3	11	170	96	74	15.5	31	5.5	57	65	48
29	3	10	177	92	85	17.7	30	5.9	61	59	57
30	3	11	183	93	90	16.6	29	6.3	67	55	58
令和元年	3	10	176	80	96	17.6	32	5.5	56	65	55
2	3	11	181	84	97	16.5	36	5.0	58	59	64

資料：企画財政課（学校基本調査）

## 小学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	児童数			教員数 実数	学年別児童数					
			総数	男	女		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成28年	6	69	1,237	653	584	123	173	203	213	208	210	230
29	5	62	1,114	586	528	97	166	157	195	199	203	194
30	5	63	1,091	596	495	100	175	166	156	193	200	201
令和元年	5	64	1,053	566	487	99	159	171	165	160	198	200
2	5	61	981	526	455	96	130	156	175	167	161	192

資料：企画財政課（学校基本調査）

## 中学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数 実数	教員1人 当たりの 生徒数	学年別生徒数			3月 卒業 者数
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数			1学年	2学年	3学年	
平成28年	4	35	768	361	407	21.9	84	9.1	255	251	262	245
29	3	30	698	335	363	23.3	62	11.3	217	245	236	249
30	3	29	650	311	339	22.4	58	11.2	191	217	242	235
令和元年	3	28	600	311	289	21.4	54	11.1	197	190	213	241
2	3	29	583	306	277	20.1	58	10.1	197	197	189	213

資料：企画財政課（学校基本調査）

## 義務教育学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数 実数	教員1人 当たりの 生徒数	学年別生徒数									3月 卒業 者数
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	
平成29年	1	13	85	44	41	6.5	24	3.5	2	13	6	9	8	10	10	11	16	13
30	1	13	89	44	45	6.8	24	3.7	11	2	15	8	11	9	12	10	11	16
令和元年	1	13	89	46	43	6.8	23	3.9	6	10	2	15	9	12	11	13	11	11
2	1	13	97	55	42	7.5	23	4.2	8	6	12	2	16	12	15	11	15	11

資料：企画財政課（学校基本調査）

## 高等学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数 実数	教員1人 当たりの 生徒数	学年別生徒数		
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数			1学年	2学年	3学年
平成28年	1	18	715	348	367	39.7	59	12.1	242	243	230
29	1	18	710	336	374	39.4	60	11.8	235	239	236
30	1	18	688	329	359	38.2	61	11.3	226	231	231
令和元年	1	18	687	320	367	38.1	61	11.2	238	226	223
2	1	17	655	306	349	38.5	61	10.7	202	233	220

資料：大町岳陽高等学校

注）平成28年度に大町高等学校と大町北高等学校が再編統合され、大町岳陽高等学校として開校

# 中学校進路別卒業生数

各年5月1日現在

年次	卒業生総数	A 進学者 (就職進学を含む)						B 教育訓練機関等入学者 (就職して入学した者を含む)	(左記A・Bを除く)	左記以外の者	死亡・不詳	左記Aのうち他県への進学者(再掲)	左記A及びBのうち就職している者(再掲)		卒業者のうち入学を志願した者				進学率	就職率
		計	全日	定時	通信	高専	特別支援学校 高等部(本科)						左記Aのうち	左記Bのうち	高校	高専	後期中等教育学校(本科)	特別支援学校 高等部(本科)		
平成28年3月	245	244	234	3	3	4	—	—	—	1	—	6	—	—	238	4	—	—	99.6	—
男	127	126	121	1	—	4	—	—	—	1	—	5	—	—	123	4	—	—	99.2	—
女	118	118	113	2	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	115	—	—	—	100.0	—
平成29年3月	262	260	245	4	7	3	1	1	—	1	—	10	—	—	253	3	—	—	99.2	—
男	123	123	115	1	3	3	1	—	—	—	—	2	—	—	120	3	—	—	100.0	—
女	139	137	130	3	4	—	—	1	—	1	—	8	—	—	133	—	—	—	98.6	—
平成30年3月	235	233	221	4	7	—	1	—	2	1	—	2	—	—	225	—	—	1	99.1	1.9
男	107	105	99	2	3	—	1	—	2	1	—	2	—	—	101	—	—	1	98.1	1.9
女	128	128	122	2	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	124	—	—	—	100.0	—
平成31年3月	241	240	219	10	11	—	—	—	—	1	—	9	—	—	229	—	—	—	99.6	—
男	113	113	109	2	2	—	—	—	—	—	—	3	—	—	111	—	—	—	100.0	—
女	128	127	110	8	9	—	—	—	—	1	—	6	—	—	118	—	—	—	99.2	—
令和2年3月	213	212	192	4	12	2	2	—	—	1	—	8	—	—	196	2	—	2	99.5	—
男	112	112	103	1	5	2	1	—	—	—	—	7	—	—	104	2	—	1	100.0	—
女	101	100	89	3	7	—	1	—	—	1	—	1	—	—	92	—	—	1	99.0	—

資料：企画財政課（学校基本調査）

# 高等学校進路別卒業生数

各年5月1日現在

年次	卒業生総数	A 進学者 (就職進学を含む)				B 教育訓練機関等入学者 (就職して入学した者を含む)	(左記A及びBを除く)	無業者	死亡・不詳	左記Aのうち他県への進学者(再掲)	左記A及びBのうち就職している者(再掲)		卒業者のうち入学を志願した者		進学率	就職率
		総数	大学	短大	通信教育 大・短大の別課						左記Aのうち	左記Bのうち	大学	短大		
平成28年3月	253	128	103	25	—	53	40	1	—	69	—	—	110	25	50.6	15.8
男	103	49	47	2	—	18	17	—	—	36	—	—	63	2	47.6	16.5
女	150	79	56	23	—	35	23	1	—	33	—	—	47	23	52.7	15.3
平成29年3月	236	116	86	29	1	92	17	4	—	66	—	—	106	29	49.2	7.2
男	109	55	50	4	1	44	13	1	—	36	—	—	66	4	50.5	11.9
女	127	61	36	25	—	48	4	3	—	30	—	—	40	25	48.0	3.1
平成30年3月	234	126	96	30	—	71	34	3	—	58	—	—	119	30	53.8	14.5
男	109	57	56	1	—	36	16	0	—	35	—	—	69	1	52.3	14.7
女	125	69	40	29	—	35	18	3	—	23	—	—	50	29	55.2	14.4
令和元年3月	231	107	96	11	—	90	21	11	—	86	—	—	140	18	46.3	9.1
男	119	59	58	1	—	39	14	7	—	47	—	—	76	2	49.6	11.8
女	112	48	38	10	—	51	7	4	—	39	—	—	64	16	42.9	6.3
令和2年3月	223	131	105	26	—	67	15	4	—	99	—	—	121	28	58.7	6.7
男	99	63	61	2	—	23	7	1	—	53	—	—	68	2	63.6	7.1
女	124	68	44	24	—	44	8	3	—	46	—	—	53	26	54.8	6.5

資料：大町岳陽高等学校、大町高等学校、大町北高等学校

注)H28年度に大町高等学校と大町北高等学校が再編され、大町岳陽高等学校として開校



# 高等学校卒業者の産業大分類別就職者数(県内)

5月1日現在

産 業 別	31年3月卒			令和2年3月卒		
	計	男	女	計	男	女
総 数	18	11	7	15	7	8
農 業	-	-	-	-	-	-
建 設	-	-	-	1	1	-
製 造	7	6	1	6	3	3
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 , 水 道	-	-	-	-	-	-
情 報 通 信	-	-	-	-	-	-
運 輸	2	1	1	-	-	-
卸 売 ・ 小 売	-	-	-	1	-	1
金 融 ・ 保 険	-	-	-	-	-	-
不 動 産	-	-	-	-	-	-
飲 食 店 , 宿 泊	1	1	-	-	-	-
医 療 , 福 祉	1	-	1	1	-	1
サ ー ビ ス	-	-	-	1	-	1
公 務	7	3	4	5	3	2
そ の 他	-	-	-	-	-	-

資料：大町岳陽高等学校

# 高等学校卒業者の職業分類別就職者数(県内)

5月1日現在

産 業 別	31年3月卒			令和2年3月卒		
	計	男	女	計	男	女
総 数	18	11	7	15	7	8
専 門 技 術	-	-	-	-	-	-
事 務 従 事	6	2	4	4	3	1
販 売 従 事	-	-	-	1	-	1
農 林 業 作 業	-	-	-	-	-	-
運 輸 ・ 通 信 業 従 事	2	1	1	-	-	-
技 能 工 程 生 産 工 程 作 業	7	6	1	7	4	3
単 純 労 働	-	-	-	-	-	-
保 安 職 業	2	1	1	1	-	1
サ ー ビ ス 職 業	1	1	-	1	-	1
そ の 他	-	-	-	1	-	1

資料：大町岳陽高等学校

## 高等学校卒業者の県内地区別就職者数

各年5月1日現在

年次	就職者総数	県外就職者	県内就職者		大北地域			その他の地方					
			人数	就職率	計	大町市	北安曇郡	計	松本市	長野市	岡谷市	安曇野市	その他
平成28年	人 40	人 -	人 40	% 100.0	人 23	人 16	人 7	人 17	人 6	人 4	人 -	人 6	人 1
29	17	-	17	100.0	9	6	3	8	2	2	-	4	-
30	34	1	33	97.1	7	4	3	26	1	7	-	15	3
令和元年	21	3	19	90.5	9	7	2	10	-	1	-	8	1
2	15	-	15	100.0	12	9	3	5	1	1	-	-	-

資料：大町岳陽高等学校

## 高等学校卒業者の都道府県別大学等進学者数

各年5月1日現在

年次	総数			県内		県外（都道府県別）内訳								
	計	男	女	人数	率	計	率	東京	神奈川	山梨	愛知	埼玉	千葉	その他
平成28年	人 114	人 49	人 65	人 45	% 39.5	人 69	% 60.5	人 11	人 4	人 4	人 3	人 6	人 11	人 30
29	116	55	61	42	36.2	74	63.8	32	6	3	9	4	3	17
30	71	40	31	18	25.4	53	74.6	24	0	2	4	5	1	17
令和元年	107	59	48	42	39.2	65	60.8	33	3	5	5	5	5	9
2	131	63	68	32	24.4	99	75.6	59	3	5	6	5	6	15

資料：大町岳陽高等学校

## 奨学金貸与の状況

各年3月31日現在

年度	貸付者数				貸付額		減免額		償還者数	償還額	
	大学生		高校生		年額	累計額	年額	累計額		年額	累計額
	新規	継続	新規	継続							
平成28年度	人 0	人 2	人 -	人 -	千円 720	千円 73,234	千円 0	千円 14,592	人 8	千円 1,282	千円 53,487
29	0	1	-	-	360	73,594	0	14,592	9	1,090	54,577
30	3	1	-	-	1,440	75,034	0	14,592	6	820	55,397
令和元年度	1	2	-	-	1,080	76,114	0	14,592	7	845	56,242
2	1	3	-	-	1,440	77,554	0	14,592	6	780	57,022

資料：教育委員会 注) 旧八坂村・旧美麻村は該当なし。

## 図書館貸出冊数の推移

年 度	児童図書・紙芝居	一般図書等（注）	計	一日平均
平成28年度	51,245	93,250	144,495	524
29	49,400	93,800	143,200	497
30	50,166	94,780	144,946	503
令和元年度	53,964	92,510	146,474	518
2	47,960	80,265	128,225	468

資料：市立大町図書館

（注）一般図書には視聴覚資料等の利用も含む

## 図書館利用者数

年 度	児 童(注)	一 般	計	一人当たり貸出数
平成28年度	5,574	29,683	35,257	4.1
29	4,856	30,395	35,251	4.1
30	4,995	30,636	35,631	4.1
令和元年度	6,004	28,798	34,802	4.2
2	4,161	23,420	27,581	4.6

資料：市立大町図書館

（注）児童は0歳～12歳までとする

## 図書館の蔵書と利用冊数

分 類	蔵書冊数	蔵書構成比
	冊	%
N 郷 土 資 料	7,762	5.1
0 総 記	4,105	2.7
1 哲 学	4,462	2.9
2 歴 史	9,863	6.5
3 社 会 科 学	15,421	10.2
4 自 然 科 学	8,766	5.8
5 技 術	8,480	5.6
6 産 業	4,178	2.8
7 芸 術	12,260	8.1
8 語 学	2,051	1.4
9 文 学	37,214	24.5
小 計	114,562	—
児 童 図 書	36,493	24.1
紙 芝 居	1,127	—
大 活 字 本	1,856	—
点 字 図 書	654	0.4
図 書 合 計	151,709	100.0
園 文 庫	3,701	—
雑 誌	5,033	—
C D	1,815	—
ビ デ オ	1,568	—
D V D	723	—
テ ー プ 図 書	1,781	—
合 計	166,330	—

資料：市立大町図書館

令和3年3月31日現在

資料種別	2年度貸出数
一般図書	70,872
児童図書	47,945
郷土資料	728
視聴覚障害	144
資料小計	119,689
雑 誌	4,442
C D	1,404
DVD・ビデオ	2,690
学習室利用	1,862
合計	130,087

## 夏期大学講座の受講者数

年 度	職業別受講者				地域別受講者					
					県内					県外 一般
	総 数	教 員	学 生	そ の 他	郡 内 教 員	郡 内 一 般	教 他 郡 員 市	一 他 郡 一 般 市	学 生	
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成28年度	1,931	996	1	934	974	762	22	117	1	55
29	2,001	1,030	14	957	1,008	777	22	113	14	67
30	1,859	957	6	896	933	675	24	153	6	68
令和元年度	1,584	922	14	648	903	446	19	137	14	65
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：北安曇教育会 注) 数値は開講中の延べ数

注1. 数値は開講中の延べ数

注2. 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により実施なし

## 山岳博物館の観覧状況

年 度	総 数				一 般 個 人			団 体			減免及び 無料入館者
	計	大 人	高 校 生	小 中 学 生	大 人	高 校 生	小 中 学 生	大 人	高 校 生	小 中 学 生	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成28年度	13,996	12,216	531	1,249	9,774	98	709	2,442	433	540	2,894
29	15,512	13,294	307	1,911	10,210	77	735	3,084	230	1,176	3,180
30	15,680	13,690	324	1,666	10,795	79	840	2,895	245	826	3,417
令和元年度	16,587	14,764	362	1,461	11,459	115	1,070	3,305	247	391	3,294
2	9,643	8,404	132	1,107	4,734	74	508	3,670	58	599	2,552

資料：山岳博物館 注) 減免及び無料入館者は総数に含まない。

# 文化財

国:令和2年4月1日現在、県・市:令和元年5月1日現在

名称・指定年月日	説明
<b>国指定文化財</b>	
<b>[ 国宝 ]</b>	
仁科神明宮本殿、中門(前殿) 2棟 S28. 3. 31	本殿は桁行3間・梁間2間・神明造・檜皮葺。中門(前殿・御門屋)は四脚門・切妻造・檜皮葺で、釣屋がこれらを連結している。ともに寛永13年(1636)の造営で江戸時代初期の端正な建築である。本殿は神明造の建築物として、わが国で最古の様式を伝えていることで極めて高く評価されている。釣屋は附属指定。なお、伊勢神宮にならい20年に一度行われる式年遷宮については、今回は令和元年(2019)に行われている。
<b>[ 国重要文化財 ]</b>	
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30	もとは東北側山中の山寺地籍にあった堂を移築したものと伝えられているが、仁科氏の祈願寺であった関係から、同氏によって造られたものと考えられる。室町時代に建立されているが、鎌倉時代末頃の創建当時のおもかげをわずかにとどめている。桁行3間・梁間3間の寄棟造で、松本平最古の木造建築物である。
木造棟札 S25. 8. 29	永和2年(1376)から安政3年(1856)にいたる480年間に及ぶ27枚が指定されており、棟札が単独で指定されているのは全国でもこれだけである。この棟札によって仁科神明宮の20年に一度の式年造営の様子、仁科氏の家系と家臣、造営事情等を詳細に極めることができ、地方文化の究明の上でも貴重な資料とされている。仁科神明宮蔵。
木造千手観音立像 S25. 8. 29	檜材・寄木造、像高168. 2cm。像造年代が平安時代末期であるが、技法や彫り方にはそれ以前のものを感じさせる。木像の胎内には願主・仏師などの名前や治承3年(1179)3月と年代など造像事情を記した墨書木札1枚、白銅製菊花双雀文鏡1枚、紙本千手観音摺仏28枚が納入されており、白銅鏡は附属指定となっている。藤尾覚音寺の本尊で、「藤尾の観音さま」と呼ばれ人々に親しまれている。
木造持国天立像、木造多聞天立像 2躰 S25. 8. 29	2躰は覚音寺千手観音立像の脇持で、檜材・寄木造。像高は持国天161. 5cm、多聞天157. 6cm。像の背面には、持国天・建久5年(1194)、多聞天・建久6年(1195)年と年号の陰刻銘が刻まれており、これが造像年代と考えられる。鎌倉時代初頭の造像であるが、作風は平安時代後期の作風を残している。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12	一間社・隅木入春日造・檜皮葺で、承応3年(1654)の棟札1枚が附属指定されている。室町時代の末頃に仁科氏によって造営されたもので、建築様式に多くの地方様式を残している。
鉄罎口 S32. 2. 19	面径24cmで表面に安貞2年(1228)8月の陽刻銘が見られる。木舟にあった仁科氏の祈願寺跡から出土したものと伝えられており、鉄製で年代の明らかな罎口としては、わが国最古のものである。このような珍しい罎口が、この地に残っているのは、仁科氏文化の性格を語るものとして貴重で興味深い。木舟集落所蔵。市立大町山岳博物館保管。
御正体 S36. 12. 17	銅製の円盤に仁科神明宮の本地仏大日如来などを取り付けた懸仏で、指定されているのは5面であるが、ほかに11面が附属指定されている。裏面に「弘安元年卯月廿一日」の朱漆銘のあるものや「弘安九年十二月廿二日」の墨書銘のあるものがあるほか、「志ん名」「志んめいの御しやうたい」と記されているものがある。
旧中村家住宅 主屋、土蔵 2棟 H9. 12. 3	主屋は桁行14間・梁行6間・建坪84坪(約278㎡)の木造平屋・茅葺・寄棟造で、元禄11年(1698)建立と建築年代が明らかな民家として県内最古で、大きさも当時の民家としては県内屈指で、農村における居住形態を知る上で貴重である。 土蔵は桁行6間・梁行4間の切妻造で、安永9年(1780)と建築年代が判明するものとしては県下で古い例に属す。置屋根で軒支柱を立てて屋根の荷重を支える構造である。

<b>[ 国天然記念物 ]</b>	
高瀬渓谷の噴湯丘と球状石灰石 T11. 10. 12	高瀬渓谷の湯俣川下流付近で温泉沈殿物(主に炭酸カルシウム)が河床に堆積して小さな火山のような形(噴湯丘)になり、中央の湧き口に白い小豆粒大の霰石(あられいし)(球状方解石)ができる現象が珍しい。
<b>[ 国特別天然記念物 ]</b>	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
ライチョウ S30. 2. 15	動物・鳥類
ニホンカモシカ S30. 2. 15	動物・哺乳類
<b>[ 国天然記念物 ]</b>	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
イヌワシ S40. 5. 12	動物・鳥類
ヤマネ S50. 6. 26	動物・哺乳類
<b>国登録文化財</b>	
<b>[ 国登録有形文化財 ]</b>	
平林家住宅 主屋 H29. 10. 27	主屋は間口7間の土蔵造2階建てで、式台玄関や座敷棟を併設している。明治23年(1890)に再建された建物で、松本の開智学校などを手掛けた立石清重の設計により、防火や耐火の対策がなされた大町初の土蔵造町家として貴重。
平林家住宅 文庫蔵・塩蔵・漬物蔵 H29. 10. 27	文庫蔵・塩蔵・漬物蔵は3棟の土蔵を置き屋根形式の切妻造の屋根による一体化した土蔵で、東正面に下屋庇をつけている。文庫蔵は江戸時代後期の建立で、塩蔵・漬物蔵は明治2年(1869)に増築されたものである。
東京藝術大学山岳部黒沢ヒュッテ H30. 11. 2	昭和35年(1960)に東京藝術大学山岳部によって建設された山小屋で、標高1,200mの尾根上に建つ。1階はコンクリートブロック造、2階は木造。折板状の片流れ屋根の軒を張出し、南西面に広く開口する斬新なデザインの山小屋で、テラスからは後立山連峰を望む。戦後の登山ブームの一端を示す山岳施設である。
旧北澤家住宅 主屋 R元. 9. 10	嘉永2(1849)年頃に建設(明治後期・昭和50年代改修)された、山間にある集落の庄屋住宅で、間口の広い寄棟造茅葺(鉄板仮葺)の2階建て、軒出桁造。山村景観の核をなす豪壮な民家として貴重である。
<b>長野県指定文化財</b>	
<b>[ 長野県宝 ]</b>	
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14	平安時代中期の製作と考えられるもので、櫛の一木造。後に補われ修理された部分もあるが、平安時代初期の貞観様式を多分にもつ安曇平最古の木像である。像高5尺3寸3分(約161.5cm)の立像。弾誓寺観音保存会蔵。
若一王子神社三重塔 S41. 1. 27	弾誓寺六世木食故信法阿の発願で宝永3年(1706)から工事を始め、宝永8年(1711)に竣工した。墓股(かえるまた)内部に方位に合わせ獣面人身という珍しい彫刻が施されており、この地方としてはまれに見る優雅な塔で、松本平で唯一の木造の塔である。棟札4枚が附属指定。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27	若一王子神社の三重塔の原型とも言い伝えられ、10分の1の縮尺であるとされているが、細部の手法には若一王子神社の三重塔とは異なったところが見られる。造られた年代は江戸中期とみられる。
大黒町舞台 S62. 8. 17	諏訪の名匠二代目立川和四郎富昌により、江戸時代後期の文政9年(1826)頃までに完成したと思われる。二層構成・切妻起屋根・三輪形式の可動舞台。随所に入念巧遅な立川流の彫刻があり、美術的価値が高い。明治21年(1888)年に松本の本町二丁目から購入し、以来毎年7月の若一王子神社の夏祭りに市街を巡行している。大黒町自治会蔵。

<p>霊松寺山門 H5. 8. 12</p>	<p>入母屋造・正面3間・側面2間の楼門形式の八脚門で総檜造(そうけやきづくり)である。和様の重厚な形式を基本にして、唐様を取り入れた折衷様式でいたる所に施された素木彫の建築彫刻は、江戸時代後期立川流の流れをよく表している。嘉永5年(1852)に諏訪郡高部村の藤森広八(二代目政因)が棟梁となって、松川村観勝院に建てられたが、同寺が廃寺となった明治11年(1878)に霊松寺へ移築されたものである。</p>
<p>銅造十一面観音坐像御正体残闕(ざんけつ) H11. 3. 18</p>	<p>若一王子神社観音堂の現在の本尊。本来は懸仏であったものであるが鏡板を失い仏体のみとなっている。鑄銅造で像高19cm、蓮華座の高さ3cmの坐像で、右手は施無畏、左手には瓶中蓮を持っていたと思われるがこれも失われている。やや下膨れの顔が柔和で体型はふっくらとしており、彫りは浅く衲衣(のうい)も簡略であるが優美な仏像である。</p>
<p>山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16</p>	<p>鎌倉～室町時代に社間田の東山中にあったと伝えられる山寺廃寺跡から出土した火葬骨の蔵骨器で、四耳壺1・瓶子2・土師質小皿1・青白磁水注1・写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1がある。四耳壺・瓶子は古瀬戸で、鎌倉時代中期以前の優れた製品。水注は中国の景德鎮での製造と推定される。大町市民俗資料館保管。</p>
<p>若一王子神社観音堂及び宮殿 H23. 9. 29</p>	<p>観音堂は江戸時代中期の宝永3年(1706)に建立された宝形造、茅葺・三間四面の和様建築。内部は表側2間通りを外陣とし、奥1間通りを内陣として宮殿(厨子)を置く。宮殿は禅宗様式を多く取り入れ、和様と唐様を折衷したものである。棟札が附属指定。</p>
<p>[ 長野県無形民俗文化財 ]</p>	
<p>仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3</p>	<p>仁科神明宮の秋の例祭に奉納される、能を取り入れた神楽。演目は剣の舞・岩戸神楽・五行の舞・水継・幣の舞・竜神神楽・道祖神の7座である。舞だけの座と、舞を伴いつつ謡曲によって天の岩戸・海幸山幸・天孫降臨の神話を展開していく座がある。</p>
<p>仁科神明宮・作始め神事 H2. 2. 19</p>	<p>仁科神明宮の春の例祭に、伊勢神宮の祈念祭(としごいのまつり)にならって行われている神事。鎌初めから苗代づくり・種播き・鳥追いまでの一連の水田耕作の所作が、神楽殿内を一坪の広さに仕切った中で演じられる。その年の作況を占う神事。</p>
<p>流鏝馬の神事 H13. 9. 20</p>	<p>毎年7月28日～29日(旧来は7月15日～17日)の若一王子神社の例祭で、最終日に行われる。7～8歳の男子が化粧をして狩衣装束をつけ飾った馬に乗り、的板めがけ弓矢を射る神事。この神事のもとには農作の豊凶を占う神事で、武士の間で盛んであった「やぶさめ」の形を取り入れた地方色の強い神事と考えられる。</p>
<p>[ 長野県史跡 ]</p>	
<p>上原遺跡 S35. 2. 11</p>	<p>昭和25～27年(1950～52)の4次にわたる発掘調査で、配石跡や竪穴等の遺構の発見があった縄文時代前期を代表する遺跡。配石遺構は2群あって、1号群は中心石柱1個、側石柱12個により南北径3.6m、東西径2.2mの楕円形に復元され、2号群はこの南に2.4m離れ、中心石柱1個、側石柱6個により径1.8mの円形に復元されている。竪穴は配石跡の南40mにあり、径2m・深さ1mの円形竪穴で側壁が階段状になっており、焚火跡も見られた。出土遺物では土器は縄文時代前期のものを中心とし、それに伴う石器は石斧・石鏃・石匙・石錐・球状耳飾等がある。指定区域面積は約40,000㎡。</p>
<p>[ 長野県天然記念物 ]</p>	
<p>大塩のイヌザクラ S37. 7. 12</p>	<p>静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から、「静の桜」と呼ばれる。目通り幹囲は8.45m、太い幹に比して樹高約20mと低いが、枝は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。開花期は5月下旬で、花径5mmぐらいの梅花状の白い花が穂状につく。このようなイヌザクラの巨木は非常に珍しく貴重である。</p>
<p>若一王子神社社叢 S40. 4. 30</p>	<p>約300本のスギと約130本のヒノキを主体にした、指定区域面積17,186.4㎡の社叢である。平坦地においてこれだけの面積の針葉樹林が見られるのは珍しく貴重である。</p>
<p>仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17</p>	<p>国宝仁科神明宮を囲むスギ・ヒノキを主体とした、指定区域面積19,257.78㎡の社叢である。境内入口にある三本杉(現在中央1本を失っている)や国宝本殿の西側にあるスギは目通り周囲5m、樹高50mを越える巨木で、これらに加え境内には幹囲2mをこえるスギ20数本、ヒノキ10数本が生育し古い歴史を物語っている。</p>

居谷里湿原 S46. 8. 23 大町8279番地10ほか	この湿原の状態は、ミズゴケのよく育ったところもあり、泥炭層の発達したところもあって、必ずしも一様ではない。湿原内にはモウセンゴケやミミカキグサ・タヌキモなどの多種の食虫植物のほか、ハンノキ・ミヤマウメドキ・イソノキなどの木本と、ミズバショウ・リュウキンカ・ミツガシワなどの草本等、湿原特有の植物が見られる。また、県内では珍しい暖地性のハチョウトンボの生息地であり、ハナノキの隔離分布として学術上貴重な湿原である。指定区域面積は、20, 902㎡。
大町市のカワシンジュガイ生息地 H19. 1. 11	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水産二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。生息地2箇所を地域指定。
[ 長野県天然記念物 ]	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
ミヤマモンキチョウ S50. 2. 24	動物・高山蝶
ヤリガタケシジミ S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネキマダラセセリ S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモツマキチョウ S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモバネヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
コヒオドシ S50. 2. 24	動物・高山蝶
オオイチモンジ S50. 2. 24	動物・高山蝶
ベニヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
ホンドオコジョ S50. 11. 4	動物・哺乳類
ホンシュウモモンガ S50. 11. 4	動物・哺乳類
[ 大町市有形文化財 ]	
広形銅戈(海ノ口上諏訪社) S46. 12. 10	出土地等は明らかではないが、糸魚川地方または小谷村と推定されている。全長24. 5cm。銅戈は北九州から近畿地方に分布しているが中部地方以北の出土は稀で、弥生文化の伝播を知る貴重な資料である。大町市文化財センター保管。
盛蓮寺木造不動明王立像 S57. 3. 3	腰をひねるようにして右足に体重をのせて岩座に立つ。半眼半開、二牙を上下交互にあらわしている。右肩にたれる髪の一部・左臂・裙に傷が見られる他はほぼ完全であるが、右手に構える剣を失っている。鎌倉時代末の製作で台座・光背は後の時代に補っている。総丈98cm・仏丈65cm・岩座15. 5cm。
盛蓮寺木造薬師如来坐像 S57. 3. 3	室町時代前半の文安4年(1447)に製作された檜材の小像である。小さいながら作風は大まかにゆったりとしており大きな感じをあらわしている。本像の胎内に「文安第四丁卯三月廿四日 願主 喜香叟」の墨書銘がある。台座・光背・両手首・薬壺等を失っている。
大沢寺木造阿弥陀如来立像 S62. 3. 23	檜材・寄木造。全高78cm。後補を繰り返していると思われ、躰部は室町時代末～桃山時代。頭部は古く平安時代の藤原様式が伺える。形状は整い均整がとれている。仁科氏の旧臣であった松村市左衛門の拝仏堂に安置されていたと伝えられる。
西正院木造大姥尊坐像 S63. 1. 14	檜材・寄木造。像高39. 5cm。頭に白布をかぶり、ゆったりとした単衣をまとい、帯を前に結び右脚を立てて坐った老婆の姿の像で、写実性に富み、量感も豊かな室町時代中期の作。台座を失っている。当地における山岳信仰の一面を伝える証左として貴重。
天正寺山門 S63. 1. 14	装飾的な要素がほとんど無い、純粋な和様の薬医門である。元禄元年(1688)の建立で宝暦10年(1760)に修理しているが、柱から梁間は建立当時のままとされる。禅寺にふさわしい簡素な山門で、江戸時代中期の数少ない建造物である。
長性院木造聖観世音菩薩立像 H1. 3. 28	檜材・寄木造。総高184. 3cm、像高107cm。弾誓寺6世木食山居による江戸時代中期の作。背面下部に「万躰之内 木食山居作」の墨書銘がある。木食山居の数多い仏像の中でも、最も円熟した時期における大型で入念な作品である。



盛蓮寺木造如意輪観音坐像 H3. 5. 31	檜材・寄木造。像高77. 6cm。後補の著しい像であるが、左膝の後部は造像当初のもので、鎌倉時代後期の像容がみられる。享保3年(1718)に修理したことを伝える朱漆銘が光背裏にある。一般的な如意輪観音の印相と左右逆になっている。
木舟薬師堂木造薬師如来立像 H3. 5. 31	檜材・寄木造。総高122. 8cm、像高113cm。後補の著しい像であるが、体部と両肩から先の主要部分は造像当初のもので、鎌倉時代後期の写実的な像容が見られる。寛文6年(1666)に修理したことを伝える木札が残っている。
弾誓寺観音堂木造伝弾誓上人坐像 H4. 5. 19	檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高75cm。像容は衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して合掌する姿である。およそ江戸時代17世紀中頃の作。地方色でありながら彫技の冴えのみられる完成度の高い作品である。本像は江戸時代前期の常念仏盛行の時代を看取れる貴重な文化財である。
弾誓寺観音堂木造伝長音上人坐像 H4. 5. 19	檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高78cm。像容は衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して両手で数珠を持つかと見られる姿である。胎内の胸部及び背部の2カ所に墨書銘が記されている。江戸時代中期の元禄13年(1700)製作。弾誓寺4世願誓岳空寂阿野造像。本格的な彫技を用いた貴重な作品である。
盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28	桂材・寄木造。像高24. 1cm。製作は室町時代前半と考えられる。台座・光背・持物・彩色等は江戸時代後期に補われたもの。虚空蔵菩薩像は県下において室町時代前半に遡る類例が少なく、真言密教及び修験道の信州への伝播を示す貴重な仏像である。
天正寺木造薬師如来立像 H7. 4. 26	檜材・寄木造。像高261cm。胎内に打ち付けられた木札の墨書銘から、造仏を修行とする作仏聖「生誉蓮入比丘」により、延宝5年(1677)5月に造立されたことがわかる。かなりの巨大像であり、しかも丁寧に仕上げられている点で文化的価値が高い。
大黒町追分の石造大黒天像 H8. 3. 25	嘉永5年(1852)に高遠の石工によって彫られた石像で、大黒町の名の由来ともなっている。現在のところ松本平では最大(全長約1. 7m)にして最古のもので、彫刻技術も優れている。造立の由来を記した趣意書の版木も残っており、版木は附属指定。
山寺廃寺跡出土遺物 H8. 3. 25	写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1、灰釉小皿1の2点。県宝指定されている「山寺廃寺跡出土品」と同じ社閨田の山寺廃寺跡から出土したものであるが、表面採集されたもので出土状況は明確でない。大町市民俗資料館保管。
若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24	檜材・寄木造。推定像高180cm。11世紀の製作。台座・光背・瓔珞(ようらく)の残闕(ざんけつ)は江戸時代の後補。明治時代の初めに燃やされて髣髴が大きく焼損を受けているが、若一王子神社の本地仏で観音堂の本尊であったと考えられ、神社の歴史を知る資料として貴重である。
仁科神明宮銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25	円形、直径27. 4cm。鏡背には五大明王、奉納者名、紀年銘などが記されている。この鏡は江戸時代寛永13年(1636)の仁科神明宮式年造営の時に日岐盛貞によって奉納されたもので実用品ではない。
仁科神明宮木造棟札 H10. 3. 25	国の重要文化財に指定されている室町時代(1376)～江戸時代末期(1856)の27枚の棟札に続く明治時代～昭和時代の棟札6枚。仁科神明宮で20年に一度行われる式年造営の歴史を明らかにできる資料である。
仁科神明宮木造小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25	江戸時代初期の慶長19年(1614)に松本領主小笠原秀政が、領内の主要な社寺に対してその保護を目的として交付したものの一枚である。檜板に墨で禁制文が書かれた縦34cm、横61. 3cmの高札である。
山下神社木造小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26	小笠原秀政が領民掌握のために社寺境内に交付した禁制札である。慶長19年(1614)5月15日の墨書銘が残る。高札上部には屋根形の棧があった痕跡が残るが、現在は失われている。法量は最大高33. 8cm、最大幅59. 0cm。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22	「天王様の神輿」として市民に親しまれた神輿は、戦後しばらくまで7月15日の八坂神社例祭時に巡行されたものである。江戸中期18世紀初頭の製作とされ、若一王子神社観音堂宮殿などを建立した大町の宮大工・金原一門の手になったものと推定される。

飯嶋家所有「信越連帯新道」関係史料及び飯嶋家文書一括 附 その他の史料 H15. 2. 26	江戸時代末期から明治初年にかけての野口村庄屋文書の中核とする。この中で注目されるのが信州内陸部と北陸沿岸部を結んだ交流最短路である「信越連帯新道」開削の関係史料である。指定数は、古文書類628点、その他看板等の史料84点を数える。
八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像 H16. 2. 19	仏像の総高168cm、仏高114cm、台座高40cmを測る。製作年代は頭部檜材が鎌倉時代、髣部が江戸時代初期、台座が江戸時代中期と補作が見られる。かつては右手に戟を持ち、左手に宝塔を掲げていたが、現在は欠失している。
西澤家所有文書一括 附 その他の史料 H16. 2. 19	西澤家文書には江戸時代初期の庄屋関係文書と江戸時代末期の大庄屋関係文書とが含まれている。指定された古文書類は、慶長16年(1611)年～明治25年(1892)におよぶ258点、その他の史料1点を含む。
栗林家所有文書一括 H17. 3. 25	栗林家は江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家柄である。今回指定された文書の内容は、庄屋という役目上から関与した法令・藩制村制・租税・土地・林野・戸口・農林業・醸造・水利・土建・治安・宗教・凶災・救恤・身分・絵図等々の農政に関する文書と、大町の宿場に関わる交通・宿駅・運輸・通信・商業・都市等々の分野の古文書を包括して、極めて多彩である。
高橋家所有文書一括 H18. 3. 27	高橋家は大庄屋格を受け、江戸期を通じて松崎村庄屋、閨田村庄屋を兼務した家柄である。所蔵文書には、長年勤めた村方文書を主とする租税関係や用水堰普請などのほか、地域の特産である苺の栽培・出荷関係であるとか、家業の酒造関係文書がある。特出すべきものとして、文政8年(1825)に当地で発生した赤蓑騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤蓑騒動』は唯一の現存本として大変貴重なもの。
生婦平出土銅造瑞花双鳥八稜鏡 H18. 3. 27	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを測る。制作年代は平安時代後期と考えられる。花卉を摸した八稜縁に双鳥や花文が施される唐式鏡から和鏡への過渡期を示す。
大平地蔵堂の木造地藏菩薩立像 H18. 3. 27	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)、檜材・寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを測る。中央の仏師の作と考えられる像である。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は浅川豊八(大隈流)による。彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。神社祭神は健御名方命。麻田家に建立に関する由緒書が残っている。
野平神社本殿 H18. 3. 27	祭神は天照大神(明神)、健御名命(諏訪)、誉田別命(八幡)の三神を祀り、江戸時代前期の元和5年(1619)8月10日の勧請と言われる。本殿は三間社・流造り、柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大工は大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、約200年にわたって5つの彫刻が刻まれたものである。年代の古いものから、①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間、②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年、③庚申塔が江戸後期の文化4年(1807)、④徳本上人合碑が19世紀前半、⑤大日如来像が幕末の嘉永3年(1850)となる。大日如来のお祭は、もとは4月8日に行なわれていたが、現在は5月8日に行なわれている。
北条峰の徳本上人追善供養塔 H18. 3. 27	砂岩製で残存する石碑高が108cm、最大幅が85cmを測る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本 文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。碑文によると、製作年代は江戸後期の文政元年(1818)。

曾山の善光寺千人参り名号塔 H18. 3. 27	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。材質は砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを測る。塔身正面は花頭形輪郭を彫り窪め、上部には円輪郭の中に阿弥陀如来、観世音菩薩、勢至菩薩の三体、いわゆる阿弥陀三尊像を半肉彫りしている。その下に「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原の若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による。毎年5月3日には講中によるお祭が現在でも行なわれている。平成6年(1994)に道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地籍に所在した。
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27	一間社・流造。規模は間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日に再建されたもので、立川豊八(安曇郡長尾組岩原住)のよる建築。附属指定として棟札3枚がある。
富士浅間神社楽殿 H18. 3. 27	江戸時代中期の建立、伝元禄11年(1698)。大工は千見村真面の久兵衛による建築。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁、床板張り舞台は幅11m、高さ2.8m、舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27	16面を指定。江戸時代、幕末の嘉永から安政年間のものが多い。大型のものも多く、保存も良好である。製作年代の最も古いものは、安永6年(1777)から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27	現在の本殿は江戸時代末期、天保12年(1841)9月の造営再建である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原基五郎、曾根原謙蔵。最も古い慶長17年(1617)の棟札と、藩奉行6名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定されている。
千見神明宮絵額と句額 H18. 3. 27	千見神明宮拝殿に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が今回指定された。絵額の製作年代は天明7年(1787)～安政2年(1855)にわたる。また、句額は文化5年(1808)～明治33年(1900)製作のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27	一間社・流造り。彫刻が優れる。古い棟札として、江戸時代中期享保4年(1719)のものが残る。現在の社殿は文政8年(1825)建立、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。庄屋小林家にはこの時の造営帳が残っており大変貴重である。
下條家関守門 H18. 3. 27	松本藩と松代藩とが境を接する旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏の代(1642～1725)に関守を置き、下條家はその任をまかされて当時50石をあたえられ、鉄砲組を配して警備にあたった。門正面は3間、奥行き2間の門に切妻屋根。北側には3間の長屋が残存する。現在はトタン屋根であるが、もとは茅葺き。
下條家所有文書一括 H18. 3. 27	元和年間(1615)より明治初期に及ぶ武家(藩の記録)、関守文書(46点・26%)を中心とする。藩政の一端を担った在地の史料として貴重。
中村家所有文書一括 H18. 3. 27	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政及び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。また、「中村家年代記」のように、出来事や世の中の風聞など村ならではの史料が残される。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 27 追加指定	もともとの大塩の高札場(大塩南村)は、現在、県天然記念物になっている「静の桜」より、100mほど南側の街道沿いに存在したものであり、指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」(正徳元年(1711)・91×33cm)、②「毒薬禁制」(正徳元年(1711)・124×49cm)、③「にせ銭金制」(天保10年(1839)・82×36cm)、④「親子・博奕・忠孝等の定め」(正徳元年(1711)・123×52cm)。①～③の3点は旧中村家土蔵に展示されている。④は個人所有。

向生仏屋敷出土灰釉陶器広口瓶 H18. 3. 27	昭和初期、耕作中に発見されたもので、器高は19. 7cm、口径10. 2cm底径8. 5cm。口縁部の一部が欠損するのみで、ほぼ完形である。産地は岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は大原1号窯式(10世紀前半)。
個人所有木造阿弥陀仏如来立像 H18. 3. 27	総高48. 5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。
千見薬師堂の木造薬師如来立像 H18. 3. 27 常盤	薬師如来像は木食山居作と推定され、総高45cm、像高36. 5cm、台座12. 5cm。附属指定の木造聖観音立像も木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。聖観音立像は総高53cm、像高43cm、台座10cm。
中村孝三述『学びの糸口』 H19. 3. 27	この手記は明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。
八〇栗林家文書一括 H28. 3. 24	江戸時代中期以降、大町組の大庄屋を勤め、明治時代においても大町の大要職にあった八丸栗林家に残された古文書類で、江戸時代・明治時代の大町の様子を知ることができる近世(江戸時代)の文書1, 811点、近代(明治～大正時代)の文書614点、計2, 425点。
山千永田家文書一括 H28. 3. 24	美麻千見において江戸時代に大町組千見村の庄屋を勤め、一時期は大町組の大庄屋も勤め、明治時代初期に千見の戸長を勤め、旧美麻村の合併など新しい時代の村づくりに尽くした永田家に残された古文書類で、江戸・明治時代の山間地域の様子を知ることができる文書として貴重。近世(江戸時代)の文書363点、近代(明治時代)の文書222点、計585点。
[ 大町市民俗資料 ]	
宮本・松崎紙紙すき用具コレクション S50. 4. 15	社地区は江戸時代から紙すきが盛んで、宮本紙・松崎紙と呼ばれ珍重されてきた。この資料は当地で行われてきた紙すき用具を集めたもので、紙すきの全容を知る上で貴重な資料である。大町市民俗資料館保管・展示。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24	安政2年(1855)に絵師村上完民、中藤月漢によって描かれた、縦210cm、横475cmの北安曇郡内最大の絵馬。画面下部に寄進者名などが村ごとに二段余にわたって列記されており、当時の庶民信仰の在り方などを示す貴重な資料である。
医王谷飯綱神社筒粥占い神事 H18. 3. 27	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行なわれていたものである。伝承によれば、江戸時代初期の元和7年(1621)に飯綱神社がその地に勧請されたときから神事は始められたと言われている。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中・気象関係・農作物関係・天皇家など40項目の占いを行なう年頭の神事。郡内では唯一の神事。
水上神社の御輿巡幸 H18. 3. 27	担い棒つき鳥居形や神殿等で構成されていたが、現在は神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本銚を神輿に立てて用いている。袷に帯刀姿の警護4人による巡幸の神事。神輿は江戸時代末期の作と推定される。
[ 大町市史跡 ]	
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6	鎌倉時代後期から室町時代末までの仁科氏の居館跡である。平城で、規模は東西180m・南北120m、外堀と内堀の二重の堀や土居を回らせた居館である。仁科氏の滅亡後にその菩提を弔って、ここに天正院を造ったと言われている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25	古墳時代後期の6世紀末に築造されて8世紀初めまで使用された、松本平では数少ない積石塚である。横穴式石室で、埋葬状態もよく残っており、副葬品も豊富に残されていた。昭和58年(1983)に発掘調査。副葬品(出土品)は大町市文化財センターで保管。

権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27	権現山の山麓に堂屋敷と言いつたえられてきた礎石が残る屋敷跡。永禄年間(1558~1569)、戸隠大権現が上杉方の兵火の難を逃れるため、この地に奉遷を計画したとの伝承がある。しかし、文禄3年(1594)の鎮静により、夫役別院から当地への奉遷はなかった。附属指定として、戴神社奥社に隣接するウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラムツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27	伝承では、城主は上杉方の大日方源吾長辰氏と言われる。また、武田方の山県昌景により、弘治2年(1556)に火攻めにされて落城したと伝えられる。曲輪や堀跡が残り、網戸、空堀、犬戻、厩、水の手、城裏、帳場、山城、一ノ木戸、二ノ木戸、西木戸、馬場、鍵掛などの地名が残る。本丸東西50m×南北20m、二の丸東西40m×南北30m、三の丸東西20m×南北15mを測る。なお、天保6年(1835)造立の城主供養塔がある。
大塩山城跡 H18. 3. 27	本丸跡(12×27m)、二の丸、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山城。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠があり、「木曾義貞、寿永3年(1184)の義仲戦死後、仁科盛遠によって大野田に隠される。安貞元年(1227)、森城に抛する阿部貞高を討つために大塩城を築く(信府統記)。後に義重は仁科の姓を名乗る」とする伝承がある。
堀の内遺跡 H18. 3. 27	これまでに、遺跡内では平成5年(1993)と平成12年(2000)における2回の発掘調査が実施されている。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡である。中世の遺構としては、居館が確認されている。大塩山城跡の根小屋と思われる。
[ 大町市天然記念物 ]	
オオヤマザクラ S46. 12. 10 平22419番地3ほか	国内でも北部の地方で自生するサクラで、群生地としては大町市が南限であり、比較的分布密度の高い中綱湖・青木湖周辺の自生のサクラが指定されている。オオヤマザクラは淡紅色の華やかな色彩を持ち、病害虫にも強いサクラである。
霊松寺のオハツキイチョウ S63. 1. 14	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の意味で、ギンナンが葉の上に結実するもの。こうした葉はこの木の場合、全体で10%程度である。オハツキイチョウは現在のイチョウの進化以前の姿と言われ、先祖返りのような珍しい現象で学術研究上貴重な木である。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。この存在によって、従来はなめらかな地形と考えられていた盆地の岩盤が、実はかなりの起伏に富んでいることがわかった。また糸魚川-静岡構造線の通過位置を知る貴重な手掛りでもある。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31	目通り周囲3.35m、樹高25.5m。推定樹齢300年。二次林の構成種としては稀に見る大木で、推定樹齢の割には樹形の均整がとれ、腐朽部が少なく旺盛な活力を維持している。大径木としては残りにくいカシワの中で巨樹として現存するのは珍しい。
市立大町山岳博物館のトキ標本 H4. 5. 19	トキは特別天然記念物であり、国際保護鳥として保護されてきたが、日本産のトキは絶滅した。このような状況下にあるトキの標本は大変に貴重なものである。市立大町山岳博物館のトキは大正8年(1919)11月、長野県大町岳陽高等学校のトキは大正6年(1917)11月にそれぞれ美麻で捕獲されたものである。
海ノ口のアカマツ(カサマツ) H5. 6. 25	樹形は単幹の傘形で、樹高18m、目通り周囲4.17m。樹齢は300年以上と推定される。まっすぐに伸びた樹幹は地上9.5mの位置で大枝に3分岐して、それが広がり傘形となっている。この樹形から地元の人々は「カサマツ(笠松)」と呼んで大切にしている。
中シマのモリアオガエル繁殖地 H6. 4. 28	モリアオガエルは樹上に泡状の卵塊を産む特異な生態をもつカエルで、産卵は梅雨期の雨の降る夜間に行われる。大町市のモリアオガエルの繁殖地は5カ所しかなく、特に中シマは比較的まとまった産卵が見られる貴重な繁殖地である。
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28	東西一対のカツラの木は、薬師堂の門木として大切にされてきた。市内最大のカツラと思われるが、均整のとれた樹形をもち田園風景の中にひととき目立っている。東幹は樹高20.5m、目通り周囲3.5m。西幹は樹高25.5m、目通り周囲4.1m。
西山西原のイチイ H7. 4. 26	イチイは別名アララギともいう。イチイがひととき目立つため、この木のあるリンゴ園は通称「アララギ園」と呼ばれている。樹高12.5m、目通り周囲2.95m。雌雄異株で、この木は雌木である。イチイは大木として残るものは極めて少なく貴重である。

大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26	大黒天の石像の脇に生育しており、「大黒様のシダレザクラ」と呼ばれ親しまれている。樹高8. 5m、目通り周囲3. 05m。推定樹齢は約150年で、石像の製作年代と重なる。シダレザクラでは市内最大のもの。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24	樹高29m、目通り周囲5. 1m。三日町分水集落の氏神である若宮八幡宮の御神木で、均整のとれた自然樹形を保っている。ヒノキは優良な建築用材であるために大径木として残るものは稀で貴重なものである。推定樹齢は400年以上。
西山城山のエドヒガン H9. 3. 24	樹高29m、根回り周囲5. 33mで、東西二幹に分かれたエドヒガンザクラ。西山城跡の急峻な北斜面に生息しており、谷側に向かって枝を張る自然樹形である。この樹を切ると山が崩れると言われ、これが大径木になった一因となっている。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25	単幹で均整のとれた傘形の樹冠を呈する、樹高12m、目通り周囲4. 65mのエドヒガンザクラ。推定樹齢は300年程で、戦前までこの地にあったお堂との関係が考えられる。地元には400年程前に遊行僧がこの樹を植えていったという伝承がある。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19	マメシジミは二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属する。小形の二枚貝で、殻長は3～5mmを測る。地域指定された姿見の池は、面積は1. 5㎡の小さなものである。本種は今のところ市内ではここだけに確認されている貴重種である。
大倉のイチイ H18. 3. 27	昭和8年(1933)に旧長野県天然記念物指定。昭和44年(1969)、県条例の全面改正により指定解除。坪庭に鉢植えたのが大木になったと伝えられ、伝承では樹齢約1,000年と言われている。目通り4. 73m、根周り4. 7m、高さ21. 3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27	水上神社の御神木。目通り6. 30m、根周り7. 67m、高さ53. 1m。伝承では樹齢750年余りと推定されている。「水上神社の小櫓と杉」の名称で昭和22年(1947)に旧長野県天然記念物指定。櫓は現在枯れて切り株のみが残る。
若栗のアオナシ H18. 3. 27	目通り周囲4. 31m、樹高16. 8m。成長に伴う融合性の枝幹、均整のとれた美しい立木。基部には洞が見られるが、近年保全対策も取られて樹勢も安定している。
[ 大町市天然記念物 ]	地域を定めず指定されているもの(種指定)。
大町市のヌマカイメン S62. 3. 2	かつては世界各地に広く分布していたが、開発や汚染などにより急速に姿を消しつつある淡水海綿の一種である。長野県下では大町市だけに生息し、希少かつ貴重な生物である。
大町市のカワシシユガイ S62. 3. 2	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水産二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」ともいえる貴重な生物。
大町市のキザキコミズシタダミ H13. 6. 27	キザキコミズシタダミは日本産ミズシタダミ科の希少種の1種に数えられている。カワシシユガイとともに氷河期の生き証人(遺存種)ともいえる貝である。国内では大町市にしか生息していないと考えられる貴重な固有種である。

## 【指定・登録文化財件数】

### ○国指定14件

国宝(建造物)1件、国重要文化財8件(建造物3件、美術工芸品5件)、国特別天然記念物(地域を定めず指定)2件、国天然記念物3件(このうち地域を定めず指定2件)

### ○国登録4件

国登録有形文化財(建造物)4件

### ○県指定28件

県宝8件(建造物4件、美術工芸品4件)、県史跡1件、県天然記念物16件(このうち地域を定めず指定11件)、県無形民俗文化財3件

### ○市指定80件

市有形文化財49件(建造物8件、美術工芸品41件)、市史跡6件、市天然記念物21件(このうち地域を定めず指定3件)、市民俗資料4件(有形2件、無形2件)

## 一般職業紹介の状況

年 度	求 職			求 人			紹介件数	就職件数
	新規求職 申込者数	うち常用	有効 求職者数 (延数)	新 規 求人数	うち常用	有効 求人数 (延数)		
平成28年度	2,809	2,373	9,803	5,146	3,558	14,563	2,814	1,046
29	2,628	2,253	9,301	5,210	4,012	14,363	2,498	988
30	2,438	2,126	9,020	5,569	4,181	15,755	2,203	886
令和元年度	2,547	2,344	9,326	4,942	3,870	14,023	2,468	880
2	2,612	2,387	11,339	3,959	3,025	11,028	2,426	836

資料：大町公共職業安定所

注) 1. 新規学校卒業者及び日雇の求職求人は含まない。  
2. 大町公共職業安定所管内の数値。

## 雇用保険失業給付の支給状況

年 度	求職者給付									
	うち一般求職者給付		うち高年齢求職者給付		うち特例一時金		日雇労働求職者給付			
	受給者数	金額	受給者数	金額	受給者数	金額	受給者数	金額		
人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
平成28年度	1,050	388,628	535	283,274	166	37,586	349	67,769	—	—
29	968	319,154	496	224,205	150	31,684	322	63,265	—	—
30	951	349,342	497	256,109	154	33,316	300	59,917	—	—
令和元年度	1,041	371,300	545	267,073	191	41,629	305	62,598	—	—
2	1,085	432,277	614	334,015	217	48,265	254	49,997	—	—

資料：大町公共職業安定所

注) 大町公共職業安定所管内の数値。

## 附属施設の利用状況

年 度	文化会館		コミュニ ティー センター (市民浴 場)	扇 沢 総合案内 センター	児童 センター	社会就労センター				
						年間就労者人員			年間支払工賃	
						総 数	施 設 内	施 設 外	施設内	施設外
令和2年度	件 44	人 8,493	人 52,624	人 7,181	人 12,132	人 279	人 279	人 -	千円 6,600	千円 -

年 度	体育研修 センター	女性未来館ピュア (平公民館含む)	サン・アルプス大町	フレンドプラザ大町	交流促進 センター 明日香荘	ふれあい センター さざなみ	ぽかぽか ランド美 麻			
令和2年度	人 821	件 1,695	人 14,387	件 355	人 8,050	件 83	人 1,449	人 22,099	人 16,028	人 38,988

年 度	美麻福祉企業センター				
	年間就労者人員			年間支払工賃	
	総数	施設内	施設外	施設内	施設外
令和2年度	人 237	人 237	人 -	千円 16,137	千円 -

資料：大町市体育協会・観光課・市民課・子育て支援課・福祉課・福祉事務所・

教育委員会・八坂支所・美麻支所

注) 年間就労者数は、各月の実績数の合計である。

## 業種別・主な事故の型別労働災害発生状況

業 種 主な事故の型	製造業	鉱 業	建設業	運輸貨物業	林 業	左記以外 の事業	合 計	構成比 (%)
	墜 落 ・ 転 落	6	-	11	4	1	12	34
転 倒	7	-	3	7	-	19	36	23.5
激 突	-	-	1	1	-	2	4	2.6
飛 来 ・ 落 下	3	-	-	-	-	-	3	2.0
崩 壊 ・ 倒 壊	1	-	-	1	-	1	3	2.0
激 突 さ れ	-	-	2	1	-	1	4	2.6
はさまれ・巻き込まれ	7	-	4	1	-	1	13	8.5
切 れ ・ こ す れ	6	-	3	-	-	15	24	15.7
感 電	-	-	-	-	-	-	0	0.0
交 通 事 故	-	-	-	1	-	6	7	4.6
無 理 な 動 作	3	1	1	3	-	10	18	11.8
上 記 以 外	2	-	-	-	-	5	7	4.6
合 計	35	1	25	19	1	72	153	100.0
構成比 (%)	22.9	0.7	16.3	12.4	0.7	47.1	100.0	

資料：大町労働基準監督署（労働者死傷病報告）

注) 1. 休業4日以上の労働災害

2. ( ) 内は死亡の内数



# 11. 社会・福祉

## 保 育 施 設

令和3年1月1日現在

名 称	所在地	開設年月日	児童 入所定員	建 物			屋外運動場
				総面積	保育室	その他	
			人	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
かえで保育園	大町2297-1	S28.3.16 (S51.4.1)	90	941.22	510.30	430.92	800.00
はなのき保育園	大町3504-9	S29.3.24 (H20.3改)	150	1,970.96	1,010.34	960.62	2,175.30
あすなる保育園	常盤3601-18	S37.10.1 (H29.6改)	180	1,815.40	938.00	877.40	1,613.00
しらかば保育園	平9365-3	S40.4.1 (H16.3改)	60	686.00	392.00	294.00	1,216.30
どんぐり保育園	社4682-26	S42.4.1 (H11.12改)	60	795.10	410.00	385.10	901.00
たけのこ保育園	八坂1073	H6.4.1	45	597.90	360.00	237.90	920.00
みあさ保育園	美麻11780-8	S61.4.1	45	460.42	151.69	308.73	3,074.58
くるみ保育園	大町5560-25	H23.4.1	110	1,489.58	629.93	826.23	1,765.00

資料：子育て支援課

## 保育園の入園児童の推移

各年3月31日現在

年 度	かえで保育園		はなのき保育園		あすなる保育園		しらかば保育園		どんぐり保育園	
	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	3歳未満児	総数	3歳未満児
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成28年度	534	124	1,303	359	1,459	384	493	83	523	166
29	469	108	1,284	396	1,560	480	378	93	572	183
30	—	—	1,542	476	1,538	417	345	78	439	127
31	—	—	1,512	435	1,644	411	244	141	452	129
令和2年度	—	—	1,487	478	1,657	402	303	147	415	152

年 度	くるみ保育園		たけのこ保育園		みあさ保育園	
	総数	3歳未満児	総数	3歳未満児	総数	うち 3歳未満児
	人	人	人	人	人	人
平成28年度	726	145	165	69	133	59
29	750	246	220	81	193	37
30	855	303	307	85	195	51
31	912	338	221	66	173	40
令和2年度	822	286	186	12	108	0

資料：子育て支援課

注) 1. 数値は1年間の延べ数。

2. もみのき保育園、こぶし保育園は平成23年3月31日に閉園。

3. かえで保育園は、平成30年4月1日から休園中

## 市民課窓口事務の処理状況

年 度	戸籍届出 申請受理数	戸籍謄抄本 証明書 交付数	住民異動 届出申請 受理件数	住民票の 写し交付数	印鑑証明 交付数	妊娠届 母子手帳 交付数	その他の 証明申請 受理数
	件	件	件	件	件	件	件
平成28年度	1,559	11,885	2,910	12,646	9,016	151	2,018
29	1,533	12,734	2,941	13,217	8,893	128	2,179
30	1,476	12,563	2,878	11,947	8,495	146	1,958
令和元年度	1,492	11,401	3,113	11,037	8,560	127	1,950
2	1,380	10,914	2,824	10,441	8,014	117	2,142

資料：市民課

## 国民健康保険被保険者数・決算状況

年 度	被 保 険 者		決 算 状 況			保 険 税	
	世帯数	人 数	歳入総額	歳出総額	決算剰余金	調定額	収入済額
	世帯	人	千円	千円	千円	千円	千円
平成28年度	4,441	7,145	3,851,238	3,713,541	137,697	570,598	545,290
29	4,315	6,818	3,766,522	3,547,528	218,994	559,406	535,440
30	4,164	6,542	3,163,530	3,131,467	32,063	535,558	518,331
令和元年度	4,052	6,352	3,028,455	3,007,278	21,177	515,250	499,145
2	4,012	6,207	2,934,390	2,909,486	24,904	710,703	488,884

資料：国民健康保険事業年報

注) 1 被保険者世帯数及び人数は年度平均

2 保険税は退職を含む現年度分(平成12年度からは介護分を含む)

## 国民健康保険給付状況

年 度	療養の給付		療 養 費		出産育児一時金 (助産費)	葬祭費	高額療養費
	件数	支出額	件数	支出額			
	件	千円	件	千円	千円	千円	千円
平成28年度	107,671	1,960,615	1,779	11,966	9,988	1,470	296,001
29	103,788	1,822,786	1,498	11,813	7,563	1,350	277,970
30	101,887	1,800,980	1,326	10,454	7,143	1,230	262,167
令和元年度	99,863	1,801,823	1,352	11,907	5,864	1,020	282,632
2	93,366	1,746,047	1,215	9,880	7,451	1,380	262,375

資料：国民健康保険事業年報

注) 1 療養の給付及び療養費、高額療養費は退職を含み、件数及び支出額は、第三者・返納金等を控除した数値

2 平成14年度の療養の給付は11ヶ月給付

## 福祉医療費特別給付金支給状況

年 度	乳幼児		心身障害者		精神障害者		母子・父子		合計	
	件数	支出額	件数	支出額	件数	支出額	件数	支出額	件数	支出額
	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
平成28年度	29,695	47,655	27,302	113,084	7,021	20,042	4,275	9,723	68,293	190,504
29	30,069	47,685	26,688	108,831	7,095	21,893	4,189	9,575	68,041	187,984
30	32,193	58,054	27,063	110,190	7,163	23,341	4,217	10,825	70,636	202,410
令和元年度	30,129	56,622	27,912	113,984	7,583	23,616	4,035	10,256	69,659	204,478
2	25,586	49,758	26,029	106,273	7,220	22,765	3,183	8,312	62,018	187,107

資料：市民課

注) 1. 老人福祉医療費は、平成20年度で制度廃止。対象者に22年度まで支給。

2. 乳幼児医療の対象年齢は以下のとおり拡大している。

平成24年4月「小学6年生まで」から「中学3年生まで」に拡大

令和2年4月「中学3年生まで」から「高校3年生まで」に拡大

## 老人福祉の状況

年 度	老人クラブ			要介護老人		生活支援ホームヘルプサービス		施設への入所		
	クラブ数	会員数	補助金 交付額	ひとり 暮らし 老人数	老 人 世帯数	対象 者数	サービ ス時間	計	養護 老人 ホーム	他市町 村養護 老人 ホーム
		人	円	人	世帯	人	時間	人	人	人
平成28年度	30	1,791	2,597,590	1,872	1,642	9	339.0	34	28	6
29	28	1,575	2,453,750	1,919	1,684	-	-	30	26	4
30	27	1,434	2,329,660	1,965	1,733	-	-	29	25	4
令和元年度	25	1,205	2,098,450	2,004	1,825	-	-	28	26	2
2	25	1,147	1,987,030	2,121	1,865	-	-	30	28	2

資料：福祉事務所

## 福祉施設の利用状況

年 度	総合福祉センター			ふれあいプラザ
	入 浴	セ ン タ ー		
		件	人	人
令和元年度	28,942	1,926	15,774	6,854
2	26,068	1,459	9,253	5,674

資料：福祉課

## 障害別身体障害者数の推移

年 度	総 数	視 覚	聴 覚 平 衡	音 声 言 語	上 肢 切 断	上 肢 機 能	下 肢 切 断	下 肢 機 能	体 幹	内 部（心 臓・腎臓 呼吸器・免疫・ 小腸・肝臓）	ろ う あ	ぼ う こ う 直 腸 機 能	そ し ゃ く 機 能
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成28年度	1,541	95	139	11	24	193	15	476	145	378	4	59	2
29	1,510	91	128	10	26	184	15	463	149	374	4	64	2
30	1,476	88	129	10	24	185	15	442	143	370	4	63	3
令和元年度	1,466	84	113	11	22	187	16	441	142	378	4	65	3
2	1,411	80	107	8	19	177	14	418	133	382	4	66	3

資料：福祉事務所

注）平成27年度、内部（小腸・肝臓）追加

## 知的障害者数の推移

年 度	総 数	施 設 入 所 者			在 宅 者		
		総 数	18歳以上	18歳未満	総 数	18歳以上	18歳未満
	人	人	人	人	人	人	人
平成28年度	298	51	49	2	247	193	54
29	303	48	46	2	254	199	55
30	312	51	50	1	261	213	48
令和元年度	317	52	51	1	265	219	46
2	314	32	32	—	282	237	45

資料：福祉事務所

## 生活保護状況の推移

年 度	保護実績（1ヶ月平均）		保 護 延 人 員						
	世 帯	人 員	総 数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他の 扶 助
	世帯	人	人	人	人	人	人	人	人
平成28年度	149	174	5,072	1,678	1,413	98	295	1,581	7
29	123	143	4,466	1,486	1,238	60	238	1,423	21
30	112	131	4,081	1,303	1,142	72	213	1,335	16
令和元年度	107	126	3,852	1,236	1,061	49	240	1,250	16
2	94	108	3,260	1,034	859	13	234	1,114	6

資料：福祉事務所

- 注）1. その他の扶助には生業、出産、葬祭、一時の各扶助を含む。  
 2. 保護人員の総数は各項に重複したものは除いてある。  
 3. 旧八坂村及び旧美麻村の保護費は、北安曇福祉事務所から支給。

## 生活保護費の推移

年 度	保		護					費	
	総 額		生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他の扶 助	施設事務費
	実 数	対前年比							
	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成28年度	344,227	108.7	80,268	20,423	1,178	7,319	166,679	565	67,794
29	277,302	80.6	68,921	17,832	715	4,217	116,980	355	68,282
30	256,067	92.3	54,101	16,825	734	2,464	118,779	284	62,880
令和元年度	284,337	111.0	47,062	15,179	365	2,152	159,575	273	59,731
2	230,359	81.0	39,532	12,415	128	1,928	111,554	152	64,650

資料：福祉事務所

注) 1. 旧八坂村、旧美麻村の保護費は、北安曇福祉事務所から支給のため数値不明。

## 共同募金の状況

年 度	目標額	募 金 実 績 額					目標達成率
		総 額	戸 別	法人個人大口	学校職域	その他	
	円	円	円	円	円	円	%
平成28年度	9,534,000	9,134,658	6,899,604	1,777,700	326,577	130,777	95.8
29	9,236,000	8,954,888	6,794,010	1,669,118	340,460	151,300	96.9
30	9,069,000	8,810,431	6,723,180	1,652,038	329,020	106,193	97.1
令和元年度	8,811,000	8,528,257	6,556,267	1,650,939	278,204	42,847	96.8
2	8,698,000	8,071,664	6,449,643	1,279,593	241,731	50,697	92.8

資料：共同募金会

注) 平成7年度より、一般共同募金と歳末たすけあい共同募金を一本化で実施

# 12. 保 健 衛 生

## 医療施設数・医療従事者数の推移

医療施設 各年4月1日現在  
医療従事者 隔年12月31日現在

年	医 療 施 設					医 療 従 事 者						
	病 院		診 療 所		歯 科 診 療 所	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師
	病院数	病床数	診療所数	病床数								
平成28年	1	278	29	26	11	54	18	39	39	12	242	43
29	1	278	30	9	11	…	…	…	…	…	…	…
30	1	278	30	9	11	56	17	43	27	16	262	36
31	1	199	29	9	11	…	…	…	…	…	…	…
令和2年	1	199	29	0	11	…	…	…	…	…	…	…

資料：大町保健所

## 主な死因別死亡者数の推移

死 因	年 次	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
		人	人	人	人	人
結 核		—	—	1	1	1
悪 性 新 生 物		109	85	116	95	114
糖 尿 病		2	3	4	5	4
高 血 圧 性 疾 患		2	3	1	2	1
心 疾 患		62	14	57	62	55
脳 血 管 疾 患		34	34	49	37	45
肺 炎		21	15	12	6	15
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患		7	8	5	3	5
胃 潰 瘍 及 び 十 二 指 腸 潰 瘍		2	—	1	1	—
肝 疾 患		2	3	3	2	6
腎 不 全		5	5	8	5	3
老 衰		30	46	42	37	38
不 慮 の 事 故		11	8	21	7	13
自 殺		1	7	3	3	6

資料：大町保健所

## 市立大町総合病院の利用状況（延数）

年 度	総 数	内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	形 成 外 科	歯 科 口 腔 外 科	訪 問 診 療
	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人
平成28年度	168	72	10	20	14	17	8	9	8	6	1	0	3	0
29	165	73	9	18	14	16	8	9	7	5	1	0	4	1
30	166	76	9	17	13	14	7	9	9	5	1	1	4	1
令和元年度	161	80	9	13	12	12	7	9	8	5	1	1	3	1
2	147	79	6	11	11	10	6	9	5	5	1	0	3	1

資料：市立大町総合病院

注) 入院、外来患者数を合算した数値である。

# 予防接種・検診等の状況

種 別	平成30年			令和元年			令和2年		
	対 象 人 員	実 施 人 員	実施率 %	対 象 人 員	実 施 人 員	実施率 %	対 象 人 員	実 施 人 員	実施率 %
三 種 混 合	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四 種 混 合	573	543	94.8	569	555	97.5	539	530	98.3
二 種 混 合	211	173	82.0	214	149	69.6	204	153	75.0
予 急 性 灰 白 随 炎 ( 生 ポ リ オ )	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急 性 灰 白 随 炎 ( 不 活 化 ポ リ オ )	-	4	-	-	1	-	-	-	-
日 本 脳 炎	888	866	97.5	911	773	84.9	880	730	83.0
防 風 し ん	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻 し ん	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻 し ん ・ 風 し ん 混 合 ( MR 1 期 )	141	138	97.9	136	124	91.2	142	143	100.7
麻 し ん ・ 風 し ん 混 合 ( MR 2 期 )	171	150	87.7	139	118	84.9	184	151	82.1
接 麻 し ん ・ 風 し ん 混 合 ( MR 3 期 )	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻 し ん ・ 風 し ん 混 合 ( MR 4 期 )	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B C G	143	130	90.9	143	132	92.3	134	132	98.5
ヒ ブ	572	527	92.1	572	537	93.9	536	536	100.0
種 小 児 用 肺 炎 球 菌	572	526	92.0	572	555	97.0	536	519	96.8
子 宮 頸 が ん	-	-	-	-	-	-	508	13	2.6
水 痘	282	266	94.3	272	259	95.2	284	280	98.6
B 型 肝 炎	429	408	95.1	429	402	93.7	402	379	94.3
検 大 町 市 国 保 特 定 健 康 診 査	4,699	2,297	48.9	4,576	2,242	49.0	4,564	2,070	45.4
胃 が ん 検 診 ( ハ ー リ ウ ム + 胃 カ メ ラ )	9,782	642	6.6	9,782	535	5.5	9,782	487	5.0
大 腸 が ん 検 診	9,782	1,420	14.5	9,782	1,353	13.8	9,782	1,298	13.3
乳 が ん 検 診	5,999	656	10.9	5,999	487	8.1	5,999	513	8.6
子 宮 頸 が ん 検 診	6,631	311	4.7	6,631	232	3.5	6,631	263	4.0
等 肺 が ん 検 診	9,782	2,273	23.2	9,782	3,990	40.8	9,782	1,854	19.0
再 掲 ) 胸 部 レ ン ト ゲ ン 検 診	9,782	2,177	22.3	9,782	2,204	22.5	9,782	1,786	18.3
前 立 腺 が ん 検 診	3,783	518	13.7	3,783	518	13.7	3,783	461	12.2

資料：民生部市民課

検診等の対象者数について

- 1.大町市国保特定健康診査は、40～74歳の被保険者数
- 2.平成20年度の大町市国保特定健康診査以外及び21年度の前立腺がん検診は、対象となる年代の市民の数
- 3.平成21年度以降の大町市国保特定健康診査以外(前立腺がんは22年度以降)は、厚生労働省通知に基づく推計対象者数(市区町村人口－(就業者数－農林水産従事者数))
- 4.平成26年10月から、水痘(水ぼうそう)ワクチンが導入
- 5.平成28年10月から、B型肝炎ワクチンが導入

## ごみ処理の状況

年 度	収集対象 世帯数	年間収集量				1日平均			焼却量 t
		可燃ごみ t	不燃ごみ t	総量 t	作 業 延人数 人	作業員 人	収集車両 延数 台	収集量 t	
平成28年度	11,801	4,715	81	4,796	6,938	27	13	18.8	7,481
29	11,808	4,645	79	4,725	6,718	26	13	18.6	7,417
30	11,817	4,500	85	4,585	5,622	28	14	22.1	9,672
令和元年度	11,861	4,452	78	4,530	5,392	26	13	22.0	11,557
2	11,877	4,245	80	4,325	5,326	26	13	21.2	11,057

資料：北アルプス広域連合、生活環境課

(記載内容についての説明)

1. 収集対象世帯数 (4月1日現在の広報おまち掲載世帯数)
2. 年間収集量 (計量データ)
3. 作業延人数 (年間収集車稼働台数×1台あたりの作業人数2人)
4. 1日平均作業員 (1日平均収集車両延べ数×1台あたりの作業人数2人)
5. 1日平均収集車両延べ数 (年間収集車稼働台数÷年間収集日数)
6. 1日平均収集量 (年間収集量÷年間収集日数)
7. 焼却量 (焼却データ)
8. 北アルプスエコパークは平成30年4月から試運転 (大町市のごみを受け入れ)
9. 平成30年8月1日から本格稼働で大町市、白馬村、小谷村のごみを受け入れ

## し尿処理の状況

年 度	施設処理	
	収 集 量 t	処 理 量 t
平成28年度	9,398	10,747
29	8,949	10,504
30	9,031	10,324
令和元年度	9,053	10,082
2	8,379	9,018

資料：生活環境課 注) 合併前は、旧大町市の数値である。

## 狂犬病予防法による犬の登録及び注射状況

年 度	登 録 頭	注 射 頭
平成28年度	1,705	1,519
29	1,506	1,410
30	1,421	1,297
令和元年度	1,341	1,230
2	1,277	1,167

資料：生活環境課



## 公害苦情処理件数

年 度	総 数	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	悪 臭	振 動	地 盤 沈 下	産 業 廃 棄 物	一 般 廃 棄 物	日 照 権	通 風 権	電 波 障 害	そ の 他
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
平成28年度	12	2	3	—	—	5	—	—	2	—	—	—	—	—
29	8	1	5	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
30	7	—	2	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	2
令和元年度	4	—	—	—	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—
2	3	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：生活環境課

## 北アルプス広域葬祭場の利用状況

区 分		死 者		死 胎	動 物
		12歳以上	12歳未満		
平成28年度	総 数	568	1	11	322
	市 内	403	—	9	159
	圏 内	145	—	2	157
	圏 外	20	1	—	6
平成29年度	総 数	558	3	6	357
	市 内	396	2	3	173
	圏 内	139	—	2	178
	圏 外	23	1	1	6
平成30年度	総 数	544	1	7	373
	市 内	372	1	3	173
	圏 内	145	—	3	196
	圏 外	27	—	1	4
令和元年度	総 数	536	1	3	348
	市 内	381	—	2	169
	圏 内	135	1	1	164
	圏 外	20	—	—	15
令和2年度	総 数	559	—	1	357
	市 内	377	—	1	176
	圏 内	158	—	—	166
	圏 外	24	—	—	15

資料：北アルプス広域連合

## 主要道路

道路番号	種 別	路 線 名	市域内区間（起点～終点）
19	一般国道	1 9 号	大 町 市 八 坂 瀬 口 ～ 大 町 市 八 坂 柵 沢
147	〃	1 4 7 号	大 町 市 大 黒 町 ～ 松 川 村 境
148	〃	1 4 8 号	〃 ～ 白 馬 村 境
031	主要地方道	長 野 大 町 線	小 川 村 境 ～ 大 町 市 大 黒 町
033	〃	白 馬 美 麻 線	白 馬 村 境 ～ 大 町 市 美 麻 青 具
045	〃	扇 沢 大 町 線	扇 沢 ～ 大 町 市 俵 町
051	〃	大 町 明 科 線	大 町 市 旭 町 ～ 池 田 町 境
055	〃	大 町 麻 績 イ ン タ ー 千 曲 線	大 町 市 旭 町 ～ 生 坂 村 境
306	一般県道	有 明 大 町 線	松 川 村 境 ～ 大 町 市 下 仲 町
324	〃	青 具 築 場 停 車 場 線	大 町 市 美 麻 青 具 ～ 築 場 駅
325	〃	白 馬 岳 大 町 線	大 町 市 大 谷 原 ～ 大 町 市 木 崎
326	〃	槍 ケ 岳 線	大 町 市 七 倉 ～ 大 町 市 大 黒 町
334	〃	大 平 大 峰 沓 掛 線	大 町 市 宮 本 ～ 大 町 市 沓 掛
393	〃	小 島 信 濃 木 崎 ( 停 ) 線	長 野 市 境 ～ 信 濃 木 崎 駅
394	〃	川 口 大 町 線	長 野 市 境 ～ 大 町 市 三 日 町
469	〃	舟 場 矢 下 線	大 町 市 八 坂 舟 場 ～ 大 町 市 八 坂 矢 下
474	〃	信 濃 大 町 停 車 場 線	大 町 市 仁 科 町 ～ 大 町 市 大 黒 町
496	〃	あ づ み の 公 園 大 町 線	大 町 市 須 沼 ～ 大 町 市 西 原
497	〃	美 麻 八 坂 線	大 町 市 美 麻 矢 久 大 町 市 八 坂 梨 平

資料：長野国道事務所信州新町出張所・大町建設事務所

注) 1. 国道重用分を除いた数値

2. 区間（起点～終点）は合併に伴う表示変更後の表記とする

## 橋 梁 数

令和2年4月1日現在

種 別	橋 梁		内永久橋		内木橋	
	数	延 長	数	延 長	数	延 長
一 般 国 道	18	973.6	18	973.6	—	—
主 要 地 方 道	59	1,335.6	59	1,335.6	—	—
一 般 県 道	79	2,525.2	79	2,525.2	—	—
合 計	156	4,834.4	156	4,834.4	—	—

資料：長野国道事務所・大町建設事務所

令和2年4月1日現在

市域内延長	左 の 内 訳		
	改 良 済	未 改 良	
5,048.0 m	5,048.0 m	—	m
9,675.0	9,675.0	—	
13,798.8	13,798.8	—	
16,864.8	16,864.8	—	
3,775.9	3,775.9	—	
15,109.6	15,109.6	—	
6,351.2	6,351.2	—	
11,559.6	10,912.0	647.6	
13,621.7	13,513.4	108.3	
5,248.8	1,589.9	3,658.9	
12,084.1	11,043.7	1,040.4	
15,763.5	15,763.5	—	
1,552.6	1,552.6	—	
14,971.1	10,062.9	4,908.2	
8,333.4	7,918.6	414.8	
9,270.6	7,683.9	1,586.7	
1,448.8	1,448.8	—	
2,021.5	2,021.5	—	
15,464.4	12,578.4	2,886.0	

## 主 要 河 川

令和2年10月1日現在

河 川 名	延 長		流域面積	
	総 延 長	市域内延長	本川流域面積	市域内面積
	km	km	km <sup>2</sup>	km <sup>2</sup>
高 瀬 川	47.4	35.2	175.4	141.4
鹿 島 川	18.7	18.7	49.1	49.1
箆 川	11.2	11.2	39.6	39.6
乳 川	18.5	10.0	80.7	59.1
農 具 川	17.2	17.2	59.7	58.9
犀 川	62.0	11.4	413.1	10.1
金 熊 川	18.7	17.0	51.3	41.6
土 尻 川	28.4	7.2	61.1	19.6
藤 沢 川	2.9	2.9	5.6	5.6
片 岡 沢 川	3.0	3.0	7.6	7.6

資料：大町建設事務所

# 幅員別の道路状況

令和2年4月1日現在

道路別	実延長	幅員別内訳（車道）			自動車交通 不能区間	路面別内訳	
		改良済		未改良		未舗装	舗装済
		5.5m以上	5.5m未満				
	m	m	m	m	m	m	m
国道	28,521.8	28,521.8	—	—	—	—	28,521.8
県道	153,441.6	111,843.6	26,347.1	15,250.9	1,264.7	—	153,441.6
主要地方道	53,661.1	52,027.3	986.2	647.6	—	—	53,661.1
一般県道	99,780.5	59,816.3	25,360.9	14,603.3	1,264.7	—	99,780.5
市道	823,763.0	99,998.4	225,257.1	498,507.5	184,610.8	247,103.1	576,659.9
1級市道	120,926.5	48,442.0	43,681.6	28,802.9	5,642.9	7,390.2	113,536.3
2級市道	114,292.4	11,620.5	42,607.8	60,064.1	10,586.2	16,159.7	98,132.7
その他の市道	588,544.1	39,935.9	138,967.7	409,640.5	168,381.7	223,553.2	364,990.9

資料：長野国道事務所信州新町出張所、大町建設事務所、建設課

## 都市計画区域

指定年月日	面積
平成6年8月29日	8,490 ha

資料：建設課

## 地域地区

地域地区	内 訳			摘 要
	名 称	面積（延長）	指定年月日	
準防火地域		135.0 ha	S34. 10. 1	
風致地区	木崎湖風致地区（第1・2種）	598.0 ha	S40. 3. 19	1種528ha、2種70ha
	青木湖風致地区（第1種）	455.0 ha		
	日向山風致地区（第1種）	103.0 ha		

資料：建設課

## 都市計画用途地域

(当初決定年月日 昭和48年10月15日 最新決定年月日 平成26年6月30日)

	第一種低層住居専用地域			第二種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	合計 約838
	約66	約63	小計 約129	約5	約175.5	約33	約169.5	約89	約35	約3.5	約19	約93	約19	約67	
面積 (ha)	約66	約63	小計 約129	約5	約175.5	約33	約169.5	約89	約35	約3.5	約19	約93	約19	約67	合計 約838
容積率 (%)	60	80	—	80	200	200	200	200	200	200	400	200	200	200	
建ぺい率 (%)	40	50	—	50	60	60	60	60	60	80	80	60	60	60	
道路斜線	1.25	1.25	—	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
隣地斜線	1.25	1.25	—	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	
建築物の高さ (m)	10	10	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

資料：建設課

## 都市計画区域内の用途地域の指定のない区域

(決定年月日 H16.3.4 施行日 H16.5.1)

	平坦部地区	山間部地区	大町温泉郷地区
面積(ha)	2,053	4,423	約20
容積率(%)	200	100	300
建ぺい率(%)	60	60	70
道路斜線	1.25	1.25	1.5
隣地斜線	1.25	1.25	2.5

資料：建設課

## 建築確認申請の状況

年次	総数	新築	増築	改築	移転	増改築	修繕	用途変更	工作物
平成28年	116	100	11	1	—	—	—	1	3
29	138	109	14	4	1	—	—	—	10
30	122	102	16	—	—	—	—	1	3
令和元年	163	130	24	—	—	—	—	1	8
2	122	96	13	—	—	—	—	—	13

資料：建設課

注1) 民間確認検査機関で確認を行ったものを含む。

注2) 計画変更及び除却届は含まない。

# 都 市 施 設

都 市 施 設		内 訳			
		名 称	面 積・延 長	最 新 決 定 年 月 日	当 初 決 定 年 月 日
都 市 公 園	3・3・1	西公園（近隣公園）	3.0 ha	昭和 48年 3月 5日	昭和 43年 9月 16日
	3・3・2	大町文化公園（近隣公園）	3.1	平成 1 . 3 . 20	62 . 2 . 26
	4・4・1	大町公園（地区公園）	4.6	13 . 2 . 9	59 . 7 . 2
	6・5・1	大町運動公園（運動公園）	18.9	11 . 6 . 28	48 . 3 . 5
	1号	高瀬溪谷緑地公園（都市緑地）	3.4	昭和 59 . 7 . 2	59 . 7 . 2
	2号	大町駅前広場公園（都市緑地）	0.1	63 . 12 . 6	63 . 12 . 6
	9・6・1	アルプスあづみの公園（国営公園）	232.6	平成 27 . 3 . 12	平成 2 . 11 . 19
	3・3・3	やしろ公園（近隣公園）	1.8	3 . 10 . 3	3 . 10 . 3
公 共 下 水 道	汚 水	大町市公共下水道（大町処理区）	821.0 ha	令和 2 . 1 . 20	平成 2 . 12 . 17
		大町市特定環境保全公共下水道（常盤処理区）	422.0	平成 23 . 5 . 13	6 . 12 . 15
		大町市特定環境保全公共下水道（仁科三湖処理区）	40.2	令和 2 . 1 . 20	22 . 3 . 17
	雨 水	農具川右岸第4排水区	447.0 ha	平成 25 . 12 . 24	平成 25 . 12 . 24
都 市 計 画 街 路	3・3・1	白塩北原線	1,080 m	平成 13 . 3 . 1	昭和 38 . 10 . 18
	3・3・2	館の内借馬線	4,440	13 . 3 . 1	26 . 6 . 30
	3・4・4	中央通り線	4,670	21 . 12 . 17	26 . 6 . 30
	3・4・5	若宮駅前線	1,130	21 . 12 . 17	26 . 6 . 30
	3・4・6	桜田町俵町線	2,200	21 . 12 . 17	38 . 10 . 18
	3・5・7	曾山観音橋線	3,170	13 . 3 . 1	26 . 6 . 30
	3・5・8	三日町犬ノ窪線	4,540	23 . 3 . 3	38 . 10 . 18
	3・5・9	相生町野口線	2,950	21 . 12 . 17	26 . 6 . 30
	3・5・10	東町線	2,140	13 . 3 . 1	26 . 6 . 30
	3・4・12	あづみの公園大町線	2,050	13 . 3 . 1	平成 9 . 3 . 6
		駅前交通広場	3,500 m <sup>2</sup>	13 . 3 . 1	昭和 26 . 6 . 30
駐 車 場		木崎湖駐車場	0.28 ha	昭和 55 . 3 . 1	昭和 55 . 3 . 1
処 理 施 設		大町市環境プラント（ごみ焼却場）休止中・ 大町市クリーンプラント（し尿等処理場）	1.73	平成 6 . 12 . 12	平成 6 . 12 . 12

資料：建設課、上下水道課、生活環境課

# 14. 水道・ガス

## 大町市水道事業普及状況

年度	給水区域内		現在給水		普及率	
	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
	戸	人	戸	人	%	%
平成28年度	10,847	25,960	10,847	25,960	100.0	100.0
29	10,847	25,518	10,847	25,518	100.0	100.0
30	10,899	25,150	10,899	25,150	100.0	100.0
令和元年度	10,926	24,878	10,926	24,878	100.0	100.0
2	10,968	24,562	10,968	24,562	100.0	100.0

資料：上下水道課

## 大町市公営簡易水道事業普及状況

年度	給水区域内		現在給水		普及率	
	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
	戸	人	戸	人	%	%
平成28年度	756	1,805	735	1,761	97.2	97.6
29	748	1,760	728	1,722	97.3	97.8
30	741	1,708	721	1,690	97.3	98.9
令和元年度	745	1,680	727	1,655	97.6	98.5
2	735	1,640	717	1,604	97.6	97.8

資料：上下水道課

## 大町市水道事業配水量の推移

年度	年間配水 総量	1日最大配水量		1日 平均 配水量	1日1人 最大 配水量	1日1人 平均 配水量	有効水量		無効水量	有収水量 比率	有効水量 比率
		月日	水量				有収水量	無収水量			
	km <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	総m <sup>3</sup>	総ℓ	総ℓ	km <sup>3</sup>	km <sup>3</sup>	km <sup>3</sup>	%	%
平成28年度	3,942	8. 2	13,167	10,799	507	416	2,794	86	1,059	70.9	73.1
29	4,021	12.31	12,499	11,014	490	432	2,757	55	1,209	68.6	69.9
30	4,042	8. 3	12,754	11,074	507	440	2,712	50	1,279	67.1	68.3
令和元年度	3,894	8.13	11,935	10,641	480	428	2,630	69	1,195	67.5	69.3
2	3,853	8.19	11,718	10,555	477	430	2,662	49	1,141	69.1	70.4

資料：上下水道課

## 大町市公営簡易水道事業配水量の推移

年度	年間配水 総量	1日 最大 配水量	1日 平均 配水量	1日1人 最大 配水量	1日1人 平均 配水量	有効 (有収) 水量	無効水量	有効水量 比率
	km <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	総ℓ	総ℓ	km <sup>3</sup>	km <sup>3</sup>	%
平成28年度	362	1,076	991	611	563	226	136	62.4
29	355	1,122	974	652	566	199	156	56.1
30	398	1,331	1,091	787	646	191	207	48.0
令和元年度	370	1,170	1,011	707	611	186	184	50.3
2	346	1,138	948	709	591	174	172	50.3

資料：上下水道課

# 大町市水道事業用途別栓数と給水量

年度	総数		一般家庭用		工場・病院用		湯屋用		その他	
	栓数	年間給水量	栓数	年間給水量	栓数	年間給水量	栓数	年間給水量	栓数	年間給水量
平成28年度	13,260	2,794	11,306	2,055	19	68	—	—	1,935	671
29	13,917	2,756	11,814	2,028	21	38	—	—	2,082	689
30	13,392	2,712	11,414	2,002	19	65	—	—	1,959	645
令和元年度	13,430	2,630	11,438	1,958	19	63	—	—	1,973	609
2	13,506	2,662	11,506	2,022	18	63	—	—	1,982	577

資料：上下水道課

## 大町市水道事業水源施設状況

(令和2年度末)

水源名	配水池	源水の種別	計画取水量 m <sup>3</sup> /日
上白沢	第2	湧水	2,673.0
矢沢	源汲、犬の窪、猫塚、第1、第3、稲尾 常盤高区、常盤中区、常盤低区	〃	6,592.0
居谷里	三日町、松崎、曾根原、宮本	〃	3,162.0
白沢	白沢高区、白沢低区	〃	460.0
崩沢	崩沢	〃	廃止(予定)
南平	南平	〃	予備水源(予定)

資料：上下水道課

## 大町市公営簡易水道事業水源施設状況

水源名	配水地	源水の種別	取水能力 m <sup>3</sup> /日
宮の尾第1	鷹狩山、切久保、学校上第1、 学校上第2、明野、相川、 一の瀬、笹尾	湧水	104.5
宮の尾第2		〃	104.5
宮の尾第3		〃	104.5
宮の尾中央		〃	104.5
土林		〃	147.0
藤尾	菖蒲、竹箆、菅の窪、二滝	〃	83.0
東部第1	布川、地志原、舟場高区、 舟場低区、栃沢	〃	100.0
東部第2		〃	99.0
曾山	曾山	〃	7.0
大塩	大塩	深井戸水	96.0
二重	二重低区、二重高区、湯の海	〃	62.0
新行第1	新行	湧水	89.0
新行第2		〃	89.0
新行第3		浅井戸水	88.0
青具第1	青具	湧水	103.0
青具第2		〃	4.0
魚の京	藤、花尾、三百地、中の崎	〃	予備水源(予定)
産屋沢	石原、峠	〃	43.0

資料：上下水道課



## 都市ガスの需要状況

年 度	製造量	供給戸数	使 用 量			
			総 量	家庭用	商業用	その他
	m <sup>3</sup>	戸	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成28年度	393,143	1,580	384,307	205,329	109,602	69,376
29	413,844	1,573	404,796	212,238	114,604	77,954
30	386,020	1,558	376,401	195,781	105,283	75,337
令和元年度	385,274	1,569	373,385	196,701	101,312	75,372
2	377,785	1,558	368,625	203,079	92,078	73,468

資料：大町ガス(株)

## 15. 運 輸 ・ 通 信

### 信濃大町駅乗車人員の推移（1日平均）

（単位：人）

駅 名	平成28年度	29	30	令和元年度	2
信濃大町駅	1,301	1,283	1,236	1,234	1,015

資料：JR東日本長野支社

### 有線放送の利用状況

年 度	電話設置台数	放送設備 設置台数	1日平均 通話数	1日平均 放送件数
	台	台	回	件
平成28年度	2,476	101	210	39.0
29	2,427	107	201	42.5
30	2,369	112	187	44.7
令和元年度	2,299	121	164	49.3
2	2,234	126	162	45.9

資料：大町市有線放送電話農業協同組合

# 自動車の保有台数

年 度		貨 物		乗 合	乗 用		小 計	被けん引
		普通車	小型車		普通車	小型車		
平成28年度	自家用	545	1,125	67	4,848	5,988	12,573	9
	営業用	134	13	76	11	47	281	3
29	自家用	548	1,095	66	4,910	5,837	12,456	10
	営業用	141	13	77	9	49	289	3
30	自家用	564	1,118	75	4,931	5,685	12,373	9
	営業用	144	15	75	10	51	295	3
令和元年度	自家用	568	1,112	75	5,038	5,502	12,295	9
	営業用	144	15	78	13	48	298	3
2	自家用	...	...	...	...	...	...	...
	営業用	...	...	...	...	...	...	...

資料:長野県自動車販売店協会、税務課

各年3月31日現在(単位:両)

特 用 途 車	種 大 特 殊 車	型 小 型 二 輪	※ 軽 自 動 車				※ 小 型 特 殊 車 (農 耕 用)	※ 原 付 自 転 車	
			四 輪		三 輪	二 輪		第 一 種	第 二 種
			乗 用	貨 物					
431	318	466	7,212	4,954	-	416	1,960	1,408	347
27	-	-	-	57	-	-	-	-	-
438	322	458	7,254	4,900	-	430	1,908	1,326	339
29	-	-	-	62	-	-	-	-	-
439	325	450	7,299	4,852	-	435	1,885	1,240	339
29	-	-	-	62	-	-	-	-	-
434	324	442	7,281	4,826	-	429	1,830	1,144	344
31	-	-	-	61	-	-	-	-	-
...	...	...	7,285	4,816	-	433	1,784	1,075	353
...	...	...	-	63	-	-	-	-	-

※は課税対象台数

# 16. 金融・市民生活

## 金融機関の預金・貸出残高状況

各年9月30日現在

年次	預金残高 千円	貸出残高 千円
平成28年度	96,329,854	33,076,051
29	99,938,960	34,712,856
30	143,264,227	52,338,172
令和元年度	146,352,808	51,519,182
2	150,690,057	54,802,466

資料：市内金融機関

八十二銀行大町支店、長野銀行大町支店、長野県信用組合大町支店、  
長野県労働金庫大町支店、松本信用金庫大町支店

## 消費者物価指数《年平均》

年次	市別	総合	食料	住居	光熱・水道	家事用品	家具	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成28年	長野市	99.7	101.5	100.3	92.6	97.4	101.1	102.3	98.0	101.8	100.8	101.2	
	全国	99.9	101.7	99.9	92.7	99.6	101.8	100.9	98.0	101.6	101.0	100.7	
29	長野市	100.6	102.2	100.3	95.9	98.3	103.8	103.2	98.4	103.1	101.8	101.5	
	全国	100.4	102.4	99.7	95.2	99.1	102.0	101.8	98.3	102.2	101.3	100.9	
30	長野市	101.8	103.6	100.3	99.9	99.1	105.8	104.5	99.9	104.4	102.2	102.2	
	全国	101.3	103.9	99.6	99.0	98.0	102.2	103.3	99.6	102.7	102.1	101.4	
令和元年	長野市	102.7	105.5	100.1	102.6	102.2	105.8	105.1	99.6	103.3	104.2	101.8	
	全国	101.8	104.3	99.8	101.3	100.2	102.6	104.0	99.0	101.1	103.8	101.4	
2	長野市	102.9	107.3	101.1	100.5	102.5	107.7	105.6	99.4	98.3	103.8	99.1	
	全国	101.8	105.8	100.4	98.8	102.5	103.7	104.3	98.8	93.2	103.1	99.3	

資料：県総合政策課

平成27年基準＝100

## 制度資金の利用状況

事 項	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額
	件	万円	万円	件	万円	万円	件	万円	万円	件	万円	万円
県中小企業制度資金	17	9,445	9,445	4	1,425	1,425	13	13,503	13,503	10	17,250	17,250
市中小企業制度資金	54	26,856	26,856	34	23,108	23,108	39	18,687	18,687	287	349,197	349,197

資料：北アルプス地域振興局、商工労政課

## 一人当たりの市民所得

	市町村民所得（分配）	10月1日現在人口	一人当たり 市町村民所得
	100万円	人	100万円
平成29年度	90,475	27,203	3.3
平成30年度	93,042	26,820	3.5

資料：企画財政課

注1) 10月1日現在人口は「毎月人口異動調査」数値

注2) 前年度公表後に確定した統計値を使用して遡及改訂を行っているため、過去の公表値と異なる場合があります。

## 産業別市町村内総生産

(単位：100万円)

区 分	総 生 産	
	平成29年	平成30年
1 農 林 水 産 業	2,703	2,816
2 鉱 業	23	22
3 製 造 業	27,077	48,275
4 電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	8,493	8,598
5 建 設 業	4,908	3,895
6 卸 売 ・ 小 売 業	6,409	6,645
7 運 輸 ・ 郵 便 業	3,331	3,133
8 飲 食 ・ サ ー ビ ス 業	5,842	5,743
9 情 報 通 信 業	△ 80	△ 372
10 金 融 ・ 保 険 業	4,026	4,892
11 不 動 産 業	14,709	14,612
12 専 門 ・ 科 学 技 術 ・ 業 務 支 援 サ ー ビ ス 業	4,353	4,365
13 公 務	7,400	7,409
14 教 育	5,260	5,402
15 保 健 衛 生 ・ 社 会 事 業	11,651	12,344
16 その他のサービス	5,650	5,803
17 小計（1～16）	111,756	133,582
18 輸入品に課される税・関税	1,766	2,258
19 （控除）総資本形成に係る消費税	1,160	1,560
20 市町村内総生産（17+18-19）	112,362	134,281

資料：企画財政課

注) 前年度公表後に確定した統計値を使用して遡及改訂を行っているため、過去の公表値と異なる場合があります。

# 市町村民所得・可処分所得の分配

(単位：100万円)

項 目	平成 29 年	平成 30 年
1. 雇用者報酬	57,539	58,773
(1) 賃金・俸給	49,833	50,989
(2) 雇主の社会負担	7,706	7,784
a. 雇主の現実社会負担	7,071	7,135
b. 雇主の帰属社会負担	636	649
2. 財産所得(非企業部門)	4,310	4,378
a. 受 取	5,754	5,952
b. 支 払	1,444	1,574
(1) 一般政府	△ 69	△ 8
a. 受 取	1,275	1,484
b. 支 払	1,344	1,491
(3) 家 計	4,309	4,293
① 利 子	755	887
a. 受 取	845	954
b. 支 払	90	67
② 配当(受取)	835	744
③ 保険契約者に帰属する財産所得	2,092	2,032
④ 賃貸料(受取)	626	631
(2) 対家計民間非営利団体	70	93
a. 受 取	81	108
b. 支 払	11	15
3. 企業所得(法人企業の分配所得受払後)	19,537	20,517
(1) 民間法人企業	8,343	9,181
a. 非金融法人企業	7,007	7,410
b. 金融機関	1,336	1,771
(2) 公的企業	771	866
a. 非金融法人企業	525	639
b. 金融機関	246	228
(3) 個人企業	10,424	10,470
a. 農林水産業	812	673
b. その他の産業(非農林水・非金融)	2,322	2,585
c. 持ち家	7,290	7,211
4. 市町村民所得(要素費用表示)(1+2+3)	81,387	83,668
5. 生産・輸入品に課される税(控除)補助金	9,088	9,374
6. 市町村民所得(市場価格表示)(4+5)	90,475	93,042

資料：企画財政課

注) 前年度公表後に確定した統計値を使用して遡及改訂を行っているため、過去の公表値と異なる場合があります。

## 消防施設と人員

年 度	施 設											人 員				
	自 動 消 防 車	指 令 車	査 察 車	積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	自 動 救 急 車	警 鐘 楼	防 火 水 槽		消 火 栓	器 具 置 場	消 防 団		消 防 本 部 署		
								個 所	基			定 数	実 数	定 数	実 数	
平成28年度	13	2	2	23	42	2	56	211	14	1,474	194	45	769	694	46	46
29	2	1	1	23	42	2	56	211	14	1,474	194	45	769	...	—	46
30	2	1	1	23	42	2	56	235	14	1,474	194	45	769	649	—	50
令和元年度	2	1	1	23	42	2	56	240	14	1,474	194	45	769	659	—	50
2	2	1	1	23	42	2	56	240	14	1,474	194	45	769	655	—	50

資料：北アルプス広域消防本部

注) 1. ( ) は私設の消防施設。

2. 警鐘楼はホース乾燥施設も含む。

3. 積載車は小型ポンプ付である。

4. 大町市については大町消防団と北アルプス広域大町消防署の合算数値。

## 救急出動及び搬送状況

年 次	出 動 件 数										搬 送 人 員		
	総 数	交 通	急 病	運 動 競 技	一 般 負 傷	労 働 災 害	自 損 行 為	水 難 火 災	加 害	転 院 ・ そ の 他	総 数	男	女
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	人	人	人
平成28年	3,379	175	1,905	24	663	66	17	5	9	515	3,251	1,720	1,531
29	3,516	204	1,893	65	690	100	23	4	10	494	3,372	1,768	1,604
30	3,497	208	1,924	54	680	77	19	4	11	496	3,370	1,842	1,528
令和元年	3,457	183	1,948	33	693	33	22	9	9	527	3,319	1,797	1,522
2	2,964	168	1,663	8	608	31	11	8	4	463	2,871	1,538	1,333

資料：北アルプス広域消防本部

注) 数値は、大町消防署・北部消防署・南部消防署の合算数値である。

## 出火原因別の出火件数

年 次	総 数	た ば こ	火 あ そ び	た き 火	こ ん ろ	( 疑 含 ) 放 火	風 呂 か ま ど	ス ト ー プ	煙 突 ・ 煙 道	電 灯 ・ 配 線	交 通 機 関	( 調 査 中 ) 不 明	そ の 他
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
平成28年	10	—	—	1	1	1	2	—	1	—	—	3	1
29	15	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	3
30	9	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	2	6
令和元年	9	1	—	—	1	1	—	—	—	—	1	2	3
2	12	—	—	3	—	1	—	—	1	—	—	2	5

資料：北アルプス広域消防本部

## 火災の発生件数・焼失面積と損害額等

年次	火災件数					焼損面積		死傷者数		損害額 千円
	総数	建物	林野	車両	その他	建物 ㎡	林野 a	死者 人	負傷者 人	
平成28年	10	9	—	1	—	734	—	1	1	23,867
29	6	6	—	—	—	483	—	—	2	19,433
30	9	6	1	—	2	785	228	1	1	39,263
令和元年	9	5	1	3	—	378	8	2	—	10,613
2	12	5	—	1	6	478	—	—	2	80,566

資料：北アルプス広域消防本部

## 山岳遭難事故の状況

原因別	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
発生件数	63 件	74 件	79 件	80 件	46 件
死亡者	4 人	9 人	11 人	5 人	5 人
救出された者（うち負傷者）	67 (32)	74 (44)	72 (40)	84 (53)	44 (28)
行方不明の者	2	2	1	—	1
総数	73	85	84	89	50
転落・滑落・転倒	32	40	40	48	23
雪崩	—	3	1	3	3
落石・崩落	—	2	1	1	2
道迷い	16	23	9	6	5
病気	5	6	7	7	3
疲労・凍死傷	9	3	12	4	5
原因不明・その他	7	8	14	11	5

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値である。



## 交通違反

年次	総数	
	実数	対前年比
	件	%
平成28年	1,092	…
29	1,089	99.7
30	703	64.6
令和元年	696	99.0
2	635	91.2

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値

## 交通事故

年次	死傷者			事故件数			
	総数	死者	傷者	総数	自動車	二輪車(含原付)	その他の車
	人	人	人	件	件	件	件
平成28年	234	4	230	177	155	7	15
29	260	5	255	190	170	6	14
30	218	3	215	153	130	8	15
令和元年	203	1	202	150	118	2	27
2	142	3	139	117	97	1	18

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値

## 刑法犯罪の発生件数と検挙件数

年次	区分	総数	凶悪犯				一般犯				
			殺人	強盗	放火	強制性交	暴行傷害	窃盗	詐欺	横領	その他 刑法犯
平成28年	発生	262	—	—	1	—	16	192	8	—	45
	検挙	145	—	—	1	—	17	103	4	—	20
29	発生	284	1	—	—	—	12	220	6	—	45
	検挙	102	1	—	—	—	12	76	2	—	11
30	発生	288	1	—	—	—	17	212	42	—	16
	検挙	183	1	—	—	—	16	113	51	—	2
令和元年	発生	287	—	—	—	—	8	241	8	1	28
	検挙	145	—	—	—	—	6	125	3	1	9
2	発生	203	—	—	—	—	12	155	8	—	24
	検挙	112	—	—	—	—	13	85	2	—	10

資料：大町警察署 注) 1. 大町警察署管内の数値である。

2. その他刑法犯には、強制わいせつ、偽造、恐喝、脅迫等を含む。

## 民事事件の推移

(単位：件)

年次	総数			訴訟事件			督促事件			民事調停事件			その他の事件		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成28年	162	162	11	48	47	9	71	71	—	5	6	2	38	38	—
29	185	184	12	49	49	9	88	87	1	9	9	2	39	39	—
30	125	126	11	34	34	9	61	62	—	5	5	2	25	25	—
令和元年	132	128	15	37	39	7	55	55	—	16	10	8	24	24	—
2	136	147	4	36	39	4	59	59	—	8	16	—	33	33	—

資料：最高裁判所「裁判統計データベース」

注) 1. 数値は、大町簡易裁判所の取扱件数である。

2. 令和2年の数値は概数である。

3. 訴訟事件の内訳

通常訴訟，手形・小切手訴訟，少額訴訟，少額訴訟判決異議

4. 民事調停事件の内訳

一般調停，宅地建物調停，農事調停，商事調停，交通調停，公害等調停，特定調停

## 刑事事件の推移

(単位：人)

年次	総数			訴訟事件			略式事件			その他の事件		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成28年	131	132	6	—	—	—	86	87	6	45	45	—
29	154	153	7	1	—	1	96	96	6	57	57	—
30	182	183	6	1	2	—	87	87	6	94	94	—
令和元年	98	102	2	1	—	1	52	57	1	45	45	—
2	151	151	2	—	1	—	52	51	2	99	99	—

資料：最高裁判所「裁判統計データベース」

注) 1. 数値は、大町簡易裁判所の取扱人員である。

2. 令和2年の数値は概数である。

3. 訴訟事件の内訳

通常第一審，再審事件

## 家事事件の推移

(単位：件)

年次	総数			審判			調停			その他		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成28年	3,893	3,879	398	3,179	3,206	120	540	502	240	174	171	38
29	4,017	3,939	476	3,206	3,158	168	620	588	272	191	193	36
30	3,992	3,915	553	3,208	3,175	201	619	578	313	165	162	39
令和元年	4,466	4,494	525	3,723	3,729	195	546	585	274	197	180	56
2	4,688	4,665	548	3,962	3,986	171	566	510	330	160	169	47

資料：最高裁判所「裁判統計データベース」

注) 1. 数値は、大町市を管轄する長野家庭裁判所松本支部の取扱件数である。

2. 令和2年の数値は概数である。

## 観光客の入込数の推移（延数）

年次	観光客総数	観光地内訳									対前年比	消費額
		大町温泉郷	高瀬渓谷	市街地	黒部ダム	後立山	仁科三湖	鷹狩高原	新行高・原ぼかぼかランド美麻	国営アルプスあづみの園		
平成28年	27,248	4,410	916	1,426	9,306	739	7,737	417	656	1,641	96.4	11,698,120
29	27,730	4,523	1,203	1,479	9,372	780	7,343	428	993	1,609	101.8	11,716,787
30	28,379	4,415	1,106	1,352	10,481	758	7,295	401	954	1,617	102.3	12,213,150
令和元年	27,165	4,462	1,188	1,477	9,011	782	7,314	389	912	1,630	95.7	11,480,737
2	14,425	2,370	535	877	2,497	245	5,933	581	458	929	53.1	5,498,850

資料：観光課

注）平成21年次から大町温泉郷と高瀬渓谷の統計が分かれる

## 観光客の入込数（スキー場）

年度	総数	HAKUBA VALLEY 鹿島槍ヶ岳 スキー場	爺ガ岳 スキー場
平成28年度	113,040	95,360	17,680
29	120,509	92,753	27,756
30	111,681	93,601	18,080
令和元年度	82,655	81,455	1,200
2	69,655	52,802	16,853

注）この表の数値は、「観光客の入込数の推移（延数）」の観光客総数に含まれている。

## 観光地等の概要

名称	概要
木崎湖 1.413km <sup>2</sup>	仁科三湖中最も開発された湖で、キャンプ場などがある。釣り、ボート、カヤック、ウェイクボードやSUPなどウォータースポーツも盛んに行われている。新緑、夏の避暑、紅葉、黒部ダム探勝の基地の温泉をもち、四季を通じて訪れる人があとをたたない。湖畔には伝統を誇る夏期大学があり、全国各地から集まる講師や受講生で賑わい、風光明媚な自然の環境が年と共に活況を極めつつある。 大系線信濃木崎駅から徒歩15分。
中綱湖 0.141km <sup>2</sup>	周囲2.225mで仁科三湖中最も小さい。ワカサギ、ヘラブナ、ウグイ、コイ等が豊富で避暑がてらの釣り人の好適地として知られている。また冬の穴釣りは野趣に富んでいる。春の湖畔はオオヤマザクラがとても美しい。 大系線築場駅下車前。
青木湖 1.863km <sup>2</sup>	湖畔の静寂さは仁科三湖中随一であり、白馬三山を紺碧の湖面に映している。湖面は国内有数の透明度を誇る。湖畔には西国三十三番の観音石仏がかつての千国街道の面影を残し、キャンプ、ハイキングの散策には最適である。釣り、ボート、カヤックやSUPなどウォータースポーツも盛んなほか、ホテル観賞クルーズなども行われている。 大系線築場駅から徒歩20分。
HAKUBA VALLEY 鹿島槍 スポーツ ヴィレッジ (鹿島槍スキー 場) 78.0ha	眼前に鹿島槍、爺ヶ岳の勇姿が迫る眺望雄大なスキー場。晴天には遠く浅間、妙高の諸連峰が望め、積雪量豊富で広大なゲレンデで子供から大人まで楽しめる。 ふもとの民宿からリフトの便もあり、またナイタースキーも楽しめる。夏場もネイチャーツアーやバーベキュー、星空観察など様々な体験が可能。 大系線築場駅から徒歩15分。また、信濃大町駅から無料シャトルバス40分。
HAKUBA VALLEY 爺ヶ岳スキー場 40.0ha	後立山連峰に抱かれた標高1,000mの高原で、良質な粉雪に恵まれたゲレンデを持つスキー場。 スキー場ベース部分は広い緩斜面を持ち、初心者から中級者向けの練習バーンに最適。上部は林間コースとなっており、晴天時には安曇野も見渡せる。広さのあるちびっこゲレンデには現在ではとても珍しいトロイカがあり、子供たちに大変人気がある。 大系線信濃大町駅からタクシー15分、ふれあい号30分（日曜・祝日・年末年始運休）。
葛温泉と 高瀬渓谷	槍ヶ岳に源を発する高瀬川が奇岩をつくり出し、独特の渓谷美をみせている。急峻な谷が新緑や紅葉に彩られ、白い花崗岩がコバルトブルー色の清水に映えて、すばらしい景観をつくりだしている。この渓谷に東京電力が高瀬、七倉の2つのロックフィルダムをつくった。高瀬ダムは高さが176mの日本有数の巨大ロックフィルダムで、霞ヶ関ビルの容積の約20倍、1,159万m <sup>3</sup> 、また七倉ダムは高さ125m、ダム体積738万m <sup>3</sup> で、この2つのダム湖に映える四季おりおりの景観はすばらしい。 また下流の大町ダム（国土交通省）には、ダムサイドの緑地公園があり、治山治水事業のモニュメントとして泉小太郎像がある。 この渓谷のなかには葛温泉の3軒と、七倉温泉の1軒の温泉宿もある。この温泉は約300年前から開かれ、湯量も豊富で露天風呂もある渓谷のいで湯である。 山菜や岩魚等季節の味覚こそ忘れ得ぬものがあり、槍ヶ岳、三俣蓮華岳、烏帽子岳方面への登山基地でもある。4月下旬～11月上旬は七倉～高瀬ダム間市内特定タクシーのみ乗り入れ可能。 大系線信濃大町駅からタクシー35分（冬期通行止め）。
大町温泉郷	昭和39年秋に大町アルペンライン沿いに建設された温泉郷である。後立山連峰の背景と鹿島川の流れ、白樺とカラマツの林にかこまれたこの温泉郷は保養地として人気がある。また、アルプス温泉博物館等の博物館もある。 大系線信濃大町駅から路線バス13分。
木崎湖温泉	葛温泉からの引湯で、湖畔の温泉として人気を呼んでいる。温泉の湯を使った温水プールも利用できる。木崎湖を中心に四季のレジャーに最も恵まれており、交通の便もよいため四季を通じて若者や家族連れが憩う。 大系線信濃木崎駅から徒歩15分。

名 称	概 要
立山黒部アルプス	世紀の難工事といわれ秘境黒部渓谷に誕生した黒部ダムをはじめ、北アルプスを貫いて大町と富山県立山とを結ぶアルペンルートは、日本の屋根であるアルプスの景観と黒部大渓谷をほししいまに観賞でき、我が国で他に類をみない国際的スケールの山岳大観光ルートである。観光期間4月中旬～11月30日。大系線信濃大町駅から路線バス40分（冬期通行止め）。
黒部ダム	黒部渓谷に513億円の総工費と延1千万人の労働力、7年の歳月を要してつくられた、日本第一位の高さ186m、堤頂長492m、体積158万m <sup>3</sup> のアーチ式ドーム越流型ダムで、黒部湖の総貯水量は約2億m <sup>3</sup> 。その迫力ある放水は見もの。大系線信濃大町駅から路線バス40分。乗り換え関電トンネル電気バス16分。
市立大町山岳博物館	昭和26年、公民館青年部の熱意と市民の積極的な援助により創設された、日本初の山岳博物館。展望室からは北アルプスの雄大な眺めを満喫できるほか、山と芸術・黎明期から近代までの登山史・里山から高山までの動物や植物を紹介している。またコマクサ園では高山植物に、付属園では特別天然記念物のカモシカのほか北アルプスとその山ろくに生息する動物たちにも出会える。大系線信濃大町駅からタクシー5分。
大工エネルギー博物館	エネルギーや科学の基礎について楽しみながら学べる博物館。土日祝祭日には、科学体験工作教室を開催（期間中は随時受付）。親子で一緒に工作にチャレンジするのに最適。大系線信濃大町駅からタクシー20分。ふれあい号35分（日曜・祝日・年末年始運休）。
塩の道（旧塩の道博物館）	大町山岳博物館に通じる道路沿いの市街地にあり、塩問屋であった平林家の母屋を一般公開した博物館である。糸魚川から松本に至る海と内陸を結ぶ千国街道は塩の道と呼ばれ、当時の経済道路でありその中継場所であったこの建物は当時の面影をのこしており、貴重な古文書や生活用品が展示され往事をしのばせてくれる。大系線信濃大町駅から徒歩10分。
流鏝馬会館	大町の流鏝馬と若一王子神社例大祭に関する資料を展示。塩の道ちょうじやに併設。大系線信濃大町駅から徒歩10分。
アルプス温泉博物館	温泉を様々な角度より見て、触れて、知ることのできる博物館。温泉の誕生から入浴法、効能などわかりやすく紹介している。湯けむり屋敷薬師の湯に併設。大系線信濃大町駅から路線バス13分。
大町市民俗資料館	江戸時代から昭和30年代に入るまで社地区の主要産業として地域経済を支えてきた松崎和紙、および宮本和紙の資料や旧社小学校に所蔵されていた明治から現代に至る教科書等の資料、社地区で出土した、写経石などの考古資料、指定文化財の資料、紙すきの道具、各種節句人形などを展示、社公民館併設。大系線信濃大町駅からタクシー5分。ふれあい号15分（日曜・祝日・年末年始運休）。
劇団四季浅利念	劇団四季創設以来のあゆみを、舞台模型、パネル写真、台本、記念資料、又、実際に舞台上で使用した大・小道具、衣装等を展示紹介している。四季オリジナルグッズの販売コーナー有。大系線信濃大町駅からタクシー15分。ふれあい号30分（日曜・祝日・年末年始運休）。
アルプス搗精工場	日本最大規模の酒造搗精工場。近代設備と最先端コンピュータ管理により、酒造米を精白し高品質純度の生産が可能。長野県の酒約97種の展示と試飲コーナーがあり、販売も行っている。大系線信濃大町駅からタクシー10分。
ゆ～ぷる木崎湖	25m温水プール、ウォータースライダー、子どもウォータープレイプールを備えたプール棟、大浴場、露天風呂、サウナ、ジャグジーを備えた温泉棟、レストラン、多目的に使える宴会場などがあり、快適にご利用いただける。大系線信濃木崎駅から徒歩10分。
大町ダム情報館	大町ダムの役割や周辺の自然環境について、パネルやパソコンで分かりやすく解説している。また龍神湖散策コースや地域のイベントなど、多くの周辺情報を提供している。大系線信濃大町駅からタクシー20分。

名 称	概 要
「ラ・カス タ ナチュラル ヒーリング ガーデン」	人と自然のふれあいを通じて、心豊かで心地よいナチュラルライフスタイルを提案する“美と癒し”のヒーリングガーデン。アロマテラピーを応用した自分だけの香り製品をつくる香りの手作り体験工房も設置されている。
西丸震哉記念 館	木崎湖畔にたたずむギャラリー。日本の探検登山の草分け的存在といわれる西丸震哉氏のコレクションを美術家、杉原信幸氏の監修のもとに展示している。西丸氏の貴重な収集品と、その活動の足跡に触れることのできる記念館。 JR稲尾駅から徒歩5分。
唐花見湿原	標高945mの山間に、周辺をカラマツ・アカマツ・杉などの針葉樹やコナラなどの雑木林と畑地で囲まれた低湿原。湿原に積もった泥炭は厚さ2.6m以上になり、8,000年あまりの歴史を持つといわれる。資源が乏しい時代には泥炭を掘り出して燃料にしたこともあった。 掘跡はトンボなど水にすむ生き物の棲み家になっている。唐花見湿原の一番良い季節はミヤマウメモドキの実がなる頃。10月から見られる。晩秋から初冬にかけての静まり返った湿原の散歩がおすすめ。 信濃大町駅からタクシー10分。ふれあい号10分（日曜・祝日・年末年始運休）。
明日香荘 金熊温泉	豊かな自然に抱かれ湯量たっぷりのいで湯と山里のゆるやかな時の流れが味わえる金太郎乃湯「明日香荘」は温泉・宿泊・食事・宴会にも利用できる施設。八坂北部の山中から湧き出る「金熊温泉」。美人の湯とも言われるこの温泉の泉質は単純硫黄泉で、湯冷めせず保温効果が抜群。 古くからこの地に伝わる金太郎伝説にちなんで金熊温泉と名付けられた。 信濃大町駅からタクシー15分。ふれあい号20分（日曜・祝日・年末年始運休）。
新行高原	美麻地区の西に位置し、標高900mの高原で夏でも涼しくすごしやすい。北アルプスの景観も素晴らしい。また、高原の気候に適したそばも栽培しており、信州のそばどころとして定着している。
ぽかぽかラ ンド 美麻	通称オリンピック道路(県道31号線)沿いに位置するぽかぽかランド美麻は温泉・宿泊・食事・宴会にも利用できる施設。黒部ダム、安曇野、白馬村、長野市へのアクセスも容易にでき、アクティブな旅の拠点として利用可能。 また、浴場は露天風呂を含め日替わりで計7種類の施設を楽しむことができる。 信濃大町駅から特急バス22分。ふれあい号40分（日曜・祝日・年末年始運休）。
国営アルプス あづみの公園 (大町・松川地 区)	広大な自然環境を満喫しながら、様々な遊び体験や森の癒しを体感することができる国営公園。大町・松川地区では、森の散策体験のほか園内の素材を活用したクラフト体験や、灰焼きおやきなどの体験に参加できる。 信濃大町駅からタクシー20分。

資料：観光課

## 北アルプスの紹介

---

北アルプス（飛騨山脈）は長野・新潟・富山・岐阜の4県にまたがり、奥穂高岳（3,190m）を筆頭に標高3,000mを超える山々を多く連ねて本州の中央部に位置する山脈で、中央アルプス（木曾山脈）・南アルプス（赤石山脈）とともに日本の屋根ともいえる日本アルプスを形成している。

その生い立ちは新生代第四紀の初め（約260万年前）頃までさかのぼる。そのころから始まった隆起活動は、火山に象徴されるようなマグマ活動を伴いながら今もなお続いている。この大山脈の東側には糸魚川－静岡構造線をはさんで、約2,000～1,500万年前形成された、フォッサマグナ（大地溝帯）が広がっており、北アルプスとは地形や地質の点で大きく異なっている。

日本海の親不知付近の海底からそそりたつ北アルプスの山脈群は、北の朝日岳（2,418m）から南の乗鞍岳まで約87.5kmにわたる。この間は黒部・高瀬・梓川が形成する渓谷によって、西側からは劔岳から五色ヶ原にかけての立山連峰、白馬岳から乗鞍にかけての後立山連峰～裏銀座～槍・穂高連峰、および最も東側に位置する常念山地に分けられる。

一帯は中部山岳国立公園に指定され、自然環境・景観が保護されつつ登山者・スキーヤー・観光客など多くの人々に親しまれている。

高山植物の咲き乱れるお花畑、高山に生きる動物たち、山と渓谷の織り成す山岳美、陰しい岩と雪氷、そして山麓の独特の文化的景観と出で湯など、裾野から山頂まで四季にわたる魅力は尽きず、北アルプスは世界に誇ることができる日本の山々の代表格となっている。

## 大町の山岳標高一覧（2,400m以上）

## 標高降順

	山名	読み	標高 (m)	境界・備考
1	槍ヶ岳	ヤリガタケ	3,180	大町市・松本市
2	野口五郎岳	ノグチゴロウダケ	2,924	大町市・富山市
3	鷲羽岳	ワシバダケ	2,924	大町市・富山市
4	大天井岳	ダイテンジョウダケ (オテンショウダケ)	2,922	大町市・安曇野市・松本市
5	鹿島槍ヶ岳	カシマヤリガタケ	2,889	大町市・黒部市・立山町
6	ワリモ岳	ワリモダケ	2,888	大町市・富山市
7	真砂岳	マサゴダケ	2,862	大町市・富山市 ※1
8	双六岳	スゴロクダケ	2,860	大町市・高山市
9	三ツ岳	ミツダケ	2,845	大町市・富山市
10	三俣蓮華岳	ミツマタレンゲダケ	2,841	大町市・富山市・高山市
11	針ノ木岳	ハリノキダケ	2,821	大町市・立山町
12	五龍岳	ゴリュウダケ	2,814	黒部市 ※2
13	蓮華岳	レンゲダケ	2,799	大町市・立山町
14	赤岩岳	アカイワダケ	2,769	大町市・松本市
15	燕岳	ツバクロダケ	2,763	大町市・安曇野市
16	西岳	ニシダケ	2,758	大町市・松本市
17	樅沢岳	モミサワダケ	2,755	大町市・高山市
18	スバリ岳	スバリダケ	2,752	大町市・立山町
19	南真砂岳	ミナミマサゴダケ	2,713	大町市
20	布引山	ヌノビキヤマ	2,683	大町市・立山町
21	赤沢岳	アカザワダケ	2,678	大町市・立山町
22	爺ヶ岳	ジイガタケ	2,670	大町市・立山町
23	餓鬼岳	ガキダケ	2,647	大町市
24	鳴沢岳	ナルサワダケ	2,641	大町市・立山町
25	唐沢岳	カラサワダケ	2,632	大町市
26	岩小屋沢岳	イワゴヤザワダケ	2,630	大町市・立山町
27	烏帽子岳	エボシダケ	2,628	大町市・富山市
28	南沢岳	ミナミサワダケ	2,625	大町市・立山町
29	不動岳	フドウダケ	2,601	大町市・立山町
30	硫黄岳	イオウダケ	2,554	大町市
31	牛首山	ウシクビヤマ	2,553	大町市
32	北葛岳	キタクズダケ	2,551	大町市・富山市
33	白岳	シラタケ	2,541	大町市・白馬村・黒部市
34	七倉岳	ナナクラダケ	2,509	大町市・富山市 ※1 山群中最高峰の数値
35	東沢岳	ヒガシザワダケ	2,497	大町市 ※1
36	東餓鬼岳	ヒガシガキダケ	2,490	大町市・安曇野市 ※1
37	船窪岳	フナクボダケ	2,459	大町市・富山市 ※1 山群中最高峰の数値
38	赤岳	アカダケ	2,416	大町市 ※1

資料：市立大町山岳博物館

注1) 標高は国土地理院発行の5万分の1地形図記載の数値による。

注2) 三角点は黒部市側にあるが山頂付近は大町市と隣接する。

なお、注記以外の標高はすべて『日本の山岳標高一覧—1003山—』（国土地理院、1991）の数値による。



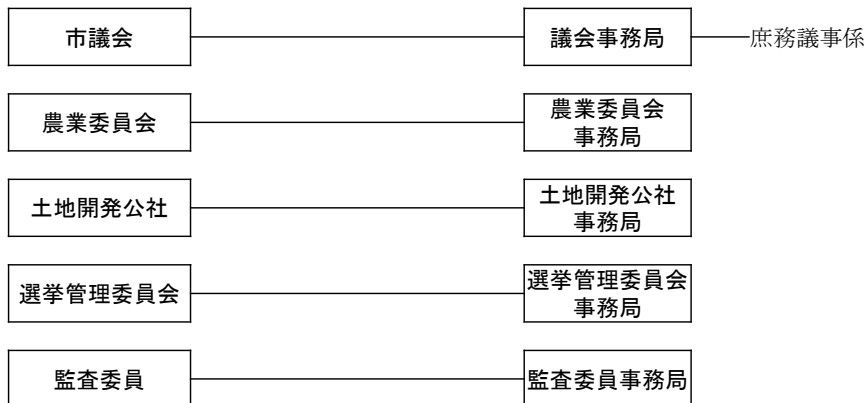
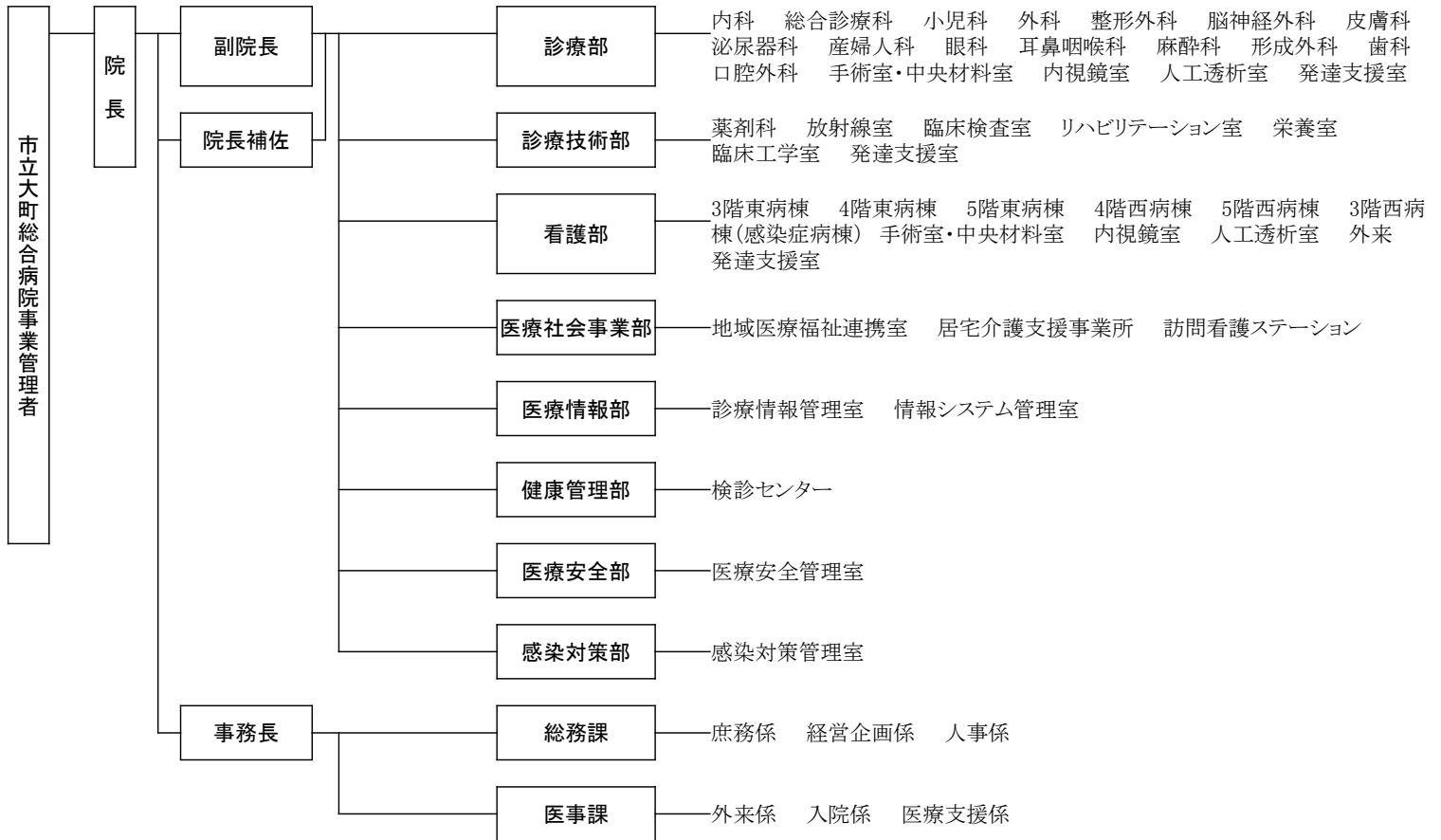
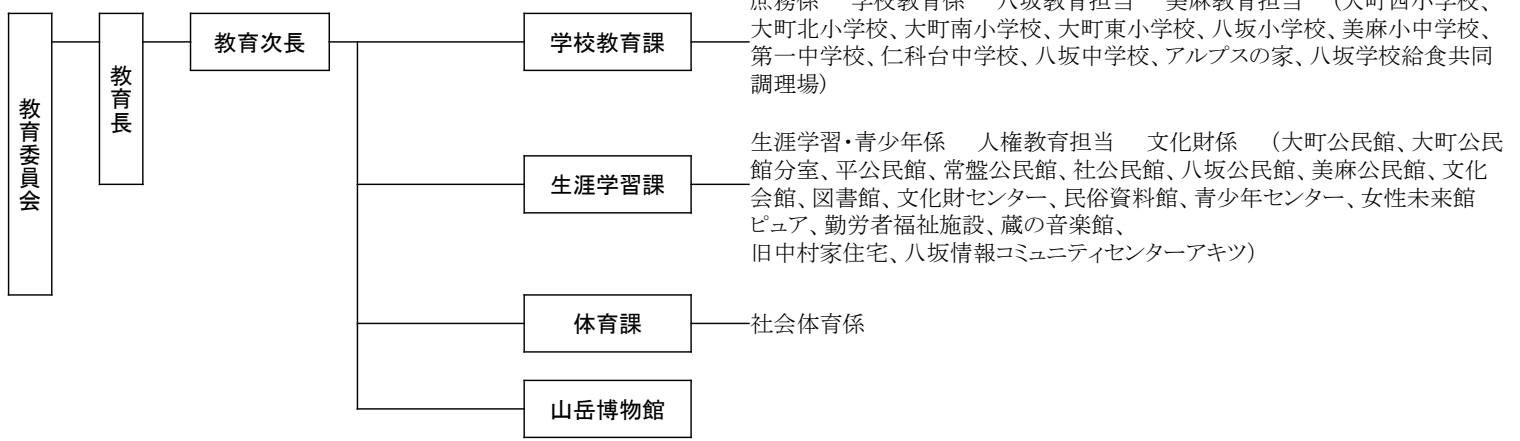
# 資 料

- ◆行政組織機構図
- ◆市内体育施設
- ◆市内社会施設

# 大町市行政組織機構図

令和2年4月1日 施行





**公平委員会**

**固定資産評価審査委員会**

※( )は附属施設、または、管理している施設

課 等 の 事 務 分 掌

課 等 名		事 務 分 掌
庶 務	課	議案・秘書・例規・職員人事・文書・車両管理・市民参加と協働のしくみ・その他の課の分掌に属さないことに関する事
企 画 財 政	課	企画・調整・統計調査・実施計画・総合計画・広域行政・財政・予算・市有財産・物品購入・検収・庁舎管理・地籍調査・土地開発公社等に関する事
ま ち づ くり 交 流	課	定住促進・男女共同参画・人権政策・市民活動サポートセンター・芸術文化・国際芸術祭等の開催に関する事
税 務	課	市民税・固定資産税・その他諸税の調査・賦課及び徴収に関する事
消 防 防 災	課	消防団・消防水利・防災施設・水防・防災計画・危機管理・防犯に関する事
情 報 交 通	課	地域情報化・事務処理の電算化・総合情報センター・ケーブルテレビ放送事業・広聴広報・市民バスに関する事
市 民	課	戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険・国民年金・消費者行政・交通安全対策・保健事業・母子保健・保健センターに関する事
生 活 環 境	課	環境衛生・公害対策・し尿処理・ごみ処理に関する事
福 祉	課	生活保護・高齢者福祉・介護保険制度・総合福祉センター・八坂総合福祉センター・美麻総合福祉センターに関する事
子 育 て 支 援	課	児童福祉・保育所・子育て支援・児童センター等に関する事
商 工 労 政	課	商工業、中小企業の振興・雇用対策・労政・ブランド振興・地場産業の振興に関する事
観 光	課	観光振興・誘客宣伝・観光施設の維持管理・国営公園を生かした地域振興に関する事
農 林 水 産	課	農業、林業、畜産業、水産業等の振興・農地保全利用に関する事
産 業 立 地 戦 略 室		工業振興・企業誘致に関する事
建 設	課	都市計画・市道、農道、林道、用水路、公園、公共物等の管理・除雪・農地整備・市営住宅等の維持管理に関する事
上 下 水 道	課	水道事業・公営簡易水道事業・下水事業・市有源泉等に関する事
八 坂 支 所	総 務 係	文書・車両管理・庁舎管理・市税、使用料等の徴収・地域内防災及び災害救助・地域自治組織・過疎対策・地域振興事業等に関する事
	民 生 係	戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険、国民年金に係る受付・福祉医療・環境保全・交通安全・生活保護、障害者福祉、老人福祉、児童福祉等に係る受付に関する事
	産 業 建 設 係	地場産業の振興・農道、水路、林道の維持・加工施設の管理・観光振興・市道、公共物の維持・除雪・砂防、地滑り対策・地域振興住宅・市営住宅に係る受付に関する事
美 麻 支 所	総 務 係	文書・車両管理・庁舎管理・市税、使用料等の徴収・地域自治組織・過疎対策・メンドシーノ交流事業に関する事
	民 生 係	戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険、国民年金に係る受付・環境保全・交通安全・生活保護、障害者福祉、老人福祉、児童福祉等に係る受付に関する事
	産 業 建 設 係	地場産業の振興・農道、水路、林道の維持・加工施設の管理・市民農園の管理・観光振興・市道、公共物の維持・除雪・砂防、地滑り対策・地域振興住宅・市営住宅に係る申請受付に関する事
会 計 課		現金の出納・保管・決算・その他経理に関する事
市 立 大 町 総 合 病 院		診療（内科・外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・小児科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科・脳外科・形成外科）事務・薬剤・放射線・臨床検査・人工透析・リハビリテーション・看護に関する事
議 会 事 務 局		本会議・委員会・会議録の調整等市議会一般に関する事
教 育 委 員 会 事 務 局		学校教育・生涯学習・社会体育・同和推進・文化財の保護等に関する事
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局		選挙人名簿の調査・選挙の執行管理に関する事
監 査 委 員 事 務 局		事務監査・出納検査・決算審査に関する事
農 業 委 員 会 事 務 局		農地調整・国有農地の管理・農業振興・農政に関する事

# 社会施設

名称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )
大町市中央保健センター (保健センター)	大町1058-13	H 3. 4. 1	177		896.25 (分室と共用部分を含む) 1,058.88
大町市総合福祉センター	大町1129	H14.10.1		4,571.42	(センター棟) 2,749.78 (作業所棟ほか) 462.57
母子通園訓練所あゆみ園	大町3130	S46.10.1	10	139.50	(大町病院内) 139.50
児童センター	大町4714	H18.4.1		3,417.13	延床面積570.03・建築面 570.03
老人陶芸の家	大町1058-13	S49.10.7			180.26
大町市ふれあいプラザ	常盤3546-33	H13.4.1		2,583.45	741.53
社会就労センター	社5892-6	S39.4.1	30	1,070.36	453.98
大町公民館	大町1601-2	S22.10.29	157		(共用部分も含む) 681.67
文化会館	大町1601-2	S61.5.28	1,172	25,515.00	(公民館部分も含む) 5,661.95
サン・アルプス大町	大町1601-2	S60.11.1	480	2,200.00	1,497.75
文化会館スケートボードパーク	大町1601-2	H16.4.1		840.00	
大町公民館分室	大町1058-13	H 3. 4. 1	335	2,618.85	(専用部分のみ) 1,063.39
平公民館	平10352-1	S59.4.1	691	6,194.00	996.63
女性未来館ピュア	平10352-1	S59.4.1			614.46
常盤公民館	常盤3601-18	S58.4.1	約 500	6,381.20	1,264.70
社公民館	社3945-2	S58.4.1	369	6,216.00	891.00
民俗資料館	社3945-2	S60.4.1	40	(6,216.00)	(891.00)
市立大町図書館	大町4710-6	S17.8.28			1,726.94
市立大町山岳博物館	大町8056-1	S26.11.1		39,875.92	2,683.95
大町市蔵の音楽館	大町2542-1	H16.4.1		150.00	79.30
ギャラリー・いーずら	大町3300-1	H 9. 4. 1			(いーずら大町特産館2階) 120.00
体育研修センター	常盤5638-18	H27.4.1		787.00	796.22
フレンドプラザ大町	大町1601-2	H 1.10.1	166	1,167.09	670.61
大町市労働会館	大町4111-1	H 7. 4. 1	60	532.44	(共有部分も含む) 117.51
大町市総合情報センター	大町3872-7	H13.4.1		1,720.00	913.30
大町市文化財センター	大町4700	H13.7.1		673.55	738.66
中心市街地多目的ホール	大町2511-3	H18.11.1	40	272.12	(専用部分のみ) 66.96

## 八坂地域

名称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )
八坂総合福祉センター	八坂1128	H 9. 4. 1	50	2,156.68	829.95
八坂保健センター	八坂987-1	S56.4.1	70	793.00	388.80
八坂公民館	八坂1133-1	H18.1.1	約 200	8,080.00	
八坂情報コミュニティセンターアキツ	八坂1133-1	H 7. 4. 1	約 200	8,080.00	859.88

## 美麻地域

名称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )
美麻福祉企業センター	美麻9043番地1	S46.8.26	30	2,155.00	750.00
美麻総合福祉センター	美麻11810番地	H11.9.1	250	6,220.00	(美麻保健センター392.62も含む) 1,541.00
美麻公民館	美麻11811-イ	H20.1.1	138	2,677.00	(美麻支所も含む) 755.75
重要文化財旧中村家住宅	美麻17668	H10.5.1		1,414.03	(主屋・土蔵・管理棟) 490.92

# 体 育 施 設

名 称		位 置	開設年	面 積	
大 町 市	平 野 球 場	大町市平9539-3	S35年	10,550.00㎡	
大 町 市	平 運 動 場	大町市平9370-1	S52年	12,071.00㎡	
西 公 園	運 動 場	大町市大町4687	S42年	12,198.02㎡	
	体 育 館	大町市大町4710	S42年	966.24㎡	
大 町 市	常 盤 運 動 場	大町市常盤3516-38	S42年	9,845.41㎡	
大 町 市	平 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市平9365-1	H14年	1,550.00㎡	
大町市運動公園	陸 上 競 技 場	大町市常盤5638-44	S53年	21,755.00㎡	
	サ ッ カ ー 場		S52年	12,401.00㎡	
	庭 球 場		全 天 候	S56年	2,815.74㎡
			全 天 候	S58年	2,908.80㎡
	野 球 場		S61年	12,677.23㎡	
	多 目 的 広 場		S62年	10,005.00㎡	
	弓 道 場		S62年	864.79㎡	
	マレットゴルフ北コース		S57年	36ホール (パー144)	
	マレットゴルフ南コース		S63年		
	総 合 体 育 館		S63年	4,863.01㎡	
	陸上競技場メインスタンド棟		S53年	1,097.00㎡	
	サッカー場メインスタンド棟		S52年	739.00㎡	
	野球場メインスタンド棟		S61年	704.09㎡	
第 二 屋 内 運 動 場	H29年	1,997.58㎡			
屋 内 運 動 場	H 6年	987.13㎡			
多 目 的 芝 生 広 場	H24年	2,750.00㎡			
大 町 市 B&G 海 洋 セ ン タ ー	体 育 館	大町市平10352-2	S54年	1,627.80㎡	
	艇 庫	大町市平9707-2	S54年	450.00㎡	
	多 目 的 広 場	大町市社3945-3	S57年	11,279.00㎡	
や し ろ 公 園	運 動 広 場	大町市社8200	H 8年	5,000.00㎡	
八 坂	ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	大町市八坂11642	S58年	1,703.00㎡	
八 坂	運 動 場	大町市八坂8408	S50年	11,000.00㎡	
八 坂	テ ニ ス コ ー ト	大町市八坂8408	S50年	1,636.00㎡	
八 坂	山 村 広 場	大町市八坂14850-120	S60年	6,000.00㎡	
八 坂	ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市八坂14850-69	H 5年	584.73㎡	
八 坂	マ レ ッ ト ゴ ル フ 場	大町市八坂8411-2	H 7年	9,600.00㎡	
美 麻	ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	大町市美麻11712	S56年	650.00㎡	
美 麻	運 動 場	大町市美麻14245	S48年	6,492.00㎡	
美 麻	丸 山 公 園 運 動 場	大町市美麻13713-2	H 4年	28,873.00㎡	
美 麻	テ ニ ス コ ー ト	大町市美麻14250	H 3年	5,857.00㎡	
美 麻	二 重 屋 内 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市美麻8409	H 5年	1,411.00㎡	
美 麻	二 重 屋 外 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市美麻9595-1	H 4年	1,478.00㎡	
美 麻	大 塩 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市美麻3476-α-1	S62年	1,171.00㎡	
美 麻	千 見 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市美麻28750-1	S57年	2,531.00㎡	
社 体 育	社 体 育 館	大町市社4953-4	H29年	570.25㎡	

利 用 競 技 種 目
野球(1面)、ソフトボール(1面)
ソフトボール(2面)、サッカー(1面)
野球(2面)、ソフトボール(2面)、ゲートボール(2面)、スケートリンク(1面)
バレーボール(1面)、バドミントン(3面)、空手道、バスケットボール(1面)、剣道
野球(1面)、ソフトボール(1面)、スケートリンク(1面)
ゲートボール(2面)
(フィールド内ゲートボール16面)日本陸連4種公認
(1面)
全天候(4面)
全天候(4面)
野球(1面)
野球(1面)、ソフトボール(2面)、サッカー(1面)
遠的(1面)・近的(1面)的場129.6㎡・的44.82㎡・5人立
メインアリーナ(1,627㎡)、サブアリーナ(558㎡)、ランニングコース(170m)、 バレーボール(4面)、バドミントン(13面)、バスケットボール(3面) ギャラリー(固定席544席)・収容人数2,500名
収容人員 メインスタンド1,400名、芝スタンド4,000名 更衣室(2室)、倉庫(3室)、役員室(1室)、事務室(1室)、医務室(1室)、便所ほか
収容人員 メインスタンド743名、芝スタンド2,000名 選手控室(4室)、倉庫(3室)、役員室(1室)、放送室(1室)、医務室(1室)、便所ほか
収容人員 メインスタンド562名、内野階段スタンド352名、内野芝スタンド1,070名、外野スタンド2,616名 更衣室(2室)、事務室(1室)、本部室(1室)、放送室(1室)、便所ほか
ゲートボール(2面)、テニス(2面)、ミニサッカー(2面)、 会議室
ゲートボール(2面)、テニス(1面)、ミニサッカー(1面)
バレーボール(2面)、バスケットボール(1面)、バドミントン(3面)、テニス(1面)、卓球(4台)、 柔道(50畳)、空手道、剣道
カヌー(20艇)、OPヨット(10艇)、12Fヨット(2艇)、カッター(2艇)、ボードセール(9艇)ほか
野球(1面)、ソフトボール(1面)
ソフトボール(1面)
バスケットボール(中1面)、バレーボール(2面)、バドミントン(4面)、卓球(3台まで可)
野球(1面)、ソフトボール(2面)
クレーコート(2面)
ソフトボール(1面)
ゲートボール(1面)
18H
バドミントン(3面)、バレーボール(1面)、バスケットボール(1面)
野球(2面)、ソフトボール(2面)
野球(2面)、ソフトボール(2面)、サッカー(1面)、ラグビー(1面)
人工芝(6面)
1面
1面
屋内(1面)、屋外(1面)
2面
バレーボール(1面)、ソフトボール(1面)、バドミントン(1面)、ミニサッカー(1面)

---

## 大町市統計要覧 2020

---

令和2年版  
編集・発行 大町市役所  
TEL.0261-22-0420

---



# 山岳文化都市宣言

私たちの大町市は、雄大な北アルプスのパノラマを代表とする、四季折々の変化に富んだ豊かで美しい大自然に恵まれています。

北アルプスの山麓で生まれ、育ってきた市民は、その長い歴史を通じて、山岳がもたらす豊かな自然環境の恵みを受けながら、自然と人との共生する独自の山岳文化を形成してきました。

私たちは、先人たちが守り育ててきた山岳文化を受け継ぎ、かけがえない豊かで美しい自然を次の世代に伝えていかなければなりません。

21世紀を迎えた今日、身近な生活環境の改善から地球環境の保全まで、様々な環境問題への取り組みが重視される中で、本市においても、市民、事業者、行政等が協働と連携を図りながら、新しい時代の課題や要求に応える山岳文化の振興が求められています。

本市における山岳文化の拠点である山岳博物館開館50周年の節目にあたり、山岳博物館創設当時の理念に学びながら、「環境の世紀」と言われる21世紀にふさわしい山岳文化の発展と創造をめざして、大町市を自然と人との共生する「山岳文化都市」とすることを宣言します。

平成14年3月15日

大町市

